

平成 8 年度

三重県埋蔵文化財センター年報 8

1 9 9 7 ・ 3

三重県埋蔵文化財センター

はじめに

埋蔵文化財は、私たちの祖先がその時代を生き証であり、また、当時の生活の有り様を今に伝える貴重な財産であります。しかし、近年の著しい開発事業の増加に伴い、数多くの埋蔵文化財が発掘調査され、そして消滅してゆきました。しかし一方で、発掘調査により発見された新たな事実は、歴史に対する認識、常識を立証するものであったり、また覆すものであったりして、私たちのロマンをなおいっそうかき立ててくれます。本年度も、県内各地で開催された現地説明会や展示会等を通じて多くの方々に歴史に対する興味を、また、埋蔵文化財保護に対するご理解を深めていただくことができたものと思っております。

この冊子は、三重県内で本年度に実施された各種の発掘調査と当埋蔵文化財センターの事業内容を簡単にまとめたものですが、今後の埋蔵文化財保護と活用の一助として、ご活用いただければ幸いに存じます。

埋蔵文化財を守り、伝えていくことは、次代への大きな課題であります。当埋蔵文化財センターでは、あらゆる機会を通して埋蔵文化財の保護・活用に務めてまいりたいと考えております。

最後になりましたが、本冊子の作成にあたり、ご指導ご協力をいただきました関係各位に厚くお礼申し上げます。

平成9年3月

三重県埋蔵文化財センター

所長 奥村 敏夫

例 言

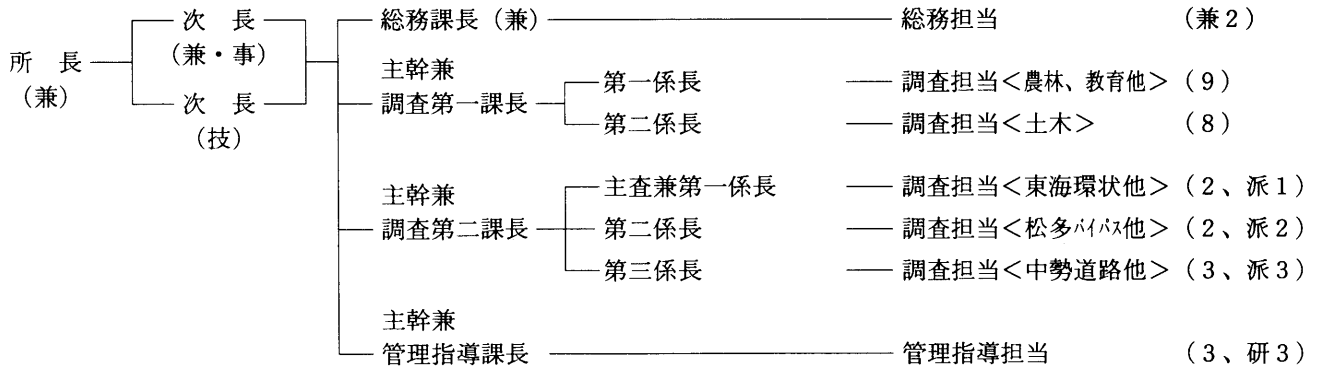
1. この冊子は、平成8年度における三重県内の発掘調査の概要と三重県埋蔵文化財センターの事業概要をまとめたものである。
2. 平成8年度緊急発掘調査については、平成8年度の三重県下における発掘調査の概要として、三重県埋蔵文化財センター担当の発掘調査成果、および県内市町村担当の発掘調査成果もあわせて収録した。なお、各遺跡の緊急発掘調査の概要については、それぞれの発掘調査担当者の協力を得た。
3. 本冊子の編集は、関係機関及び各位の協力を得て、管理指導課が中心となって行った。

目 次

I 組織及び業務体系	1
II 平成8年度緊急発掘調査	4
1. 緊急発掘調査一覧	4
2. 発掘調査の概要	14
III 埋蔵文化財保護体制の充実	78
1. 各種会議	78
2. 埋蔵文化財発掘技術者研修	80
3. 文化財保護に関する指導・協力	82
IV 資料の整理・保管・公開	87
1. 資料の整理・保管	87
2. 科学的保存処理	87
3. 資料の公開	87
4. 保管遺物等の貸出・写真等の掲載及び閲覧許可	92
5. 保管遺物の長期貸出	95
6. 斎宮歴史博物館展示品協力遺物一覧	96
V 行政資料	97
1. 埋蔵文化財の鑑査等の事務の委任について	97
2. 地方公共団体が文化財保護法内98条の2第1項に基づく発掘調査を行う際の 文化庁長官への通知について（通知）	99
3. 埋蔵文化財の保護と発掘調査の円滑化等について（通知）	104
《付 編》	
1. 三重県文化財調査員名簿	109

I. 組織及び業務体系

〔組織〕



職員数 51名 (兼務6名、専任36名、派遣6名、研修3名)

〔分掌事務〕

総務課

1. 公印の管理に関する事
2. 職員の身分及び服務に関する事
3. 予算及び経理に関する事
4. 給与及び旅費等の支給に関する事
5. 契約及び入札事務に関する事
6. 施設、設備の保守管理に関する事
7. 文書の収発に関する事
8. 職員の健康、福利厚生に関する事
9. 防災管理に関する事
10. その他他課に属さない事

調査第一課

1. 埋蔵文化財保護にかかる文化芸術課ならびに関係部局との連絡調整に関する事
2. 県関係公共事業における埋蔵文化財の発掘調査及び保護に関する事

調査第二課

1. 国道475号東海環状自動車道に関する埋蔵文化財の発掘調査及び保護に関する事
2. 国道23号中勢道路に関する埋蔵文化財の発掘調査及び保護に関する事
3. 国道42号松阪多気バイパスに関する埋蔵文化財の発掘調査及び保護に関する事
4. 川上ダムに関する埋蔵文化財の発掘調査及び保護に関する事
5. 建設省、郵政省、日本道路公団との調整協議と事務処理に関する事

管理指導課

1. 遺物収納倉庫の管理に関する事
2. 整理済み出土品の収蔵及び保管に関する事
3. 遺跡及び遺物の実測図・写真等の整理及び保管に関する事
4. 関係図書等の整理及び保管に関する事
5. 遺跡台帳、遺跡地図の整備及び保管に関する事
6. 出土品の洗浄・注記・接合・復元及び実測等に関する事
7. 出土品の科学的保存処理に関する事
8. 埋蔵文化財展・埋蔵文化財発掘調査速報展に関する事
9. 遺跡及び遺物等資料の貸出、掲載許可等に関する事
10. センター通信及び埋蔵文化財年報等の刊行に関する事
11. 埋蔵文化財行政調査等に関する事
12. 市町村の埋蔵文化財調査・文化財展等の指導及び協力に関する事

13. 埋蔵文化財発掘調査技術の研修に関すること

14. 埋蔵文化財センター内外の各種会議に関すること

〔職員〕

所 長 奥村 敏夫 (斎宮歴史博物館館長兼務)

次 長(事務) 田中 守 (斎宮歴史博物館次長兼務)

〃 (技術) 山澤 義貴

総務課

課長 中西 勝之 (斎宮歴史博物館兼務)

主査 中川 カツミ (〃)

主事 尾崎 嘉春 (〃)

〃 橋川 功 (〃)

調査第1課

課長 吉水 康夫 (主幹兼務)

第1係

係長 前川 嘉宏

主事 下平 康弘

〃 木野本和之

〃 筒井 正明

〃 中川 明

技師 伊藤 裕偉

主事 船越 重伸

〃 松葉 和也

技師 日栄 智子

〃 高田恵理子

石淵 誠人 (臨時技術補助員)

浜邊 一機 (〃)

第2係

係長 杉谷 政樹

主事 西出 孝

〃 田中 久生

〃 伊藤 裕之

〃 服部 芳人

〃 佐藤 公

〃 越賀 弘幸

〃 坂倉 一光

技師 西村 美幸

山田 康博 (臨時技術補助員)

調査第2課

課長 山田 猛 (主幹兼務)

第1係

係長 清水 正明 (主査兼務)

主事 片岡 博

技師 竹内 英昭

主事 清水 弘之 (東員町から派遣)

第2係

係長 森川 常厚

主事 松本 美先

〃 小濱 学

〃 兼古 慎 (松阪市から派遣)

〃 小山 憲一 (多気町から派遣)

第3係

係長 本堂 弘之

主事 宮田 勝功

〃 山本 義浩

技師 水橋 公恵

主事 池端 清行 (津市から派遣)

〃 筒井 昭仁 (鈴鹿市から派遣)

〃 米山 浩之 (津市から派遣)

管理指導課

課長 新田 洋 (主幹兼務)

主事 森川 幸雄

〃 竹田 憲治

技師 穂積 裕昌

研修員 前川 明男

〃 林 義己

〃 岡 聡

〔施設〕

三重県埋蔵文化財センター

所在地 多気郡明和町竹川503番地

TEL 05965-2-1732・3800 FAX 05965-2-7035・3724

面積 敷地面積 18,000 m²

建築面積 4,537 m²

延床面積 5,077 m²

構造 鉄筋コンクリート造 1階（1部2階）建

（建物は斎宮歴史博物館と共用）

遺物収納倉庫

桜橋収納倉庫 津市桜橋2丁目126 TEL 059-227-2465

藤方収納倉庫 津市藤方2283-1 TEL 059-224-4560

上野収納倉庫 上野市丸之内117 TEL 0595-24-0079

現場整理所

国道475号東海環状自動車道整理所 員弁郡北勢町阿下喜字覚正垣内532-3
TEL 0594-72-2106 FAX 0594-72-7906

国道42号松阪・多気バイパス整理所 松阪市上川町登り立浦471-1
TEL 0598-29-4643 FAX 0598-29-4553

国道23号中勢道路整理所 津市納所町字西沢田481
TEL 059-229-2770 FAX 059-229-2771

II. 平成8年度緊急発掘調査

1. 緊急発掘調査調査一覧

本年度、当埋蔵文化財センターが実施した発掘調査は163遺跡、83,967㎡（試掘調査を含む）、斎宮歴史博物館が3,986㎡、市町村教育委員会が実施した発掘調査は139遺跡、92,591㎡である。これらのほとんどは開発事業に伴う事前の緊急発掘調査であるが、遺跡の解明あるいは、保存整備のための調査も、斎宮跡等で実施している。

県埋蔵文化財センター担当の緊急発掘調査

事業名		件数	調査面積 (㎡)
直 営	農業基盤整備事業関係	76	16,241
	国・県道路関係	74	19,596
	その他	23	18,112
受 託	国道475号東海環状自動車道建設関係	7	8,436
	一般国道23号中勢道路建設関係	8	15,998
	一般国道42号松阪・多気バイパス建設関係	3	5,364
	その他	1	256
計		192	84,003

※ 同一遺跡を調査した場合でも、調査期間・原因が異なる場合には別件とした。

県（埋蔵文化財センター）担当分発掘調査（立会調査を含む）

（※は国・県費補助事業）

No.	遺 跡 名	所 在 地	調 査 原 因	費 用 負 担
1	権現坂遺跡	員弁郡北勢町字治田外面	東海環状道路建設	建設省
2-1	覚正垣内遺跡	員弁郡北勢町阿下喜字覚正垣内	東海環状道路建設	建設省
3-1	上惣作遺跡（第2次）	員弁郡北勢町阿下喜字上惣作	東海環状道路建設	建設省
4	東村石灰窯跡（立会）	員弁郡北勢町東村	道路交通安全対策	県土木部
5	大久保城跡	員弁郡大安町片樋字大久保	東海環状道路建設	建設省
6	下野代遺跡（立会）	桑名郡多度町下野代	下水道工事	県土木部
7	宮地中世墓群（立会）	桑名郡多度町多度字朝拝下	急傾斜地崩壊対策	県土木部
8	下之宮遺跡（立会）	四日市市下の宮町	工業用水道	県企業庁
9-1	石薬師東古墳群・石薬師東遺跡（第5次）	鈴鹿市石薬師町字寺東	消防学校施設・設備整備	県環境安全部
10	高井A遺跡（第2次）	鈴鹿市徳田町字高井	中勢道路建設	建設省
11	亀山城跡（立会）	亀山市東丸町	都市計画道	県土木部
12	ヲノ坪古窯跡・北山端遺跡	津市一身田上津部田字ヲノ坪 他	県センター博物館（仮称）用地整備	県土地開発公社
13-1	高茶屋大垣内遺跡	津市城山1丁目12-1	高茶屋病院整備	県健康福祉部
14	六大A遺跡（第3次）	津市大里窪田町字花村	中勢道路建設	建設省
15	窪田大垣内遺跡（第2次）	津市大里窪田町字池の下 他	道路改良	県土木部
16	大里西沖遺跡・南所遺跡（立会）	津市大里睦合町・大里野田町	ふるさと農道整備	県農林水産部
17	替田遺跡（A・B・D地区）	津市南河路町字替田	中勢道路建設	建設省
18	蔵田遺跡	津市北河路町字蔵田 他	中勢道路建設	建設省
19	位田遺跡	津市北河路町出口・垣内	中勢道路建設	建設省
20	安濃津遺跡群（旧称安濃津柳山遺跡）	津市柳山津興字松村1,239番地	津実業高等学校建築	県教育委員会
21	天白遺跡（立会）	一志郡嬉野町釜生田字天白	道路改良	県土木部

22-1	天花寺城・小谷赤坂遺跡（第3次）	一志郡嬉野町大字天花寺	道路特殊改良	県土木部
23	宮ノ腰遺跡	一志郡三雲町上ノ庄字宮ノ腰	緊急道路整備	県土木部
24	前田町屋遺跡	一志郡三雲町星合字前田・町屋	橋梁整備	県土木部
25	岩井戸遺跡・岩井戸3号墳（立会）	一志郡白山町二本木字岩井戸	道路改良	県土木部
26	松月院跡・伝本願寺跡（第2次）	一志郡美杉村上多気字小津	道路改良	県土木部
27	奥ノ垣内遺跡	松阪市櫛田町奥ノ垣内・西垣内・出口	県営ほ場整備	（県農林水産部 県教育委員会※
28-1	かん志ゆう遺跡	松阪市櫛田町字かん志ゆう	県営ほ場整備	（県農林水産部 県教育委員会※
29	西垣内遺跡	松阪市櫛田町字西垣内	県営ほ場整備	（県農林水産部 県教育委員会※
30	坂内氏館跡（立会）	松阪市阪内町御所	急傾斜地崩壊対策	県土木部
31	山添遺跡（第2次）	松阪市山添町字真土	ふるさと農道整備	県農林水産部
32	飯ノ生福寺西遺跡（立会）	松阪市西野町	通常砂防	県土木部
33	堀町遺跡（第3次）	松阪市朝田町字堀町	松阪多気バイパス建設	建設省
34-1	中ノ川原遺跡	松阪市八重田町字中ノ川原	小規模河川改修	県土木部
35-1	中の坊遺跡	松阪市目田町字中の坊	県営ほ場整備	（県農林水産部 県教育委員会※
36	曾祢崎古墳群・曾祢崎遺跡（第2次）	多気郡明和町上野字曾祢崎	県営ほ場整備	（県農林水産部 県教育委員会※
37	角垣内遺跡（立会）	多気郡明和町蓑村字角垣内	県営ほ場整備	県農林水産部
38-1	相可出張遺跡（立会）	多気郡多気町相可字出張	相可高校部室建築	県教育委員会
39	新徳寺遺跡（第2次）	多気郡多気町相可字新徳寺	松阪多気バイパス建設	建設省
40	母ノ世古遺跡（上ノ垣内遺跡第3次）	多気郡多気町相可字母ノ世古	松阪多気バイパス建設	建設省
41	門阪遺跡	多気郡多気町牧字門阪	畜産経営環境整備	（県農林水産部 県教育委員会※
42	内垣外遺跡（旧称宇治垣内遺跡）	多気郡多気町相鹿瀬	道路整備	県土木部
43	森ノ上遺跡	多気郡大台町柳原字森ノ上	道路改良	県土木部
44	湯後遺跡（旧称小滝遺跡）	多気郡宮川村小滝字湯後	交通安全施設等整備	県土木部
45	粥見井尻・粥見小林遺跡	飯南郡飯南町粥見字井尻、小林	道路改良	県土木部
46-1	高ノ御前遺跡	伊勢市有滝町字高御前	県営ほ場整備	（県農林水産部 県教育委員会※
47	里中遺跡	度会郡御園村長屋字里中	ふるさと農道整備	県農林水産部
48	山崎遺跡（立会）	度会郡度会町下久具字山崎	橋梁整備	県土木部
49-1	登り遺跡（旧称下り遺跡）	度会郡度会町火打石字登り	中山間地域総合整備	（県農林水産部 県教育委員会※
50	野田遺跡・研山遺跡	度会郡度会町長原字野田・研山	県営ほ場整備	（県農林水産部 県教育委員会※
51	東海道遺跡（第2次）	志摩郡阿児町国府字東海道	道路改良	県土木部
52	鷲ヶ尾古墳群（旧称地蔵川古墳群）	上野市摺見字鷲ヶ尾	営農団地農道整備	県農林水産部
53	城之越遺跡	上野市比土字城之越	農免道	県農林水産部
54	水衛遺跡（旧称伊賀高校遺跡）	阿山郡伊賀町川東字水衛	伊賀高校体育館用地造成	県教育委員会
55	間所遺跡	名賀郡青山町羽根字間所	県営ほ場整備	（県農林水産部 県教育委員会※
56-1	西山遺跡	名賀郡青山町羽根字西山	県営ほ場整備	（県農林水産部 県教育委員会※
57-1	中出向遺跡	名賀郡青山町羽根字中出向	県営ほ場整備	（県農林水産部 県教育委員会※

県（齋宮歴史博物館）担当分発掘調査

No.	58	齋宮跡	重要遺跡確認調査	齋宮歴史博物館	H8. 5. 7～H9. 2.28	3,277㎡
調査 回数	調査面積 (㎡)	調 査 期 間	地 番 ・ 地 籍		備 考	
113-1	902	H8. 5. 7～H8.10.31	明和町齋宮字広頭3359、他		計画発掘調査	
114	1,000	H8.10.25～H9. 2.28	明和町齋宮字柳原2779-2番地		〃	
115-1	610	H8. 5.29～H8. 7.30	明和町齋宮字上園・宮ノ前地内		〃	
116-1	765	H8. 8. 5～H8.12.20	明和町齋宮字上園・宮ノ前・篠林・内山地内		〃	

No.	58	齋宮跡	史跡現状変更	明 和 町	H8. 9.16～H9. 3.31	709㎡
調査 回数	調査 面積 (㎡)	調 査 期 間	地 番 ・ 地 籍	調 査 原 因	調 査 機 関	
117-1	80	H8. 9.16～10. 4	明和町齋宮字楽殿	個人住宅新築	齋宮歴史博物館	
117-2	54	H8.10.21～11. 6	明和町齋宮	個人住宅新築	〃	
117-3	48	H9. 1.16～ 1.31	明和町竹川字中垣内地内	町道簡易舗装	〃	
117-4	48	H9. 1.27～ 1.31	明和町齋宮字牛場地内	町道既設側溝改修	〃	
117-5	465	H9. 2.17～ 3.31	明和町齋宮字北野3551他	社宅新築	〃	
117-6	14	H9. 2. 2～ 3.31	明和町竹川字東裏	車庫新築	〃	

市町村担当分発掘調査

(※は国・県費補助事業)

No.	遺 跡 名	所 在 地	調 査 原 因	費 用 負 担
59	山奥遺跡	四日市市大字羽津字山之奥	国道1号北勢バイパス建設	建設省
60	伊勢国分寺跡	鈴鹿市国分町字西高木230,231,233,234,235	博物館建設	鈴鹿市
61	一反通遺跡	鈴鹿市石薬師町字一反通	個人住宅	鈴鹿市※
62-1	羽舞場遺跡	鈴鹿市小田町字羽舞場1174-11	土地区画整理事業	三重県住宅供給公社
63-1	岡太神社遺跡	鈴鹿市弓削	宅地造成	事業者
64	岸岡山2号墳	鈴鹿市岸岡山字岩ヶ谷2574-3	学術調査	鈴鹿市教育委員会※
65-1	狐穴遺跡	鈴鹿市西条3丁目	宅地造成	有限会社飯田商事
66	狐塚遺跡	鈴鹿市国分町字念仏山4-2,7-1,7-2,9-1,9-2,140-1	博物館駐車場建設	鈴鹿市
67-1	三宅神社遺跡(第1次)	鈴鹿市国府町字西木曾田3694-6	店舗	事業者
67-2	三宅神社遺跡(第2次)	鈴鹿市国府町字中木曾田3565-2	学習塾建設	橋本明子
67-3	三宅神社遺跡(第3次)	鈴鹿市国府町字中木曾田	個人住宅	鈴鹿市
68-1	山の原遺跡	鈴鹿市上田町字赤土	住宅建築	鈴鹿市※
69-1	山辺瓦窯跡	鈴鹿市山辺町232	神社改築	大井神社・鈴鹿市
70-1	須賀遺跡	鈴鹿市須賀1丁目	事務所兼個人住宅	事業者・鈴鹿市
9-2	石薬師東遺跡	鈴鹿市石薬師町	農業用倉庫建設	鈴鹿市※

9-3	石薬師東遺跡	鈴鹿市石薬師町字寺東	個人住宅建設	鈴鹿市
72-1	竹野1丁目遺跡	鈴鹿市竹野1丁目13・14	宅地造成	株式会社サカイ
73-1	長者屋敷遺跡	鈴鹿市広瀬町字南野972,972-1	学術調査	鈴鹿市※
73-3	長者屋敷遺跡(第5次)	鈴鹿市広瀬町字丸内	農道拡幅舗装工事	鈴鹿市
73-4	長者屋敷遺跡(第6次)	鈴鹿市広瀬町字矢下	道路舗装工事	鈴鹿市
74-1	天王遺跡(第1次)	鈴鹿市岸岡町589-2	病院施設建設	三重県厚生農業協同組合連合会
74-2	天王遺跡(第2次)	鈴鹿市岸岡町577-4ほか	歩道整備事業	鈴鹿市
75-1	富士遺跡	鈴鹿市平野町字尼の橋1151-4	共同住宅	事業者
76	木田坂上遺跡	鈴鹿市木田町字木田坂山	土砂採取	原因者・鈴鹿市
77	関宿跡(中町地区)	鈴鹿郡関町大字木崎町字御茶屋	歴史国道ポケットパーク整備事業	関町
78-1	四ツ野C遺跡	津市高茶屋小森町字四ツ野	宅地造成	事業者
79-1	専修寺境内遺跡	津市一身田町字高田	納骨堂建設	専修寺
80	ジゾウ遺跡	安芸郡安濃町大字浄土寺字ジゾウ	宅地造成	紀平建設株式会社
81	東相野遺跡	安芸郡安濃町大字草生字野端	事務所・倉庫・研修棟建設	中部企業株式会社
82	山王遺跡(第2次)	安芸郡河芸町南黒田字山王	中勢北部サイエンスシティ第一期工事	津市土地開発公社
83	下名倉遺跡	一志郡一志町大字井関字下名	町道名倉354号線改良工事	一志町役場建設課
84	下之庄東方遺跡(前山地区)	一志郡嬉野町中川字前山	前山地区土地区画整理	前山地区土地区画整理組合
85-1	貝蔵遺跡(1次調査)	一志郡嬉野町中川字貝蔵他	中川駅周辺土地区画整理	中川駅周辺土地区画整理組合
85-2	貝蔵遺跡(2次調査)	一志郡嬉野町中川字貝蔵他	中川駅周辺土地区画整理	中川駅周辺土地区画整理組合
86	片部遺跡(第4次)	一志郡嬉野町中川字片部	中川駅周辺土地区画整理	中川駅周辺土地区画整理組合
22-2	小谷赤坂遺跡	一志郡嬉野町天花寺字小谷	墓地建設	宗教法人 天花寺
22-3	小谷赤坂遺跡	一志郡嬉野町天花寺字小谷	鉄塔建設	永楽開発株式会社
88	多気北畠氏遺跡(北畠氏館跡)	一志郡美杉村上多気	学術調査	美杉村※
89-1	羽根遺跡	松阪市駅部田町字羽根1235	住宅団地造成	事業者
90	やつで3号墳	松阪市山添町字やつで	工業団地造成	事業者
91	斎宮北野A遺跡	多気郡明和町大字斎宮字北野	宅地造成	民間
92	斎宮北野B遺跡	多気郡明和町大字斎宮字北野	宅地造成	民間
94	史跡赤木城跡	南牟婁郡紀和町赤木	赤木城跡保存整備	紀和町※
95	上野城跡	上野市丸の内	小学校校舎改築工事	上野市
96	旧崇廣堂(第4次)	上野市丸の内	国史跡旧崇廣堂保存整備	上野市※
97-2	御墓山窯跡(第2次)	上野市佐那具町字中坂	工場建設	ミカサ金属工業株式会社
98	比土遺跡	上野市比土字東賀柳	宅地造成	(株)伊藤忠商事
99	西山古墳	阿山郡阿山町馬場字西山665	特別養護老人ホーム建設	阿山町
100	米野氏城跡	阿山郡大山田村大字平田	小学校体育館建設	仮)阿山ユートピア
101	深谷遺跡	名賀郡青山町羽根字深谷	川上ダム取り付け道路建設	大山田村
102	小野城跡	亀山市小野町地内	市道拡幅工事	水資源開発公団
103	一色古墳	久居市一色町	民間宅地開発	亀山市
				民間宅地開発業者

県(埋蔵文化財センター)担当分試掘調査・工事立会

No.	遺跡名	所在地	調査原因	費用負担
104	桑名高校遺跡	桑名市東方	桑名高校運動場改修設備	県教育委員会
2-2	覚正垣内遺跡	員弁郡大安町阿下喜字覚正垣内	東海環状道路建設	建設省
3-2	上惣作遺跡	員弁郡大安町阿下喜字上惣作	東海環状道路建設	建設省
105-1	川原遺跡	員弁郡東員町長深	道路改良	県土木部
105-2	川原遺跡	員弁郡東員町長深	東海環状道路建設	建設省
106	菅原山畑遺跡	四日市市菅原町	四日市中央工業高校設備	県教育委員会
107	南かに島遺跡(立会)	四日市市平尾町	下水道四日市幹線	県土木部
108	金打伝承地(大鐘地名伝承地)	四日市市大鐘町	急傾斜地崩壊対策	県土木部
109-1	国分北遺跡	鈴鹿市国分町	地方特定道路	県土木部
62-2	羽舞場遺跡	鈴鹿市小田町字羽舞場	造成工事	県住宅供給公社
110	本多町遺跡	鈴鹿市神戸4丁目	神戸高校下水道接続	県教育委員会
9-4	石薬師東古墳群	鈴鹿市石薬師町寺東	石薬師高校改修	県教育委員会
111	畑田遺跡	鈴鹿市東庄内町北条字畑田	畜産環境整備	県農林水産部
112		鈴鹿市西庄内町	道路整備工事	県土木部
113	阿野田城跡(立会)	亀山市阿野田町	急傾斜崩落対策	県土木部
114	上田遺跡	亀山市安知本町字上田	畜産環境整備	県農林水産部
115	雲出島貫遺跡	津市雲出島貫町	橋梁整備	県土木部
116	津城跡	津市丸之内	津警察署新築工事	県警察本部
117	小谷遺跡	津市渋見町小谷	津商業高校造成	県教育委員会
118	新池2号墳	津市上津部田字ノノ坪	中勢道路建設	建設省
23-2	高茶屋大垣内遺跡	津市城山1丁目	県立高茶屋病院整備	県健康福祉部
119		津市城山1丁目12-2	飯)三重県精神薄弱者総合福祉センター建設	県健康福祉部
120	里前遺跡	津市野田字里前	中勢道路建設	建設省
121	梁瀬遺跡	津市野田字梁瀬・高栗	中勢道路建設	建設省
122	管ヶ谷遺跡	津市大里窪田町	道路改良	県土木部
15-2	窪田大垣内遺跡	津市大里窪田町	道路改良	県土木部
123	前ヶ谷遺跡	津市一身田	道路整備	県土木部
124	豊野古墳	津市一身田豊野	農免農道	県農林水産部
125	雲林院城跡	安芸郡芸濃町雲林院	通常砂防	県土木部
80-2	ジゾウ遺跡	安芸郡安濃町浄土寺	交通安全対策事業	県土木部
126	久居城跡	久居市東鷹跡町	久居農林高校下水道接続	県教育委員会
127	上野遺跡(立会)	一志郡一志町高野	中勢水道事務所築造	県企業庁
128	飯)其村遺跡	一志郡一志町其村	県営ほ場整備	県農林水産部
129	井ノ口遺跡	一志郡一志町波瀬字井ノ口	県道改良	県土木部
130	笠月遺跡	一志郡一志町井生	土地総	県農林水産部
131	宮ノ東遺跡	一志郡一志町井生	土地総	県農林水産部
132	高畑遺跡	一志郡一志町井生	土地総	県農林水産部
133	笹遺跡	一志郡一志町井生	土地総	県農林水産部
134	筒野遺跡	一志郡嬉野町一志	河川局部改良	県土木部
135	田村西瀬古遺跡	一志郡嬉野町田村	県道改良	県土木部
136	松本遺跡(立会)	一志郡嬉野町川北字松本	中勢沿岸下水道	県土木部
137	西山遺跡	一志郡香良洲町寺家	築堤工事	建設省
138	南浦遺跡	一志郡三雲町小野江字南浦	橋梁整備	県土木部
139	飯)見永新庄屋遺跡	一志郡嬉野町見永	中勢水道用水供給	県企業庁
140	山ノ越遺跡	一志郡三雲町曾原	広域農道	県農林水産部
141	曾原堀之内遺跡	一志郡三雲町曾原	広域農道	県農林水産部
142	大西代遺跡	一志郡三雲町曾原	広域農道	県農林水産部
143	田面遺跡	一志郡三雲町曾原	広域農道	県農林水産部
144	川口瀬古遺跡	一志郡白山町川口字瀬古	交通安全施設等整備	県土木部
145	下屋敷B遺跡	一志郡美杉村太郎生字下屋敷	畜産経営環境整備	県農林水産部本調査
146	下切遺跡	一志郡美杉村太郎生字下切	県道改良	県土木部
147-1	前垣内遺跡	一志郡美杉村竹原	県道改良	県土木部
147-2	前垣内遺跡	一志郡美杉村竹原	砂防	県土木部
148	瀬木遺跡	一志郡美杉村竹原	県道改良	県土木部
149	トシガ谷遺跡	一志郡美杉村川上	通常砂防	県土木部
150	富田遺跡	一志郡美杉村下之川字富田	畜産経営環境整備	県農林水産部
151	山本遺跡	一志郡美杉村下之川字山本	畜産経営環境整備	県農林水産部
28-2	かん志ゆう遺跡	松阪市櫛田町字かん志ゆう	県営ほ場整備	県農林水産部

152	川原田遺跡	松阪市櫛田町字川原田	県営ほ場整備	県農林水産部
153	寺浦遺跡	松阪市西黒部町	道路改良	県土木部
34-2	中ノ川原遺跡 (第2次)	松阪市八重田町字中ノ川原	小規模河川改修	県土木部
154	志のだ遺跡	松阪市豊原町字志のだ	県営ほ場整備	県農林水産部
155	石川田遺跡	松阪市豊原町字石川田	県営ほ場整備	県農林水産部
35-2	中の坊遺跡	松阪市目田町字中の坊	県営ほ場整備	県農林水産部
156	琵琶垣内遺跡	松阪市豊原町字琵琶垣内ほか	県営ほ場整備	県農林水産部
157	塔ノ本遺跡	松阪市櫛田町字塔ノ本	県営ほ場整備	県農林水産部
158	倉垣内遺跡	松阪市櫛田町字倉垣内	県営ほ場整備	県農林水産部
159	古轡通りA遺跡	松阪市早馬瀬町字古轡通り	県営ほ場整備	県農林水産部
160	大正寺遺跡	松阪市横地町字大正寺	県営ほ場整備	県農林水産部
161	目田山遺跡	松阪市横地町字目田山	県営ほ場整備	県農林水産部
162	横地高畑遺跡	松阪市横地町字高畑	県営ほ場整備	県農林水産部
163	向河原遺跡	多気郡明和町竹川字向河原	県営ほ場整備	県農林水産部
164	コドノA遺跡	多気郡明和町岩内・上村	緊急地方道路整備	県土木部
165	コドノB遺跡	多気郡明和町岩内・上村	緊急地方道路整備	県土木部
166	城堀遺跡	多気郡明和町岩内・上村	緊急地方道路整備	県土木部
167	申山C遺跡	多気郡明和町山大淀	自転車道建設	県土木部
168	北沢遺跡	多気郡明和町上野字北沢	県営ほ場整備	県農林水産部
169	二ノ久保遺跡	多気郡多気町四疋田字二ノ久保	県営ほ場整備	県農林水産部
38-2	相可出張遺跡	多気郡多気町相可字出張	相可高校部室建築	県教育委員会
170	奥ホリ遺跡	多気郡多気町牧字奥ホリ	畜産経営環境整備	県農林水産部
171	花ノ木遺跡	多気郡多気町牧字花ノ木	畜産経営環境整備	県農林水産部
172	浅間山北遺跡	多気郡多気町牧字祭神	畜産経営環境整備	県農林水産部
173	川原街道遺跡	多気郡多気町牧字川原街道	畜産経営環境整備	県農林水産部
174	浅間山南遺跡	多気郡多気町牧字浅間山	畜産経営環境整備	県農林水産部
175	祭神遺跡	多気郡多気町牧字中街道	畜産経営環境整備	県農林水産部
176	茶屋ノ広遺跡	多気郡勢和村色太	道路特殊改良	県土木部
177	物見坂遺跡	多気郡勢和村色太	伊勢道トンネル建設	日本道路公団
178	アカリ遺跡	多気郡勢和村片野字アカリ	畜産経営環境整備	県農林水産部
179	スサキ遺跡	多気郡勢和村片野字スサキ	畜産経営環境整備	県農林水産部
180	ソウダ遺跡	多気郡勢和村片野字ソウダ	畜産経営環境整備	県農林水産部
181	縁通庵遺跡	多気郡勢和村片野字縁通庵	畜産経営環境整備	県農林水産部
182	滝部遺跡	多気郡大台町滝広	道路改良	県土木部
183	柳原遺跡	多気郡大台町柳原	道路改良	県土木部
184	細淵遺跡	多気郡宮川村細淵	通常砂防	県土木部
185	茂原遺跡隣接地	多気郡宮川村茂原	昴学園高校部室建築	県教育委員会
186	立梅遺跡	飯南郡飯南町粥見	道路改良	県土木部
187	飯) 赤井古墳	伊勢市神田久志本町	伊勢高校運動場改修 設備	県教育委員会
46-2	高ノ御前遺跡	伊勢市有滝町字高ノ御前	県営ほ場整備	県農林水産部
188	松葉遺跡	伊勢市有滝町字松葉	県営ほ場整備	県農林水産部
189	郷垣外遺跡	伊勢市有滝町字郷垣外	県営ほ場整備	県農林水産部
190	大方山遺跡	伊勢市有滝町字大方山	県営ほ場整備	県農林水産部
191	有滝遺跡	伊勢市東豊浜町	道路改良	県土木部
49-2	登り遺跡	度会郡度会町火打石字登り	中山間	県農林水産部
192	中村遺跡	度会郡度会町田口	道路交通安全対策	県土木部
193	大西遺跡	度会郡度会町牧戸	道路交通安全対策	県土木部
194	中通遺跡	度会郡度会町田口	道路交通安全対策	県土木部
195	田口西沖遺跡	度会郡度会町田口	道路交通安全対策	県土木部
196-1	里A遺跡	度会郡度会町鮎川字里ほか	県営ほ場整備	県農林水産部
196-2	里A遺跡	度会郡度会町鮎川字里ほか	ふるさと農道整備	県農林水産部
197	飯) 飯満遺跡	度会郡南勢町飯満	海岸高潮対策	県土木部
198		尾鷲市名柄町	国道特殊改良	県土木部
199	大白遺跡	北牟婁郡海山町大白	臨海公園整備	県土木部
200	道瀬遺跡	北牟婁郡紀伊長島町道瀬	臨海公園整備	県土木部
201	和具遺跡	北牟婁郡海山町島勝	海岸環境	県農林水産部
202		北牟婁郡御浜町栗恵・川瀬	道路改良	県土木部
203	武士塚中世墓隣接地	上野市葛蒲池	道路改良	県土木部
204	緑ヶ丘東町遺跡隣接地	上野市緑ヶ丘東町	上野商業高校部室建築	県教育委員会
205	清水尻館跡	上野市下友生	道路改良	県土木部
206	馬田B・C遺跡	阿山郡阿山町馬田	道路改良	県土木部
207	小林遺跡	阿山郡伊賀町愛田	通常砂防	県土木部
208	道筋遺跡	名賀郡青山町伊勢路	緊急地方道路整備	県土木部
209	中島遺跡	名賀郡青山町羽根字中島	県営ほ場整備	県農林水産部
57-2	中出向遺跡	名賀郡青山町羽根字中出向他	県営ほ場整備	県農林水産部
56-2	西山遺跡	名賀郡青山町羽根字西山	県営ほ場整備	県農林水産部

市町村担当分試掘調査・工事立会

No.	遺 跡 名	所 在 地	調 査 原 因	費 用 負 担
211	安永城跡	桑名市大字安永十区割1722番、 1722番1	共同住宅	事業者
212-1	宇賀遺跡	桑名市大字蓮花寺字宇賀350-1	共同住宅	事業者
212-2	宇賀遺跡	桑名市大字蓮花寺字宇賀395-1	宅地分譲	事業者
213	横長遺跡	桑名市大字額田字横長546番地	共同住宅	事業者
214-1	桑名城遺跡	桑名市吉之丸	個人住宅	桑名市
214-2	桑名城遺跡	桑名市吉之丸8番3・9	公園整備	
214-3	桑名城遺跡	桑名市三之丸	個人住宅	
214-4	桑名城遺跡	桑名市三之丸	個人住宅	
214-5	桑名城遺跡	桑名市三之丸	個人住宅	
214-6	桑名城遺跡	桑名市三之丸	個人住宅	
215-1	桑名城下町遺跡	桑名市一色町	個人住宅	
215-2	桑名城下町遺跡	桑名市一色町	個人住宅	
215-3	桑名城下町遺跡	桑名市一色町	個人住宅	
215-4	桑名城下町遺跡	桑名市外堀	個人住宅	
215-5	桑名城下町遺跡	桑名市外堀	個人住宅	
215-6	桑名城下町遺跡	桑名市萱町	個人住宅	
215-7	桑名城下町遺跡	桑名市京橋町	店舗兼住宅	
215-8	桑名城下町遺跡	桑名市京橋町	個人住宅	
215-9	桑名城下町遺跡	桑名市京町	店舗兼住宅	
215-10	桑名城下町遺跡	桑名市元赤須賀	個人住宅	
215-11	桑名城下町遺跡	桑名市元赤須賀	個人住宅	
215-12	桑名城下町遺跡	桑名市元赤須賀	個人住宅	
215-13	桑名城下町遺跡	桑名市元赤須賀	個人住宅	
215-14	桑名城下町遺跡	桑名市元赤須賀	個人住宅	
215-15	桑名城下町遺跡	桑名市三崎町	個人住宅	
215-16	桑名城下町遺跡	桑名市三崎通	個人住宅	
215-17	桑名城下町遺跡	桑名市新屋敷	個人住宅	
215-18	桑名城下町遺跡	桑名市新屋敷	個人住宅	
215-19	桑名城下町遺跡	桑名市新屋敷	個人住宅	
215-20	桑名城下町遺跡	桑名市清水町33番地	建売木造住宅	事業者
215-21	桑名城下町遺跡	桑名市船馬町	個人住宅	
215-22	桑名城下町遺跡	桑名市大字中野502・503	共同住宅	
215-23	桑名城下町遺跡	桑名市鍛冶町	個人住宅	
215-24	桑名城下町遺跡	桑名市伝馬町	個人住宅	
215-25	桑名城下町遺跡	桑名市内堀	個人住宅	
215-26	桑名城下町遺跡	桑名市内堀27・28-1・28-2・29 -1・30・31	診療所建設	事業者
215-27	桑名城下町遺跡	桑名市内堀	個人住宅	
215-28	桑名城下町遺跡	桑名市南魚町	個人住宅	
215-29	桑名城下町遺跡	桑名市入江葭	個人住宅	
215-30	桑名城下町遺跡	桑名市片町	個人住宅	
215-31	桑名城下町遺跡	桑名市本町46	倉庫及び社務所増設	事業者
215-32	桑名城下町遺跡	桑名市柳原	個人住宅	
215-33	桑名城下町遺跡	桑名市柳原	個人住宅	
215-34	桑名城下町遺跡	桑名市柳原	個人住宅（増築）	
215-35	桑名城下町遺跡	桑名市柳原	個人住宅	
215-36	桑名城下町遺跡	桑名市柳原89・90・91・92・92 -1・156	事務所建設	事業者
216	元蔵遺跡	桑名市大字東金井	個人住宅	
217	五反田貝戸遺跡	桑名市大字五反田字貝戸1172番 地 地先	道路改良工事	
218-1	江場貝戸遺跡	桑名市大字江場字長折483-1・2・ 3、482-1・2	駐車場及び資材置場	事業者
218-2	江場貝戸遺跡	桑名市大字大福字中野524番地 他	住宅団地	事業者
219	七和庵寺遺跡	桑名市大字森忠字笠坊谷835番 地 他16筆	住宅地造成	事業者
220	篠原遺跡	桑名市大字桑部字篠原	個人住宅	
221	中野遺跡	桑名市大字安永字九区割1302-1・ 1304	共同住宅	事業者
222-1	能部南貝戸遺跡	桑名市大字能部字花貝戸	個人住宅	
222-2	能部南貝戸遺跡	桑名市大字能部字東谷1327-1	事務所建設	
223	能部北貝戸遺跡	桑名市能部字北貝戸	個人住宅	

3-3	上惣作遺跡	員弁郡北勢町大字阿下喜	民間宅地造成	北勢町
224	東村城跡	員弁郡北勢町大字東村字今村	町道改良工事	北勢町
225	一ノ高丘遺跡	四日市市采女町字一ノ高丘	営業所建設	事業者
226	羽津広遺跡	四日市市大矢地町字北之脇・羽津広	一般国道1号北勢バイパス建設	建設省
227	宮ノ下遺跡	四日市市小古曾2丁目	共同住宅建設	事業者
228	山川遺跡・菅野遺跡	四日市市貝塚町字山川・荒起	変電所及び関連送電線路建設	中部電力株式会社
229-1	小方縄遺跡	四日市市大治田3丁目	共同住宅建設	事業者
229-2	小方縄遺跡	四日市市大治田3丁目	共同住宅建設	事業者
230	茶臼山古墳群1号墳・3号墳	四日市市泊山村字盆ノ井	宅地分譲	
231	泊山古墳群1号墳	四日市市采女字上田	公園造成工事	事業者
232	北之脇遺跡	四日市市大矢地町字北之脇	北勢バイパス建設	建設省
233	黒石原古墳	三重郡菰野町根ノ平	住宅	菰野町
63-2	岡太神社遺跡	鈴鹿市弓削2丁目	住宅	鈴鹿市
63-3	岡太神社遺跡	鈴鹿市弓削2丁目455-2	宅地分譲	鈴鹿市
234	加佐登遺跡	鈴鹿市加佐登1丁目	住宅	鈴鹿市
235-1	岸岡山III遺跡	鈴鹿市岸岡町見当山2615ほか	公園	鈴鹿市
235-2	岸岡山III遺跡	鈴鹿市岸岡町南山越2985	共同住宅	鈴鹿市
236-1	岩ヶ谷遺跡	鈴鹿市平野町岩ヶ谷	農業倉庫	鈴鹿市
236-2	岩ヶ谷遺跡	鈴鹿市平野町岩ヶ谷	住宅	鈴鹿市
237	居敷遺跡	鈴鹿市津賀町居敷1042ほか	耕地整理	鈴鹿市
65-2	狐穴遺跡	鈴鹿市西条	宅地造成	鈴鹿市
238-1	国府A遺跡	鈴鹿市国府町西之条	住宅	鈴鹿市
238-2	国府A遺跡	鈴鹿市国府町西之条	住宅	鈴鹿市
239	国府城跡	鈴鹿市国府町	住宅	鈴鹿市
240-1	国分遺跡	鈴鹿市国分町	住宅	鈴鹿市
240-2	国分遺跡	鈴鹿市国分町北條	住宅	鈴鹿市
241	国分東遺跡	鈴鹿市国分町	住宅	鈴鹿市
242	国分南遺跡	鈴鹿市国分町南浦1393	農業関連	鈴鹿市
243	国分尼寺跡	鈴鹿市国分町谷上1454	農業関連	鈴鹿市
108-2	国分北遺跡	鈴鹿市国分町	住宅	鈴鹿市
108-3	国分北遺跡	鈴鹿市国分町	住宅	鈴鹿市
244	砂山遺跡	鈴鹿市岸岡町砂山	住宅	鈴鹿市
67-4	三宅神社遺跡	鈴鹿市国府町西木曾田3694-1	土地造成	鈴鹿市
67-5	三宅神社遺跡	鈴鹿市国府町西木曾田3694-6	小売店舗	鈴鹿市
67-6	三宅神社遺跡	鈴鹿市国府町中木曾田	学習塾	鈴鹿市
68-2	山の原遺跡	鈴鹿市上田町	住宅	鈴鹿市
68-3	山の原遺跡	鈴鹿市上田町海戸田	住宅	鈴鹿市
68-4	山の原遺跡	鈴鹿市上田町赤土	住宅	鈴鹿市
69-2	山辺瓦窯跡	鈴鹿市山辺町232	神社	鈴鹿市
245-1	上箕田遺跡	鈴鹿市上箕田1丁目	住宅	鈴鹿市
245-2	上箕田遺跡	鈴鹿市上箕田1丁目	農業倉庫	鈴鹿市
245-3	上箕田遺跡	鈴鹿市上箕田1丁目	住宅	鈴鹿市
245-4	上箕田遺跡	鈴鹿市上箕田1丁目	住宅	鈴鹿市
70-2	須賀遺跡	鈴鹿市須賀1丁目	住宅	鈴鹿市
70-3	須賀遺跡	鈴鹿市須賀1丁目	住宅	原因者
70-4	須賀遺跡	鈴鹿市須賀1丁目	住宅	鈴鹿市
70-5	須賀遺跡	鈴鹿市須賀2丁目	住宅	鈴鹿市
246-1	西ノ野遺跡	鈴鹿市国府町	住宅	鈴鹿市
246-2	西ノ野遺跡	鈴鹿市国府町牛落4344	資材置場	鈴鹿市
247	西浦遺跡	鈴鹿市上田町五反田	住宅	鈴鹿市
9-4	石薬師東遺跡	鈴鹿市石薬師町452-107	資材置場	鈴鹿市
248	大新田遺跡	鈴鹿市野町葵	住宅	原因者
72-2	竹野1丁目遺跡	鈴鹿市竹野1丁目	住宅	鈴鹿市
72-3	竹野1丁目遺跡	鈴鹿市竹野1丁目11	造成	鈴鹿市
72-4	竹野1丁目遺跡	鈴鹿市竹野1丁目	宅地造成	鈴鹿市
73-2	長者屋敷遺跡	鈴鹿市広瀬町字丸内2683ほか	道路	鈴鹿市
249	長畑遺跡	鈴鹿市御園町字長畑	農業倉庫	鈴鹿市
250	長法寺遺跡	鈴鹿市長法寺町権現746-1ほか	老人福祉施設	事業者
251	塚腰遺跡	鈴鹿市郡山町	住宅	鈴鹿市
74-3	天王遺跡	鈴鹿市岸岡町577-4	道路	鈴鹿市
74-4	天王遺跡	鈴鹿市岸岡町577-4	道路	鈴鹿市
74-5	天王遺跡	鈴鹿市岸岡町589-2	病院	原因者
74-6	天王遺跡	鈴鹿市岸岡町天王	宅地造成	事業者
252	南原永I遺跡	鈴鹿市南若松町山之腰	住宅	鈴鹿市

253	南東大野遺跡	鈴鹿市南東大野5141-3	店舗	鈴鹿市
254	磐城山遺跡	鈴鹿市木田町字磐城山2253	農地改良	鈴鹿市
75-2	富士遺跡	鈴鹿市平野町尼の橋1151-4	共同住宅	鈴鹿市
255	平田遺跡	鈴鹿市平田本町1丁目	住宅	鈴鹿市
256	平野遺跡	鈴鹿市平野町花林	住宅	鈴鹿市
257	北若松遺跡	鈴鹿市若松東3丁目	住宅分譲	鈴鹿市
258	野起遺跡	鈴鹿市白子町野起	住宅	鈴鹿市
259	林崎遺跡	鈴鹿市林崎1丁目961~963	宅地分譲	鈴鹿市
260		鈴鹿市伊船町北下ノ割2177-1	店舗	鈴鹿市
261		鈴鹿市三宅町字芯比1408ほか	道路建設	鈴鹿市
262		鈴鹿市若松北2丁目1137ほか	宅地開発	鈴鹿市
263	忍山遺跡	亀山市野村4丁目	市道建設	亀山市
264	亀山城跡	亀山市西丸町字東丸530-5	公園造成	亀山市
265	亀山城跡	亀山市東丸町字東丸530-5	市駐車場造成	亀山市
266	仮) 西田端遺跡	津市一身田豊野1171-1	鉄塔及び無線装置建設	事業者
79-2	専修寺境内遺跡	津市一身田町字高田	宗務院建設	事業者
267	大古曾遺跡	津市一身田大古曾字山ノ口	畑地造成	事業者
268	谷口1号墳	津市高野尾町字谷口	宅地開発	事業者
269	仮) 谷口4号墳	津市高野尾町字谷口	宅地開発	事業者
270	北山2号墳	津市高野尾町字竿白	宅地開発	事業者
271	仮) 北山3号墳	津市高野尾町字竿白	宅地開発	事業者
272	仮) 北山4号墳	津市高野尾町字竿白	宅地開発	事業者
273	笠取A遺跡	津市大字半田字朝日	共同住宅建設	事業者
78-2	四ツ野C遺跡	津市高茶屋小森町字四ツ野	宅地造成	事業者
274	仮) 中山遺跡	津市高茶屋小森町字中山1708-9	宅地開発	事業者
275	仮) 中沢遺跡	津市栗真小川町字中沢700-1ほか3筆	ガソリンスタンド建設	事業者
276	吾妻遺跡	安芸郡安濃町大字荒木字吾妻	土砂採取	丸中商事株式会社
277	前野A・B遺跡	安芸郡安濃町大字前野字里	宅地造成	株式会社トーカイ
278	仮) 野口田端線内遺跡	安芸郡安濃町大字草生字船倉	野口田端線改良工事	安濃町
279	パークストリート事業地内遺跡	安芸郡安濃町大字東観音寺字北浦	パークストリート建設	
89-2	羽根遺跡	松阪市駅前町羽根	宅地造成	事業者
280	杉田遺跡	松阪市下村町杉田	道路建設	事業者
281	上村遺跡	松阪市下村町北浦	宅地造成	事業者
282		松阪市御麻生園町	道路拡張	松阪市
283		松阪市山添町真土	砂利採取	事業者
284		松阪市豊原町	宅地造成	事業者
285	仮) 昼ノ野古墳	多気郡明和町大字上野字昼ノ野	削平工事	明和町
286	ねむり地藏遺跡	多気郡多気町大字野中字山口	送電要鉄塔建設	多気町・事業者
287	下ノ平遺跡	多気郡宮川村本田木屋	宮川村中山間地域総合整備事業	
288	磯田畑遺跡	飯南郡飯南町大字深野小字磯田畑	個人住宅建設	飯南町
289	袴田遺跡	伊勢市磯町字コウダ	宅地開発	事業者
290	土畑遺跡	伊勢市佐八町字土畑	砂利採集	事業者
291	東山遺跡	伊勢市東大淀町字東山	店舗開発	事業者
292	上野山古墳	度会郡玉城町勝田字上ノ山	宅地造成	事業者
293	田丸城跡	度会郡玉城町田丸114の1	芝生広場造成工事玉城町	
294-1	山田遺跡	度会郡御園村大字王中島字大堀152-1他26筆	店舗建設	事業者
294-2	山田遺跡	度会郡御園村大字長屋2120他	店舗建設	事業者
295	二ツ峠窯跡近接地	上野市依那具字二ツ峠ほか	市道道路改良	上野市
296	高畑遺跡	上野市羽根字ミソノ尾	店舗建築	事業者
297	城之越遺跡近接地	上野市古都・比土	農道舗装	上野市
97-1	御墓山窯跡	上野市佐那具字中坂	工場増設	事業者
298	高野遺跡	上野市佐那具町字高野	倉庫建設	事業者
299	城山堡近接地	上野市治田字打向	無線基地	事業者
300	新開遺跡	上野市西明寺字新開	倉庫建設	事業者
301	仮) 平野蔵垣内遺跡	上野市平野蔵垣内	砂利採取	事業者
302	仮) 緑ヶ丘本町遺跡	上野市緑ヶ丘本町	宅地造成	事業者

- | | | |
|----------|----------|-----------|
| 201 津市 | 462 二見町 | 501 青山町 |
| 202 四日市市 | 463 小俣町 | 521 浜島町 |
| 203 伊勢市 | 464 南勢町 | 522 大王町 |
| 204 松阪市 | 465 南島町 | 523 志摩町 |
| 205 桑名市 | 466 大宮町 | 524 阿児町 |
| 206 上野市 | 467 紀勢町 | 525 磯部町 |
| 207 鈴鹿市 | 468 御園村 | 541 紀伊長島町 |
| 208 名張市 | 469 大内山村 | 542 海山町 |
| 209 尾鷲市 | 470 度会町 | 561 御浜町 |
| 210 亀山市 | 481 伊賀町 | 562 紀宝町 |
| 211 鳥羽市 | 482 島ヶ原村 | 563 紀和町 |
| 212 熊野市 | 483 阿山町 | 564 鵜殿村 |
| 213 久居市 | 484 大山田村 | |
| 301 多度町 | | |
| 302 長島町 | | |
| 303 木曾岬町 | | |
| 321 北勢町 | | |
| 322 員弁町 | | |
| 323 大安町 | | |
| 324 東員町 | | |
| 325 藤原町 | | |
| 341 菰野町 | | |
| 342 楠町 | | |
| 343 朝日町 | | |
| 344 川越町 | | |
| 361 関町 | | |
| 381 河芸町 | | |
| 382 芸濃町 | | |
| 383 美里村 | | |
| 384 安濃町 | | |
| 402 香良洲町 | | |
| 403 一志町 | | |
| 404 白山町 | | |
| 405 嬉野町 | | |
| 406 美杉村 | | |
| 407 三雲町 | | |
| 421 飯南町 | | |
| 422 飯高町 | | |
| 441 多気町 | | |
| 442 明和町 | | |
| 443 大台町 | | |
| 444 勢和村 | | |
| 445 宮川村 | | |
| 461 玉城町 | | |

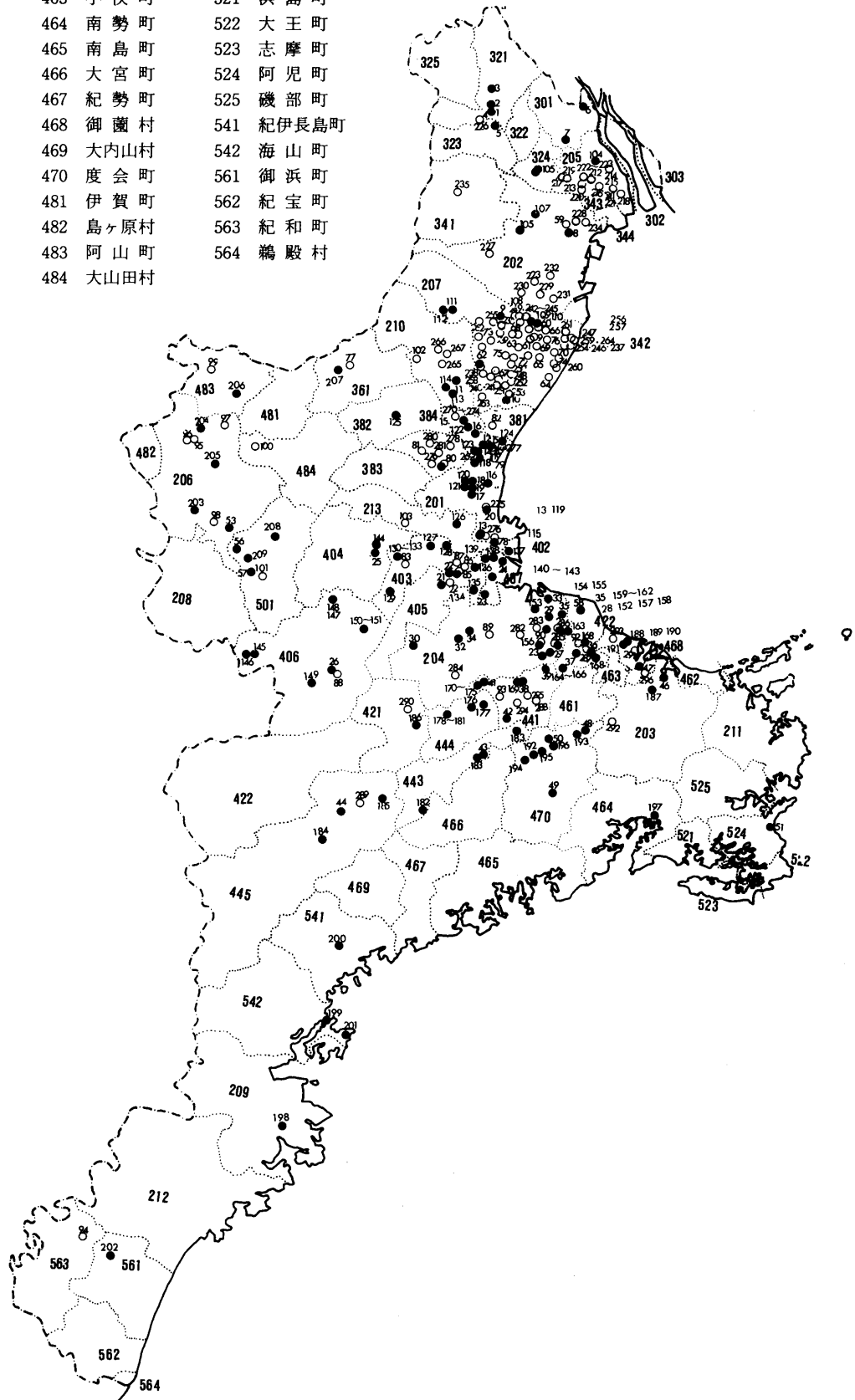


図1 平成8年度三重県内発掘調査遺跡位置図

2. 発掘調査の概要

注)

※1 保護法関係文書番号は、文化財保護法98条の2第1項または、第57条第1項に関する文書番号。

※2 ※は国・県費補助事業

県（三重県埋蔵文化財センター）担当分 本調査

No.	1	遺跡名	権現坂遺跡			台帳番号	321-43	
所在地	員弁郡北勢町宇治田外面				事業主体	建設省中部地方建設局		
調査原因	一般国道475号東海環状自動車道建設				費用負担	建設省		
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	清水正明・片岡 博			
調査期間	H 8 . 10 . 1 ～H 8 . 11 . 20		調査面積	756㎡	保護法関係 文書番号	8年10月1日付け 教文 第2107号		
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物		
一昨年度調査区の北に位置し、包含層からは完形山茶碗山皿を含む中世陶器、同時に須恵器片も多く出た。遺構として中世掘立柱建物跡を3棟分確認。他にも散在するピットについてはさらに検討中。かつて沼に接した遺跡で、検出面とした地盤は、埋立地の可能性高し。				掘立柱建物の柱穴と思われるピット列（3棟分） ピット多数		須恵器（甕片多し）（奈良時代～） 山茶碗・山皿（完形・墨書土器含む） 土師皿 （少数・又は小片として） 縄文土器・灰釉陶器 青磁・天目茶碗		
関連文献								
No.	2	遺跡名	覚正垣内遺跡			台帳番号	321-41	
所在地	員弁郡北勢町阿下喜字覚正垣内				事業主体	建設省中部地方建設局		
調査原因	一般国道475号東海環状自動車道建設				費用負担	建設省		
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	清水弘之・片岡 博			
調査期間	H 8 . 11 . 11 ～H 8 . 1 . 20		調査面積	1,270㎡	保護法関係 文書番号	8年11月20日付け 教文 第2398号		
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物		
調査区は員弁川左岸の中位段丘上に立地する。縄文土器（晩期）と凹石や石錘、磨石とともに拳大～人頭大の石が入れられた1m内外の不定形土坑を6基確認する。縄文後期の条線文土器が正位にすえ、底部を打ち欠いて穴をあけて埋設されていた。				○縄文時代 土坑 6基 竪穴状遺構 2基 埋設土器 1基 ○中世 掘立柱建物 3棟 溝 2条		縄文土器（晩期） 磨消縄文・条線文 石釧・剝片・磨製石斧 凹石・石錘・石皿・磨石 山茶碗 中近世陶器		
関連文献								
No.	3	遺跡名	上惣作遺跡（第2次）			台帳番号	321-69	
所在地	員弁郡北勢町阿下喜字上惣作				事業主体	建設省中部地方建設局		
調査原因	一般国道475号東海環状自動車道建設			建設省	費用負担	事業負担		
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	清水弘之・竹内英昭・片岡 博			
調査期間	H 8 . 4 . 17 ～H 8 . 8 . 12		調査面積	4,470㎡	保護法関係 文書番号	8年4月30日付け 教文 第807号		
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物		
員弁川水系が形成した段丘上に位置する。今年度はA及びB地区を調査。A地区では竪穴住居や大溝を検出。B地区でも竪穴住居跡の他、倉庫群と考えられる掘立柱建物群を検出。またB地区には活断層が調査区を横断しており、遺跡とも関わりが注目される。				○飛鳥時代 竪穴住居 11棟 掘立柱建物 15棟 大溝 3条		縄文土器片 土師器（杯・甕・甌ほか） 須恵器 （蓋杯・高杯・平瓶・横瓶 ・ 円面甕ほか） 灰釉陶器・緑釉陶器・山茶碗 銀環・鉄鏃・鉄鎌		
関連文献								

No.	4	遺跡名	東村石灰窯跡（立会）			台帳番号	未登録
所在地	員弁郡北勢町東村				事業主体	県土木部道路維持課	
調査原因	一般国道365号県単道路交通安全対策（一種）工事				費用負担	県土木部	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	岡 聡・伊藤裕之		
調査期間	H9. 1. 8 ～H9. 1. 21		調査面積	33㎡	保護法関係 文書番号	8年1月28日付け 教文 第206号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
員弁川右岸、北勢町東村集落のある台地の北側突出部東側斜面に位置する。直径3m程の円筒型縦窯と思われる石灰焼成窯1基の一部分を検出した。石灰と焼土の交互層位、石灰岩、炭、窯内側面に張りつけてあったと考えられる石、覆い石を伴った排水溝を確認した。				石灰焼成窯 1基			
関連文献	大安町教育委員会『大安町史 第2巻』1993、員弁郡役所『員弁郡郷土資料』1915						
No.	5	遺跡名	大久保城跡			台帳番号	323-102
所在地	員弁郡大安町片樋字大久保				事業主体	建設省中部地方建設局	
調査原因	一般国道475号東海環状自動車道建設				費用負担	建設省	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	清水正明・片岡 博		
調査期間	H8. 8. 26 ～H8. 9. 27		調査面積	1,420㎡	保護法関係 文書番号	8年7月22日付け 教文 第1711号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
中世城館に係る遺構や遺物は確認できず調査区内のNo字型切り込みは近年に掘削と埋立が行われた跡があり、埋土中に遺物はなかった。周囲の水路は途中幾度か方向を変えており、堀跡の可能性も残す。崩落続きの段丘崖上にあつて、消失した可能性も否めない。				V字型切り込み ※ただし近年に削られ埋め戻された形跡があり中世城館に伴うものと断定できない。		縄文土器片 片刃石斧の半分	
関連文献	『桑名志』（1835年完成・桑名藩内の地誌） 『員弁史談』（1980年発行 近藤実著）						
No.	6	遺跡名	下野代遺跡（立会）			台帳番号	301-65
所在地	桑名郡多度町下野代				事業主体	県土木部下水道課	
調査原因	平成8年度下水道桑名幹線（第16工区）管渠工事				費用負担	県土木部	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	伊藤裕之・服部芳人		
調査期間	H8. 6. 12 ～H8. 6. 24		調査面積	60㎡	保護法関係 文書番号	年 月 日付け 第 号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
揖斐川とその支流である肱江川の流域に広がる標高3～5m前後の沖積地に位置する。昭和40～41年にかけてのは場整備の際、土器・陶器の細片が多数発見されている。今回の事業では、立坑部分について、立会調査を実施した。遺物包含層からは、木片と土師器片（古墳時代）が出土したが、磨滅が激しく、揖斐川の洪水等により上流から運ばれてきたものと思われる。				なし。		土師器（古墳時代）	
関連文献							

No.	7	遺跡名	宮地中世墓群			台帳番号	新規
所在地	桑名郡多度町多度字朝拝下				事業主体	県土木部砂防課	
調査原因	H8年度国補急傾斜地崩壊対策事業(朝拝下地区)				費用負担	県土木部	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	杉谷政樹・竹内英昭		
調査期間	H8. 11. 12 ～H8. 11. 29		調査面積	220㎡	保護法関係 文書番号	8年10月1日付け 教文 第2543-1号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
多度大社の社殿が鎮座する丘陵の裾部に立地する。中世墓3基はいずれも小石室を築く。茶毘に付していない。うち2号墓は、貼石を伴う3m四方の墳丘をもつと考えられる。また、3号墓の石室内には青磁碗・皿6個体を円形に配置していた。				○中世墓 3基 (1～3号墓)		土師器 皿 灰釉陶器 山茶碗 青磁 碗・皿 鉄釘 銭貨 人骨	
関連文献							
No.	8	遺跡名	下之宮遺跡(立会)			台帳番号	202-512
所在地	四日市市下之宮町				事業主体	県企業庁工業水道課	
調査原因	平成8年度主要地方道嬉野美杉線県単道路改良工事				費用負担	県企業庁	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	伊藤裕之		
調査期間	H8. 12. 20、H9. 1. 20、 H9. 2.		調査面積	計100㎡	保護法関係 文書番号	8年12月12日付け 教文 第2531号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
朝明川下流右岸の標高5m前後の氾濫平野に位置する。発進立坑、到達立坑、開削箇所に限って立会調査を実施。発進立坑と隣接する開削箇所の遺物包含層からは、多量の弥生土器が出土。				なし		弥生土器(中期) 高杯、甕、壺等	
関連文献							
No.	10	遺跡名	高井A遺跡(第2次)			台帳番号	207-575
所在地	鈴鹿市徳田町字高井				事業主体	建設省中部地方建設局	
調査原因	一般国道23号中勢道路建設				費用負担	建設省	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	筒井昭仁		
調査期間	H8. 5. 13 ～H8. 5. 23		調査面積	450㎡	保護法関係 文書番号	8年4月1日付け 教文 第611号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
中ノ川中流域左岸の丘陵裾部付近に位置し、第1次調査区の北東～南西を渡る市道部分である。 1次調査区で検出した古墳時代～平安時代の溝の続きを2条確認した。 また、弥生時代の石鏃も見つかっており、付近に弥生時代の生活の跡がうかがえる。				○古墳時代～平安時代 溝 2条		○土師器片(高杯) ○須恵器片(高杯・杯身)	
関連文献 『一般国道23号中勢道路埋蔵文化財発掘調査概報Ⅸ』三重県埋蔵文化財センター 1997							

No.	9	遺跡名	石薬師東古墳群・石薬師東遺跡（第5次）			台帳番号	207-727・754~778	
所在地	鈴鹿市石薬師町字寺東				事業主体	県環境安全部消防防災課		
調査原因	三重県消防学校施設・設備整備事業				費用負担	県環境安全部		
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	服部芳人・伊藤裕之・岡 聡・濱辺一機・山田康博			
調査期間	H 8 . 4 . 4 ～H 8 . 12 . 20		調査面積	7,110㎡	保護法関係 文書番号	年 月 日付け 第 号		
遺 跡 の 概 要								
平成5年度から継続して調査を行った古墳群で、新たに13基の古墳の周溝を検出した。鈴鹿市教育委員会調査分を含めると計53基の古墳を確認したことになる。53基の古墳の内訳は方墳49基、円墳4基である。古墳築造に企画性の可能性があり、また周溝内での祭祀の痕跡も確認できる。概ね5世紀後半から6世紀前半の築造である。								
古墳名	墳形	規模 (m)	主 な 出 土 遺 物					
61号墳	方墳	9.0×9.0	須恵器（杯身・杯蓋）・円筒埴輪					
62号墳	方墳	9.0×9.0	円筒埴輪					
63号墳	円墳	直径15.0	須恵器（杯身・杯蓋・甕・ハソウ・高杯・筒形器台）・円筒・形象埴輪（馬）					
65号墳	方墳	—×7.5	須恵器（杯身・杯蓋・ハソウ・高杯）					
66号墳	方墳	5.2×5.5	須恵器（杯身）					
67号墳	方墳	11.5×—	須恵器（杯身・杯蓋・ハソウ・高杯）・土師器（壺）					
68号墳	方墳	—×—	土師器（高杯）					
69号墳	方墳	—×7.5	須恵器（杯身）					
70号墳	方墳	—×—	土師器片					
71号墳	円墳	直径22.5	須恵器（杯身・杯蓋・甕・ハソウ・高杯・筒形器台）・円筒・形象埴輪（家）					
72号墳	方墳	6.0×6.5	須恵器（杯身）・土師器（壺）					
73号墳	方墳	—×—	須恵器（杯身・杯蓋）・土師器（壺）					
74号墳	方墳	10.5×11.0	須恵器（杯身・杯蓋・甕・ハソウ・高杯・器台）					
75号墳	方墳	—×—	なし					
77号墳	—	—×—	なし					
78号墳	—	—×—	須恵器・円筒埴輪					
関連文献	『石薬師東古墳群・石薬師遺跡（第4次）発掘調査概報』三重県埋蔵文化財センター 1996. 3							
No.	11	遺跡名	亀山城跡（立会）			台帳番号	210-200	
所在地	亀山市東丸町							
調査原因	都市計画道 駅前高塚線街路事業				事業主体	県土木部都市計画整備課		
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	杉谷政樹			
調査期間	H 8 . 11 . 14 12 . 9 H 8 . 1 . 16		調査面積	200㎡	保護法関係 文書番号	9年1月8日付け 教文 第 37号		
遺 跡 の 概 要				主 な 遺 構		主 な 遺 物		
調査場所は亀山城本丸多門櫓東側の石坂門から西之丸に到る通路及びその西側の小さな廓・堀に相当する。工事施工時に立会調査を行った。事業範囲が狭く、そのほとんどが現道の既設擁壁により攪乱されていたが、池の側から続く堀の北岸落ち込みを確認した。しかし石坂門西側の石垣は検出できなかった。				・堀落ち込み		瓦		
関連文献								

No.	12	遺跡名	ヲノ坪古窯跡・北山端遺跡			台帳番号	201-845・846
所在地	津市一身田上津部田字ヲノ坪他				事業主体	三重県土地開発公社	
調査原因	三重県センター博物館（仮称）用地整備事業				費用負担	三重県土地開発公社	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	田中久生・前川明男		
調査期間	H 8 . 5 . 9 ～H 8 . 7 . 30		調査面積	2,000㎡	保護法関係 文書番号	8年4月17日付け 教文 第701号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>安濃川と志登茂川の間を東西に延びる丘陵の東端部近くに位置する。</p> <p>ヲノ坪古窯跡 南に面した斜面で、土坑群を検出した。遺構埋土、及び包含層から、底部に段を有する須恵質埴輪・須恵器・窯内壁片が多数出土した。焼夷弾筒は、昭和20年7月28日深夜の空襲で投下された、M74型と呼ばれる10ポンド焼夷弾である。</p> <p>北山端遺跡 溝数条と焼夷弾筒1個を検出した。</p>				<p>ヲノ坪古窯跡 土坑群</p> <p>北山端遺跡 溝</p>		<p>ヲノ坪古窯跡 古墳時代 須恵質埴輪、須恵器杯・蓋他、 窯壁片 昭和時代 焼夷弾筒</p> <p>北山端遺跡 焼夷弾筒</p>	
関連文献	『津の戦災』津平和のための戦争展実行委員会 1995						
No.	13	遺跡名	高茶屋大垣内遺跡			台帳番号	201-264
所在地	津市城山1丁目12-1				事業主体	県健康福祉部県立病院課	
調査原因	高茶屋病院整備事業				費用負担	県健康福祉部	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	田中久生・前川明男・石淵誠人		
調査期間	H 8 . 10 . 1 ～H 9 . 1 . 20		調査面積	1,600㎡	保護法関係 文書番号	8年7月29日付け 第 号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>雲出川左岸の高茶屋台地東端に位置する。遺跡は、台地上を東流する天神川と相川により東西を区切られた地域に広がっているものと考えられる。</p> <p>今回の調査は遺跡の南端部での調査である。</p>				<p>古墳時代 竪穴住居 5棟 土坑</p> <p>平安時代 掘立柱建物 2棟 溝、土坑、ピット</p>		<p>古墳時代 土師器—台付甕、高杯、碗 須恵器—杯身、蓋、甕 鉄鎌、管玉、白玉 平安時代 土師器、灰釉陶器</p>	
関連文献	『大垣内遺跡発掘調査報告』三重県教育委員会 1981						
No.	14	遺跡名	六大A遺跡（第3次）			台帳番号	201-693
所在地	津市大里窪田町字花村				事業主体	建設省中部地方建設局	
調査原因	一般国道23号中勢道路建設				費用負担	建設省	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	宮田勝功		
調査期間	H 8 . 8 . 19 ～H 8 . 10 . 4		調査面積	260㎡	保護法関係 文書番号	8年4月3日付け 教文 第175号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>遺跡は県道津・関線の北側、段丘斜面上に位置する。平成6年度・7年度に続いて今年度で第3次にあたる。今年度の調査区は、平成6年度のA地区の一部と平成7年度のB地区の続きである。</p> <p>主な遺構としては、奈良時代から平安時代の掘立柱建物3棟、柱列1列、溝1条、土坑2基などがある。</p> <p>遺物としては、奈良時代・平安時代の土師器・須恵器、鎌倉時代の山茶碗・山皿が主であるが、飛鳥時代の須恵器や室町時代の常滑産大甕なども出土している。</p>				<p>○奈良時代から平安時代 掘立柱建物 3棟 柱列 1列 溝 1条 土坑 2基</p> <p>○鎌倉時代 掘立柱建物 1棟</p> <p>○時期不明 掘立柱建物 1棟</p>		<p>○飛鳥時代 須恵器（杯蓋・杯身）</p> <p>○奈良時代 土師器（皿・杯・甕） 須恵器（杯蓋・甕）</p> <p>○鎌倉時代 山茶碗・山皿</p> <p>○室町時代 常滑産大甕</p>	
関連文献	『一般国道23号中勢道路埋蔵文化財発掘調査概報Ⅸ』三重県埋蔵文化財センター 1997						

No.	15	遺跡名	窪田大垣内遺跡（第2次）			台帳番号	201-813
所在地	津市大里窪田町字池ノ下 他				事業主体	県土木部道路建設課	
調査原因	平成8年度主要地方道津関線県単道路改良工事				費用負担	県土木部	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	木野本和之・坂倉一光・岡聡		
調査期間	H8. 5. 7 ～H8. 7. 22		調査面積	1,800㎡	保護法関係 文書番号	8年4月17日付け 教文 第705号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
津市北西部の志登茂川右岸の標高14～16mの丘陵裾に位置する。鎌倉時代～室町時代頃の住居跡・溝・井戸などを検出した。平成5年度の第1次調査で確認された集落の続きであると考えられる。				○鎌倉～室町時代 掘立柱建物 1棟 井戸 7基 溝 10条		土師器（鍋・羽釜・皿） 山茶碗・山皿 天目茶碗等の陶器類 瓦片	
関連文献							
No.	16	遺跡名	大里西沖遺跡・南所遺跡（立会）			台帳番号	201-808
所在地	津市大里陸合町・大里野田町				事業主体	県農林水産部農村復興課	
調査原因	平成8年度ふるさと農道整備事業（大里地区）				費用負担	県農林水産部	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	伊藤裕之・前川嘉宏		
調査期間	H8. 12. 9 ～H9. 2.		調査面積	120㎡	保護法関係 文書番号	8年12月20日付け 教文 第2616号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
排水路設置部分に限って調査を実施。溝2条を検出。土師器片については、器種不明であるが、奈良～平安時代のものと思われる。				溝2条		土師器片	
関連文献							
No.	17	遺跡名	替田遺跡（A・B・D地区）			台帳番号	201-759
所在地	津市南河路町替田				事業主体	建設省中部地方建設局	
調査原因	一般国道23号中勢道路建設				費用負担	建設省	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	池端清行・筒井昭仁・水橋公恵		
調査期間	H8. 5. 7 ～H9. 2.		調査面積	6,620㎡	保護法関係 文書番号	8年4月2日付 教文 第1294号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
津市の安濃川右岸に位置し、標高は約7mである。最も南のA地区では遺構・遺物とも、少なかった。B地区では、弥生～平安時代の遺構が多く検出された。特筆すべきものとして、弥生時代中期の焼失住居と墓と考えられる土壙群があげられる。D地区では、平安～鎌倉の掘立柱建物群や井戸などが検出された。井戸は2基が素掘り、1基が円形の木枠を伴うものでその井戸には埋没途中で大量のロクロ成形土師器皿が廃棄されていた。				○B地区 竪穴住居 掘立柱建物 溝 土坑 ○D地区 掘立柱建物 井戸 3基 溝 土坑		○B地区 弥生土器 土師器 須恵器 石釧 石帯 ○D地区 土師器皿 灰釉陶器 山茶碗	
関連文献							

No.	18	遺跡名	蔵田遺跡		台帳番号	201-575	
所在地	津市北河路町字蔵田他			事業主体	建設省中部地方建設局		
調査原因	一般国道23号中勢道路建設			費用負担	建設省		
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	米山浩之・山本義浩		
調査期間	H 8 . 5 . 7 ～H 8 . 8 . 2		調査面積	3,300㎡	保護法関係 文書番号	8年3月15日付け 第171号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>蔵田遺跡は、安濃川左岸の沖積地上にあり、現況は標高7～8mの水田である。遺跡は南北300mほどの微高地上に立地し、調査地は微高地の南縁辺部にあたる。</p> <p>弥生時代の掘立柱建物2棟が確認された。この時期の集落は、掘立柱建物のみで構成され、東側に広がるものと考えられる。</p> <p>古墳時代の遺構・遺物は少ないが、その中で注口土器（精製の小型丸底壺に注口部が付くもの）は、類例に乏しいものの、祭祀に関係した遺物の可能性が高い。</p> <p>飛鳥・奈良時代の遺構は掘立柱建物2棟、井戸1基、自然流路1条がある。遺構・遺物ともに調査区の西側に偏在し、この時期の集落の中心は西方に存在したと考えられる。</p> <p>平安時代末から鎌倉時代の遺構は掘立柱建物1棟、溝4条等があり、いずれも安濃川流域に施工された条里制の方向とはほぼ一致する。</p>				<p>掘立柱建物 5棟</p> <p>井戸 2基</p> <p>溝</p> <p>土坑</p>		<p>注口土器</p> <p>土師器</p> <p>須恵器</p> <p>山茶碗</p>	
関連文献	『三重産業振興センター埋蔵文化財調査概報』津市教育委員会 1993 『一般国道23号中勢道路埋蔵文化財調査概報Ⅶ』三重県埋蔵文化財センター 1995 『一般国道23号中勢道路埋蔵文化財調査概報Ⅷ』三重県埋蔵文化財センター 1996						
No.	19	遺跡名	位田遺跡		台帳番号	201-758	
所在地	津市北河路町出口・垣内			事業主体	建設省中部地方建設局		
調査原因	一般国道23号中勢道路			費用負担	建設省		
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	米山浩之・山本義浩		
調査期間	H 8 . 7 . 4 ～H 9 . 2 . 6		調査面積	4,600㎡	保護法関係 文書番号	年 月 日付け 第 号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>位田遺跡は安濃川左岸の自然堤防上に位置し現況は、標高8m程度の水田及び畑地である。</p> <p>調査区南端には、弥生時代後期から欠山期にあたる旧安濃川本流と思われる旧河道があり、その左岸の自然堤防上では、欠山期の東西方向に並ぶ方形周溝墓群を検出した。また、この旧河道埋没後の古墳時代初頭の竅穴住居の可能性のある跡も検出している。</p> <p>平安時代中期から後期では、棟方向の揃う大型掘立柱建物を中心とした掘立柱建物群が検出されている。また、多数の緑釉陶器片や宝珠硯などの出土から富豪層の屋敷地と考えられる。</p> <p>調査区南東部では、平安時代末期、いわゆる南東隅土坑を伴う掘立柱建物等が検出されており一般集落と考えられる。</p> <p>調査区の北部は遺構・遺物はほとんどなく、後背湿地と考えられる。</p>				<p>○弥生～古墳時代</p> <p>方形周溝墓 7基</p> <p>旧河道</p> <p>竅穴住居? 1棟</p> <p>○平安時代</p> <p>掘立柱建物 10棟</p> <p>区画溝</p> <p>井戸 1基</p> <p>道状遺構 2本</p> <p>土坑群</p> <p>○時期不明</p> <p>噴砂</p>		<p>弥生土器</p> <p>土師器</p> <p>灰釉陶器</p> <p>緑釉陶器</p> <p>(碗・耳皿・香炉手・付・瓶)</p> <p>宝珠硯</p> <p>漆附着土器</p> <p>碁石(白・水晶製13個、黒・黒色粘板岩製11個)</p>	
関連文献	『一般国道23号中勢道路埋蔵文化財発掘調査概報Ⅸ』三重県埋蔵文化財センター 1997						

No.	20	遺跡名	安濃津遺跡群（旧称 安濃津柳山遺跡）			台帳番号	新発見
所在地	津市柳山津興字松村1239番地				事業主体	教育委員会総務課	
調査原因	津実業高等学校総合学科棟・体育館建築工事				費用負担	教育委員会総務課	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	伊藤裕偉・船越重伸・高田恵理子・石淵誠人		
調査期間	H 8. 4. 17 ～ 8. 19		調査面積	3,700㎡	保護法関係 文書番号	8年4月15日付け 教文 第1205号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
津市海岸部に形成された砂堆上に立地。調査前の標高は、約2.7mで、遺構検出面では標高約1.5mである。 古墳時代から近世までの遺構・遺物を確認。中心は13～15世紀で、この時代の遺構密度は極めて高く、安濃津港町の一角と評価される。安濃津は、15世紀末の明応の大地震で壊滅的打撃を受けたとされており、調査した場所もちょうどその時代に断絶が認められるのも興味深い。				古墳前期 溝 鎌倉中期 溝・土坑 室町～戦国期 区画溝・掘立柱建物・土坑・大土坑・井戸など多数		古墳時代 土器類・銀環 鎌倉中期 土器類 山茶碗類 には、未使用製品が圧倒的に多い。 室町～戦国期 土器類・五輪塔・瓦など 興味深いものに、石製スタンブ4点、常滑産大甕の完形品、60点を越える銭貨、400点を越える加工円盤	
関連文献							
No.	21	遺跡名	天白遺跡（立会）			台帳番号	
所在地	一志郡嬉野町釜生田				事業主体	県土木部道路建設課	
調査原因	平成8年度主要地方道嬉野美杉線県単道路改良工事				費用負担	県土木部	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	伊藤裕之・杉谷政樹		
調査期間	H 8. 11. 25 ～ 11. 28		調査面積	120㎡	保護法関係 文書番号	8年4月26日付け 教文 第1079号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
天白遺跡の西端部となる。多数の柱穴と土坑5基を検出。柱穴からの遺物はなく、時期不明。				掘立柱建物1棟、ピット、土坑		古墳時代 杯身 平安時代 杯	
関連文献							
No.	22	遺跡名	天花寺城跡・小谷赤坂遺跡（第3次）			台帳番号	405-90
所在地	一志郡嬉野町大字天花寺				事業主体	県土木部	
調査原因	平成8年度（主）松阪一志線国補道路特殊改良工事				費用負担	県土木部	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	高田恵理子・木野本和之		
調査期間	H 8. 10. 28 ～ H 8. 12. 20		調査面積	700㎡	保護法関係 文書番号	8年10月28日付け 教文 第2194号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
中村川左岸の丘陵東端部に位置する。今回の調査地は、第1次調査地より約100m東であり、傾斜地となる。 天花寺城の堀切と考えられる溝を検出した。				○中世 溝 1条 土坑 1基		弥生土器 須恵器 (杯身・はそう・壺片) 土師器 (鍋) 陶器 (山茶碗・香炉) 五輪塔	
関連文献 『天花寺丘陵内遺跡群発掘調査報告』1996. 3 三重県埋蔵文化財センター							

No.	23	遺跡名	宮ノ腰遺跡			台帳番号	
所在地	一志郡三雲町上ノ庄字宮ノ腰				事業主体	土木部道路建設課	
調査原因	平成8年度主要地方道松阪久居線緊急道路整備事業				費用負担	土木部道路建設課	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	伊藤裕偉		
調査期間	H8. 10. 29 ～12. 20		調査面積	1,600㎡	保護法関係 文書番号	8年10月1日付け 教文 第2450号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>岩内川・堀坂川などの堀坂山系から流れ出る小河川によって形成された沖積地に位置し、調査前の標高は約5mである。</p> <p>古墳時代前期～後期にかけての自然河道、古墳時代中期の竪穴住居、および中世の集落跡などを確認。とくに古墳時代前・中期の河道埋土からは、多量の土師器類とともに木製農具類・建築部材などが出土している。農具類は、東海地方というよりは近畿地方との関連が強いものであり、注目できる。</p>				<p>古墳前期 河道2条</p> <p>古墳中期 河道2条 竪穴住居1棟</p> <p>古墳後期 河道4～5条</p> <p>平安末期 溝1条</p> <p>室町戦国期 井戸・溝・ ピットなど</p> <p>江戸明治 井戸</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・弥生前期 壺 ・古墳前期 古式土師器 木製農具類 ・古墳中期 土師器・須恵器 馬形木製品・建築部材 ・古墳後期 土師器・須恵器 ・平安末期 陶磁器・土師器 ・室町戦国 陶磁器・土師器 ・江戸明治 瓦・井戸枳土器 	
関連文献							
No.	24	遺跡名	前田町屋遺跡			台帳番号	407-44
所在地	一志郡三雲町星合字前田・町屋				事業主体	県土木部道路建設課	
調査原因	一般県道津三雲線国補橋梁整備工事				費用負担	県土木部	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	日栄智子・佐藤 公		
調査期間	H8. 5. 7 ～H8. 9. 2		調査面積	2,000㎡	保護法関係 文書番号	8年4月18日付け 教文 第1049号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>当遺跡は、雲出川右岸の自然堤防上に位置する。今回の調査では、古墳の周溝と思われる溝平安時代の流路、鎌倉～室町時代にかけての井戸、土坑等を検出した。古墳時代の溝からは、朱が付着した石杵や底部を穿孔した二重口縁壺等の特殊な遺物が出土した。中世以降には、建物としてはまとまらなかったが、井戸等の存在からも何らかの集落跡であったと考えられる。</p>				<ul style="list-style-type: none"> ○古墳時代 溝（古墳周溝） ○鎌倉時代～室町時代 溝 3条 井戸 4基 土坑 		<ul style="list-style-type: none"> ○古墳時代 石杵 土師器高杯・二重口縁壺・ 短頸壺・甕 ○鎌倉時代～室町時代 山茶碗 土師器皿・鍋 陶器碗・皿 磁器片 銭貨・鉄製品 	
関連文献							
No.	25	遺跡名	岩井戸遺跡・岩井戸3号墳（立会）			台帳番号	404-19・23
所在地	一志郡白山町二本木字岩井戸				事業主体	県土木部道路建設課	
調査原因	一般県道二本木御衣田線県単道路改良工事				費用負担	県土木部	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	田中久生		
調査期間	H8. 9. 5 ～H8. 9. 18		調査面積	200㎡	保護法関係 文書番号	8年6月6日付け 教文第1581号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>雲出川中流域左岸の河岸段丘上に位置する。遺跡の西端部を調査した。岩井戸3号墳の周溝と考えられる溝を検出したが、同時期の遺物は検出されなかった。墳丘盛土下から、溝1条を検出した。埋土中からは、縄文後期の小形鉢形土器及びサヌカイト片が出土した。</p>				<p>古墳周溝と考えられる溝1条</p> <p>溝1条</p>		<p>小形鉢形土器（縄文後期）</p>	
関連文献							

No.	26	遺跡名	松月院跡・伝本願寺跡（第2次）			台帳番号	406-26-38・41	
所在地	一志郡美杉村上多気字小津				事業主体	土木部道路建設課		
調査原因	平成8年度国道422号線県単道路改良工事				費用負担	土木部道路建設課		
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	伊藤裕偉			
調査期間	H8. 8. 29 ～10. 16		調査面積	740㎡	保護法関係 文書番号	8年7月29日付け 教文 第1724号		
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物		
<p>中世南北朝期に北畠氏が本拠を置いた多気(多気遺跡群)の最奥部に位置し、多気遺跡群の一角として把握される。</p> <p>松月院跡は、戦国末期に北畠氏が築いたと考えられる大規模な石垣を持つ寺院である。本堂脇の平地部を調査したが、当時の遺構・遺物はほとんど無かった。本願寺跡では、平成7年度に行った調査区の続きであり、石列が確認された。</p>				<p>松月院跡 近世～近代 土坑など</p> <p>本願寺跡 戦国期 石列など</p>		<p>・中世 土器類</p>		
関連文献	『多気遺跡群発掘調査報告』Ⅲ 県埋文センター 1996							
No.	27	遺跡名	奥ノ垣内遺跡			台帳番号	新発見	
所在地	松阪市榑田町奥ノ垣内・西垣内・出口				事業主体	県農林水産部農地整備課		
調査原因	平成8年度県営は場整備事業（榑田地区）				費用負担	県農林水産部・教育委員会		
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	日栄智子・佐藤 公			
調査期間	H8. 11. 14 ～H9. 1. 16		調査面積	1,600㎡	保護法関係 文書番号	8年11月20日付け 教文 第2403号		
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物		
<p>当遺跡は、榑田集落の西方の水田地帯に広がる。今回は、排水路および水田の掘削に伴ってT字状に調査を行った。飛鳥・奈良時代の自然地形による落ち込み状のものは深さ2mにも達し、底付近からは下駄、完形の土師器甕等が出土した。戦国～江戸時代の遺構は、コの字に曲がる溝、井戸、掘立柱建物等が検出され、戦国時代から近世を通じてここに何らかの集落が形成されていたことは間違いないだろう。</p>				<p>○飛鳥・奈良時代 土坑（自然の落ち込みか）</p> <p>○戦国時代～江戸時代 溝 15条 井戸 4基 土坑</p>		<p>○飛鳥・奈良時代 土師器高杯・甕・皿 須恵器杯身・杯蓋・甕・は そう・器台 木製品（下駄、碗）</p> <p>○戦国時代～江戸時代 土師器皿・鍋 陶器（瀬戸・美濃窯製品、 常滑窯製品等） 木製品（木札、杭等）</p>		
関連文献								
No.	28	遺跡名	かん志ゆう遺跡			台帳番号	新発見	
所在地	松阪市榑田町字かん志ゆう				事業主体	県農林水産部		
調査原因	平成8年度県営は場整備事業（榑田地区）				費用負担	県農林水産部・教育委員会※		
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	高田恵理子・前川嘉宏			
調査期間	H8. 10. 16 ～H8. 10		調査面積	210㎡	保護法関係 文書番号	8年11月20日付け 教文 第2403号		
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物		
<p>榑田川の左岸、榑田集落の東側に位置する。狭い調査面積ではあったが、掘立柱建物・溝・土坑等を検出。特に溝・土坑より比較的まとまって遺物が出土。12世紀末から13世紀にかけての集落跡の一部と考えられる。</p>				<p>○中世 掘立柱建物 溝 土坑</p>		<p>土師器 （皿・鍋） 陶器 （山茶 碗・山皿・壺）</p>		
関連文献								

No.	29	遺跡名	西垣内遺跡			台帳番号	新発見	
所在地	松阪市櫛田町字西垣内				事業主体	県農林水産部農地整備課		
調査原因	平成8年度県営ほ場整備事業(櫛田地区)				費用負担	県農林水産部		
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	木野本和之			
調査期間	H8. 10. 22 ～H8. 10. 25		調査面積	200㎡	保護法関係 文書番号	8年11月20日付け 教文 第2403号		
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物		
松阪市東部の櫛田川左岸の櫛田集落の北側に位置する。 鎌倉時代～近世初頭の住居跡・溝・土坑墓・石組み竈などを検出した。特に調査区東端を南北に走る大溝からは、室町時代の南伊勢系の土師器鍋・焙烙・茶釜などが大量に出土した。遺構の分布状況からみて、当時の集落北端部分に相当すると考えられる。				掘立柱建物 3棟 土坑 7基 土坑墓 1基 竈 1基 溝 3条		土師器(鍋・焙烙・茶釜・皿・十能・碗) 陶器類		
関連文献								
No.	30	遺跡名	坂内氏館跡(立会)			台帳番号	204-452	
所在地	松阪市阪内町御所				事業主体	県土木部砂防課		
調査原因	平成8年度国補急傾斜地崩壊対策事業(中出2)				費用負担	県土木部		
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	木野本和之			
調査期間	H8. 12. 12		調査面積	12㎡	保護法関係 文書番号	年 月 日付け 第 号		
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物		
坂内城が立地する山地の南西麓に位置する。かつて北畠氏の有力な家臣であった坂内氏の館があった場所と考えられる。今回、その北端部分に崩壊防止用コンクリート擁壁を設置するにあたって立会調査を実施した。 トレンチを2箇所設定し遺構の有無を確認したが、遺構・遺物共に確認することが出来なかった。				なし		なし		
関連文献 「三重の中世城館」								
No.	31	遺跡名	山添遺跡(第2次)			台帳番号	352	
所在地	松阪市山添町字真土				事業主体	県農林水産部農村振興課		
調査原因	平成8年度ふるさと農道整備事業				費用負担	県農林水産部		
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	坂倉一光			
調査期間	H8. 11. 18 ～H8. 12. 5		調査面積	300㎡	保護法関係 文書番号	8年11月11日付け 教文 第2282号		
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物		
松阪市南部の櫛田川下流左岸に位置する。 昭和53年度調査区の北側隣接地を調査した。溝6条、ピットを検出したが、建物跡としてまとまるものはない。				溝 6条 ピット		土師器 台付き壺・高杯 須恵器 甕・高杯 土師器(中世) 皿・鍋 陶器 甕(常滑産) 山茶碗		
関連文献 『山添遺跡発掘調査報告』三重県教育委員会 1979								

No.	32	遺跡名	仮) 生福寺西遺跡 (立会)			台帳番号	新規
所在地	松阪市西野町				費用負担	県土木部砂防課	
調査原因	国補通常砂防 (法浄寺川)				事業主体	県土木部砂防課	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	杉谷政樹		
調査期間	H 8. 8. 7・9		調査面積	100㎡	保護法関係 文書番号	8年7月29日付け 教文 第1754号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>阪内川支流の法浄寺川左岸の河岸段丘端部に立地する鎌倉・室町時代の遺跡である。工事施工時に立会調査を行った。1間以上×2間以上の掘立柱建物・配石を伴う土坑等を確認した。</p>				<ul style="list-style-type: none"> ・掘立柱建物 1棟 ・土坑 2基 ・溝 1条 ・ピット 		<ul style="list-style-type: none"> 土師器 (鍋・皿) 山茶碗・山皿 陶器 (甕) 墨書土器 	
関連文献							
No.	33	遺跡名	堀町遺跡 (第3次調査)			台帳番号	204-646
所在地	松阪市朝田町字堀町				事業主体	建設省中部地方建設局	
調査原因	一般国道42号松阪・多気バイパス建設				費用負担	建設省	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	小浜 学・兼古 慎		
調査期間	H 8. 7. 15 ～H 9. 1. 31		調査面積	4,700㎡	保護法関係 文書番号	8年4月9日付け 教文 第548号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>橿田川下流の沖積低地上に立地している。平成6年度の第1次調査区と、平成7年度の第2次調査区とのほぼ中間のところを調査した。</p> <p>弥生時代後期、平安・鎌倉・室町の各時代の遺構を多数検出し、中でも、弥生後期の環濠の一部とみられる遺構や、同時期の土坑から、多数の弥生土器が出土した。また、県内初である「袋状土製品」の出土もみられた。</p>				<ul style="list-style-type: none"> ○弥生時代後期 環濠 溝 3条 土坑 11基 ○平安時代 土坑 2基 溝 1条 井戸 2基 掘立柱建物 13棟 ○鎌倉時代 土坑 4基 井戸 2基 掘立柱建物 2棟 ○室町時代 土坑 3基 		<ul style="list-style-type: none"> ○弥生土器 (壺・甕、高坏など) ○土師器 ○灰釉陶器 ○緑釉陶器 ○山茶碗 ○木製品 (井戸枠、曲物、槽) など 	
関連文献 三重県埋蔵文化財センター 『一般国道42号松阪・多気バイパス埋蔵文化財発掘調査概報Ⅶ』 1997							
No.	34	遺跡名	中ノ川原遺跡			台帳番号	204-346
所在地	松阪市八重田町字中ノ川原				事業主体	県土木部河川課	
調査原因	二級河川堀坂川小規模河川改修工事				費用負担	県土木部河川課	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	越賀弘幸・筒井正明		
調査期間	H 8. 4. 22 ～H 8. 5. 24		調査面積	500㎡	保護法関係 文書番号	8年4月17日付け 教文 第700号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>松阪市西部の堀坂川中流域右岸に位置し、周囲の田園地帯より一段高い標高20m程度で南の現集落へと延びる遺跡の一部である。奈良時代～平安時代頃の住居跡と、奈良時代頃の平行に走る2条の溝などを検出した。今回の調査区の西約700mに位置する伊勢寺に向かう道とその側溝であった可能性もある。</p>				<ul style="list-style-type: none"> ○奈良～平安時代 掘立柱建物 3棟 溝 2条 ○中世 溝 2条 		<ul style="list-style-type: none"> 縄文土器 (中期?) 弥生土器 土師器 (杯・皿・甕・壺) 須恵器 (杯蓋・壺) 灰釉陶器 (碗) 	
関連文献							

No.	35	遺跡名	中の坊遺跡		台帳番号	204-346	
所在地	松阪市目田町字中の坊				事業主体	県農林水産部農地整備課	
調査原因	平成8年度県営ほ場整備事業（漕代地区）				費用負担	県農林水産部	
調査機関	三重県埋蔵文化財文化財センター			担当者	伊藤裕之・石淵誠人・林 義巳		
調査期間	H8. 8. 19 ～H8. 11. 2		調査面積	1,300㎡	保護法関係 文書番号	8年7月13日付け 教文 第1584号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>櫛田川下流右岸の沖積地の自然堤防上に位置する。事業により、5つの調査区を設定した。A地区からは、中世を中心とする土坑、柱穴、溝等が検出された。区画溝と考えられる大溝からは、多量の土師器鍋・皿が出土した。古墳時代の遺構としては、灰・焼土を伴う土坑から、ほぼ完形の小型丸底壺が9個出土した。B地区からは、中世の土壘、土坑、柱穴、溝等、古墳時代の土坑が検出された。並ぶようにして、50前後の高杯と壺、台付甕、小型丸底壺等が出土しており、土坑中央部では焼土も認められた。C地区は、中世墓と考えられる土坑が検出された。また、下層からは縄文土器が出土した。D・E地区からは、古墳時代の大溝とみられる落ち込みがあり、台付甕・高杯が土坑より出土した。</p>				<p>A地区 ○古墳時代 土坑（焼土・灰を伴う）、ピット ○奈良・平安時代 土坑 ○中世 土坑、溝、柱穴 B地区 ○古墳時代 竪穴住居 ○中世 土壘、土坑、溝、井戸、柱穴 C地区 ○中世 墓、土坑、溝、柱穴 D・E地区 ○古墳時代 土坑 ○奈良時代 溝、土坑</p>		<p>A地区 ○古墳時代 土師器 高杯、小型丸底壺、台付壺 須恵器 杯蓋、甕 ○奈良・平安時代 長胴甕、碗 ○中世 土師器鍋・皿、山茶碗、陶器壺、青磁、瓦質土器（火鉢） B地区 ○古墳時代 土師器 高杯、丸底壺、小型丸底壺、甕、台付甕、銅鏡 ○奈良・平安時代 灰釉陶器、土師器皿、製塩土器、軒平瓦 ○中世 土師器鍋・皿、羽釜、山茶碗、青磁、天目茶碗、瓦質土器（火鉢）、刀 C地区 ○縄文時代 縄文土器片、石器（フリク） ○中世 土師器鍋・皿、陶器壺 貨幣 D・E地区 ○古墳時代 土師器 高杯、台付甕、小型丸底壺 ○奈良・平安時代 碗、ロクロ土師器（碗） ○中世 土師器皿、山茶碗</p>	
関連文献	『古川遺跡』 三重県埋蔵文化財センター 1996. 3						

No.	36	遺跡名	曾祢崎古墳群・曾祢崎遺跡（第2次）			台帳番号	442-525 ～528
所在地	多気郡明和町上野字曾祢崎			事業主体	県農林水産部農地整備課		
調査原因	平成8年度県営は場整備事業（明星地区）			費用負担	県教育委員会・県農林水産部		
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	西村美幸・筒井正明・林 義巳		
調査期間	H8. 5. 7 ～8. 22		調査面積	1,200㎡	保護法関係 文書番号	8年4月5日付け 教文 第710号	
遺跡の概要							
<p>近鉄明星駅の北側、明野台地台地の中央部付近に立地する。調査の結果、6世紀末～7世紀初頭頃の2基の古墳（1・3号墳）と、7世紀代の竪穴住居1棟・掘立柱建物2棟、弥生時代後期の方形周溝墓2基および旧石器時代のナイフ形石器や剝片が確認された。</p> <p>2基の古墳は方形周溝墓と重複しており、当時残っていた方形周溝墓の墳丘上に築造された可能性がある。2基の古墳の時期差はほとんどなく、相前後して築かれたものであろう。1号墳周溝の東側から土師器（甕を中心として甗なども含む）が多量に出土した。これは、1号墳東方に竪穴住居・掘立柱建物があることから、これらの遺物が周溝内に廃棄されたものと考えられる。</p>							
古墳名	墳形	規模	主体部	出土遺物	時期	備考	
1号墳	円墳	径 13m 高 0.7m	木棺直葬	須恵器（高杯・蓋） 鉄鏃・刀子	6世紀末～7世紀初頭	3号墳より若干古いかな？	
3号墳	不明	高 1.2m	<第一主体部> 木棺直葬	須恵器（蓋杯） 鉄刀・鉄鏃	6世紀末～7世紀初頭		
			<第二主体部？> 不明	須恵器（碗・高杯・壺・提瓶）	6世紀末～7世紀初頭	墓坑不明	
			<玉類集中地点>	土玉・ガラス玉 コハク製薬玉	6世紀末～7世紀初頭		
関連文献							
No.	37	遺跡名	角垣内遺跡（立会）			台帳番号	442-428
所在地	多気郡明和町菘村字角垣内			事業主体	県農林水産部農村振興課		
調査原因	平成8年度県営は場整備事業（明星地区）			費用負担	県教育委員会・県農林水産部		
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	前川嘉宏		
調査期間	H8. 7. 18		調査面積	30㎡	保護法関係 文書番号	8年6月14日付け 教文 第1794号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>菘村集落と県道鳥羽松阪線との間に位置し、標高は15m前後である。約2,700㎡の遺跡範囲の全域が事業範囲に含まれるが、今回の調査範囲は排水路工事で破壊される部分のみである。</p> <p>調査の結果、12世紀中葉の集落跡の一部が検出された。</p>				○平安時代末葉 素掘り井戸 1基 溝 4条		土師器（皿・鍋） 山茶碗	
関連文献							

No.	38	遺跡名	相可出張遺跡（立会）		台帳番号	441-428	
所在地	多気郡多気町相可字出張			事業主体	県教育委員会総務課		
調査原因	相可高等学校部室建築工事			費用負担	県教育委員会		
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	前川嘉宏・日栄智子		
調査期間	H8. 11. 5		調査面積	45㎡	保護法関係 文書番号	8年11月1日付け 教文 第2505号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>当遺跡は、県立相可高等学校の敷地内にあり平成7年9月に実施した発掘調査の南側に位置する。今回の調査では、遺物は、12世紀頃の土師器や山茶碗が、コンテナ1箱程出土しており、検出した遺構も概ねその時期と思われる。</p> <p>また、調査区の北西端で検出した落ち込み状にの土坑は、平成7年度の発掘調査の際に確認した大溝の一部分であると考えられる。</p>				<p>溝 2条</p> <p>土坑 2基</p> <p>ピット</p>		<p>土師器片</p> <p>陶器片</p> <p>山茶碗、山皿</p> <p>縄文土器（深鉢）</p>	
関連文献							
No.	39	遺跡名	新徳寺遺跡（第2次調査）		台帳番号	441-145	
所在地	多気郡多気町相可字新徳寺			事業主体	建設省中部地方建設局		
調査原因	一般国道42号松阪・多気バイパス建設			費用負担	建設省中部地方建設局		
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	松本美先・小山憲一		
調査期間	H8. 4. 11～6. 27		調査面積	500㎡ 下層114㎡	保護法関係 文書番号		
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>櫛田川右岸の自然堤防上に所在する遺跡である。</p> <p>平成6年度の第1次調査では、縄文時代後期を中心とする遺跡であることがわかった。</p> <p>今年度の調査の結果、縄文時代後期の竪穴住居・土坑・埋設土器・土壙墓・溝などを検出。</p> <p>土坑では、埋土に焼土を含むものが何基か確認された。</p>				<p>○縄文時代後期</p> <p>竪穴住居（1棟）</p> <p>土坑（14基）</p> <p>埋設土器（1基）</p> <p>土壙墓（1基）</p> <p>○室町時代</p> <p>土坑（1基）</p> <p>○溝（1条）</p> <p>時期不明</p>		<p>○縄文時代後期</p> <p>・土器</p> <p>深鉢、浅鉢、注口土器</p> <p>（福田KII、広瀬土坑40段階北白川上層、堀之内）</p> <p>・土製品</p> <p>耳栓</p> <p>・石器</p> <p>石鎌、石錘、スクレイパー、石皿、すり石、磨製石斧</p> <p>○室町時代</p> <p>土師器片、陶器片</p>	
<p>関連文献 『新徳寺遺跡発掘調査報告』県埋文センター 1997</p> <p>『一般国道42号松阪・多気バイパス埋蔵文化財発掘調査概報Ⅶ』県埋文センター 1997</p>							

No.	40	遺跡名	榎ノ世古遺跡（上ノ垣外遺跡第3次）			台帳番号	
所在地	多気郡多気町大字相可字榎ノ世古			事業主体	建設省中部地方建設局		
調査原因	一般国道42号松阪・多気バイパス建設			費用負担	建設省中部地方建設局		
調査機関	三重県埋蔵文化財センター		担当者	松本美先・小山憲一			
調査期間	H8. 4. 11～5. 10		調査面積	50㎡	保護法関係 文書番号	8年4月4日 教文 第647号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
榎ノ世古遺跡は、櫛田川支流の相可川左岸に立地している。調査の結果、平安時代の掘立柱建物、室町時代の土坑、溝などが確認された。掘立柱建物では、2基の柱穴から根石を検出した。				○平安時代 掘立柱建物 ○室町時代 土坑（4基） 溝（1条）		○古墳時代 台付甕・高杯・壺 ○室町時代 土師器の皿・鍋	
関連文献	『新徳寺遺跡発掘調査報告』県埋文センター 1997 『一般国道42号松阪・多気バイパス埋蔵文化財発掘調査概報Ⅶ』県埋文センター 1997						
No.	41	遺跡名	門阪遺跡			台帳番号	未登録
所在地	多気郡多気町牧字門阪			事業主体	県農林水産部農芸畜産課		
調査原因	畜産経営環境整備事業（多気勢和地区・中牧団地）			費用負担	県農林水産部・教育委員会※		
調査機関	三重県埋蔵文化財センター		担当者	越賀弘幸・伊藤裕之			
調査期間	H8. 6. 24 ～H8. 7. 30		調査面積	800㎡	保護法関係 文書番号	8年5月13日付け 教文 第1178号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
櫛田川中流域右岸の河岸段丘上に位置する。丘陵突端の西側に位置するためか、中世の遺構・遺物が多く、周辺に存在するような古代のものはあまり認められなかった。根石を持つ掘立柱建物や人頭大の礫を四周に並べた土坑が見つかった。銅銭も数点出土している。				○中世以前 土坑 2基 ○中世 掘立柱建物 1棟 柱列 2列 石組み土坑 7基 溝 5条		縄文土器 奈良～平安時代 土師器（甕・杯） 鎌倉～室町時代 土師器（皿・鍋・碗） 陶器（山茶碗・甕） 銅銭『紹聖元寶』（北宋）	
関連文献							
No.	42	遺跡名	内垣外遺跡（旧称 宇治垣内遺跡）			台帳番号	
所在地	多気郡多気町相鹿瀬字内垣外			事業主体	県土木部道路建設課		
調査原因	一般県道相鹿瀬大台線地方特定道路整備事業			費用負担	県土木部		
調査機関	三重県埋蔵文化財センター		担当者	西出 孝・山田康博・前川明男			
調査期間	H8. 11. 26 ～H9. 3. 5		調査面積	上層1000㎡ 下層150㎡	保護法関係 文書番号	8年12月16日付け 教文 第2579号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
宮川中流域左岸の河岸段丘に位置し、遺跡のすぐ東には相鹿瀬廃寺が、また2kmほど上流には旧石器が多く出土した出張遺跡がある。上層では、室町時代から江戸時代初頭の集落跡が、下層では、旧石器と考えられるフレイク（約500点）と、砂岩質の礫群が出土した。				縄文時代後期 陥し穴 1基 室町～江戸時代初頭 掘立柱建物 6棟 井戸 4基 墓 4基 溝 3条 土坑		旧石器？ フレイク、砂岩礫 縄文時代後期 縄文土器片 奈良～平安時代初頭 須恵器、瓦 室町～江戸時代初頭 土師器（皿、鍋、甕） 瓦器、陶器、瓦 宋銭、明銭、刀子、木製品	
関連文献							

No.	43	遺跡名	森ノ上遺跡		台帳番号	443-85	
所在地	多気郡大台町柳原字森ノ上			事業主体	県土木部道路建設課		
調査原因	平成8年度一般県道相鹿瀬大台線県単道路改良工事			費用負担	県土木部		
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	松葉和也・山田康博		
調査期間	H8. 5. 7 ～H8. 6. 10		調査面積	400㎡	保護法関係 文書番号	8年4月17日付け 教文 第706号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
宮川中流域左岸にあり、小さな谷に挟まれた台地上の集落跡である。 室町時代を中心とした遺物と4間×1間以上の掘立柱建物を確認した。なお、柳原観音の境内でチャート剥片を採集しており、先史時代の遺跡である可能性もある。				○中世 掘立柱建物 1棟 土坑(墓?)		土師器(皿・鍋) 陶器(甕・山茶碗) 磁器	
関連文献							
No.	44	遺跡名	湯後遺跡(旧称:小滝遺跡)		台帳番号	445-17	
所在地	多気郡宮川村小滝字湯後			事業主体	県土木部道路維持課		
調査原因	平成8年度国道422号線特定交通安全施設等整備事業(1種事業)			費用負担	県土木部		
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	木野本和之・松葉和也		
調査期間	H8. 10. 28 ～H8. 11. 22		調査面積	350㎡	保護法関係 文書番号	8年10月29日付け 教文 第2215号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
宮川村中央部の宮川左岸の河岸段丘上に立地する遺跡である。 調査区南端の風倒木痕からは、縄文時代前期最終末の大歳山式に並行する土器の破片や石鏃などの遺物が出土した。また、鎌倉時代の住居跡・土坑などを検出した。遺構の状況からみて当時の集落の南端に相当するものと思われる。				○鎌倉時代 掘立柱建物 1棟 土坑 3基		縄文土器片(前期最終末) 石器(石鏃・石錘・凹石・敲石) 弥生土器片(中期) 土師器(鍋・皿) 山皿	
関連文献 『宮川村史』宮川村							
No.	45	遺跡名	粥見井尻・粥見小林遺跡		台帳番号		
所在地	飯南郡飯南町粥見字井尻、小林			事業主体	県土木部道路建設課		
調査原因	国道368号国補道路特殊改良第1種工事			費用負担	県土木部道路建設課		
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	中川 明・西出 孝・山田康博・前川明男		
調査期間	H8. 5. 7～ H8. 11.		調査面積	2,550㎡	保護法関係 文書番号	H8年4月3日付け 教文 第848号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
(井尻遺跡) 榑田川左岸の段丘緩斜面上に広がる縄文時代草創期を中心とした集落跡である。標高107m地点に堅穴住居が4棟近接して確認された。 遺構内から、多量の剥片、石鏃が見つかり、特に住居跡1棟からは掌大の柔和な土偶がほぼ完形で出土した。また、堅穴住居より下層からは大型の剥片も多数確認されていた。				(井尻遺跡) ○縄文時代草創期 堅穴住居 4棟 ○縄文時代 土坑16基 ○掘立柱建物 1棟		(井尻遺跡) ○縄文土器 無文、隆線文、爪形文、 押圧縄文、条痕文 ○石器 尖頭器、ピエス、 無茎石鏃、スクレーパー、 石錐、フレイク、母岩等 ○土師器 鍋 ○陶磁器 天目茶碗	
(小林遺跡) 井尻遺跡に隣接し、榑田川左岸の段丘平坦面に広がる、15世紀を主な時代とする遺跡である。隣接する茶畑につながると思われる、重複した掘立柱建物4棟と、溝3条が検出された。 遺構内からは、土師器片や、甕などの陶器が出土した。				(小林遺跡) ○掘立柱建物 4棟 ○溝 3条		(小林遺跡) ○土師器 鍋、小皿 ○陶磁器 甕、摺鉢 天目茶碗	
関連文献							

No.	46	遺跡名	高ノ御前遺跡			台帳番号	203-113
所在地	伊勢市有滝町字高御前			事業主体	県農林水産部農地整備課		
調査原因	平成8年度県営ほ場整備事業（伊勢北部地区）			費用負担	県農林水産部・教育委員会		
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	日栄智子		
調査期間	H8. 10. 7 ～H8. 11. 14		調査面積	400㎡	保護法関係 文書番号	8年10月7日付け 教文 第1982号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>当遺跡は、有滝町の集落の西南端、外城田川左岸に位置する。今回は、ほ場整備に伴って400㎡の調査を行い、水路部分をA地区、工事で削平される面部分をB地区とした。A地区は細長い調査区であったため遺構の全体像は判然としなかったがB地区は井戸の他竪穴住居と思われるものが検出された。両地区とも狭いながら6～7世紀にかけての土師器を中心にコンテナに約100箱という大量の遺物が出土し、当遺跡の特殊性が伺われる。</p>				<p>○A地区 溝 土坑 ○B地区 溝 1条 井戸 1基 土坑 6基</p>		<p>土師器皿 高杯 甕 甌 須恵器杯身 杯蓋 はそう 甕</p>	
関連文献							
No.	47	遺跡名	里中遺跡			台帳番号	468-5
所在地	度会郡御園村長屋			事業主体	県農林水産部農村振興課		
調査原因	平成8年度ふるさと農道整備事業（御園地区）			費用負担	県農林水産部		
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	越賀弘幸・林 義己		
調査期間	H8. 9. 11 ～H8. 10. 21		調査面積	550㎡	保護法関係 文書番号	8年8月16日付け 教文 第1804号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>宮川の下流域右岸に位置する。近世の遺物が多量に出土した中に混じって、中世の遺物が出土した。土坑のなかには上層に砂が堆積するものがあり、流路の可能性もある。また、調査区の南西端の土坑からは平安時代後期頃の土器が出土した。掘立柱建物を構成すると思われる柱穴からは根石が確認された。</p>				<p>溝 2条 土坑 3基 掘立柱建物 1棟 柱穴</p>		<p>(中世) ロクロ土師、 灰釉陶器、 土師器、皿・鍋 陶器、山茶碗 磁器、青磁 瓦（中世か？） 宋銭 (近世) 土師器、皿・ホウロク 陶器、甕・スリ鉢 磁器、染付碗</p>	
関連文献							

No.	48	遺跡名	山崎遺跡（立会）			台帳番号	新発見
所在地	度会郡度会町下久具字山崎			事業主体	県土木部道路建設課		
調査原因	県営は場整備事業（羽根地区）			費用負担	県土木部		
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	松葉和也		
調査期間	H 8 . 9 . 9 ～H 8 . 11 . 26		調査面積	600㎡	保護法関係 文書番号	8年8月5日付け 教文 第2153号	
遺跡の概要			主な遺構		主な遺物		
<p>宮川中流域右岸にあり、一之瀬川が合流し、小さく張り出した段丘上に位置する。</p> <p>上層の調査では縄文初頭の土坑や中世の掘立柱建物を確認した。また、上述の遺構を検出した面より下で旧石器～縄文初頭と考えられる石器群が出土した。石器集中部があり、石器製作跡と考えられる。</p>			<p>○縄文時代中期 土坑</p> <p>○中世 掘立柱建物</p>		<p>○旧石器～縄文時代 石器類</p> <p>○縄文時代中世 土器・石器</p> <p>○中世 土師器（鍋・皿） 陶器・磁器</p>		
関連文							
No.	49	遺跡名	登り遺跡（旧称下り遺跡）			台帳番号	新発見
所在地	度会郡度会町火打石字登り			事業主体	県農林水産部農村振興課		
調査原因	平成8年度中山間地域総合整備事業（小川郷上地区）			費用負担	県教育委員会・県農林水産部		
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	西村美幸・林 義巳		
調査期間	H 8 . 12 . 3 ～12 . 26		調査面積	600㎡	保護法関係 文書番号	8年12月10日付け 教文 第2535号	
遺跡の概要			主な遺構		主な遺物		
<p>登り遺跡は一ノ瀬川と支流の彦山川の合流点付近の緩斜面に位置する。</p> <p>調査の結果、16世紀末ごろの掘立柱建物1棟、井戸1基、土坑数基が確認された。土坑のうち1基には、人頭大の石が方形に入れられている。</p>			<p>○近世初頭</p> <p>・掘立柱建物 1棟</p> <p>・井戸 1基</p> <p>・土坑 数基</p> <p>○近代～現代</p> <p>・溝 1条</p>		<p>土師器（鍋・皿）</p> <p>陶器（碗・皿・甕）</p> <p>石製硯</p>		
関連文献							
No.	50	遺跡名	野田遺跡・研山遺跡			台帳番号	未登録
所在地	度会郡度会町長原字野田・研山			事業主体	県農林水産部農地整備課		
調査原因	県営は場整備事業（中川地区）			費用負担	県農林水産部・教育委員会※		
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	越賀弘幸・林 義巳		
調査期間	H 8 . 10 . 14 ～H 8 . 11 . 26		調査面積	1,000㎡	保護法関係 文書番号	8年9月13日付け 教文 第2489号	
遺跡の概要			主な遺構		主な遺物		
<p>宮川中流域左岸の河岸段丘上に位置する。周囲には長原城（中世）があり、その関連の集落跡と考えられる。</p> <p>野田遺跡では、鎌倉時代初め頃の溝2条と中世末の掘立柱建物6棟、土坑多数（火を受けた礫が出土したもの数基）を検出した。</p> <p>研山遺跡では、鎌倉時代初め頃の土坑1基と中世末の柱列4列（うち2条は掘立柱建物の可能性がある。）、土坑多数を検出した。</p> <p>出土遺物としては、平安末～鎌倉初め頃の山茶碗やロクロ土師器碗・灰釉陶器数点以外はほとんどが中世後～近世初めのものである。</p>			<p>野田遺跡</p> <p>○平安末～鎌倉初め多数 溝 2条</p> <p>○中世末～近世初め 掘立柱建物</p> <p>土坑 多数</p> <p>研山遺跡</p> <p>○平安末～鎌倉初め 土坑 1基</p> <p>○中世末～近世初め 柱列 4列 土坑 多数</p>		<p>中世以前</p> <p>灰釉陶器（碗）</p> <p>ロクロ土師器（碗）</p> <p>中世</p> <p>陶器（山茶 碗・皿・甕）</p> <p>土師器（甕・皿・鍋）</p> <p>青磁碗</p> <p>近世以降</p> <p>土師器（鍋・皿）</p> <p>陶器（甕）</p> <p>磁器（染付碗）</p>		
関連文献							

No.	51	遺跡名	東海道遺跡（第2次）			台帳番号	524-123
所在地	志摩郡阿児町国府字下ノ東・阿し原				事業主体	県土木部道路建設課	
調査原因	平成8年度主要地方道磯部大王線県単道路改良工事				費用負担	県土木部	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	佐藤 公・西村美幸		
調査期間	H8. 9. 17 ～H8. 12. 4		調査面積	1,800㎡	保護法関係 文書番号	8年8月16日付け 教文 第1804号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
太平洋に面する国府白浜海岸より500m程の所の尾根の裾部にあり、弓状に広がる平野部の最も奥にあたる。 建物跡は検出されなかったが、14～16世紀頃の土器を比較的多数含む溝などにより、近接地に集落が存在し、これに関連するものと考えられる。				○中世 溝・土坑		○土師器（鍋・羽釜・皿） ○陶器・磁器 ○土錘 ○銭貨（宋銭）	
関連文献	『東海道遺跡発掘調査報告』三重県教育委員会 1989. 3						
No.	52	遺跡名	鷲ヶ尾古墳群（旧称地蔵川古墳群）			台帳番号	206-1214、 1215、新発見
所在地	上野市摺見字鷲ヶ尾				事業主体	県農林水産部農村振興課	
調査原因	平成8年度広域営農団地農道整備事業（伊賀3期地区）				費用負担	県農林水産部	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	筒井正明・坂倉一光		
調査期間	H8. 7. 22 ～10. 31		調査面積	1,000㎡	保護法関係 文書番号	8年3月19日付け 教理 第198号	
遺跡の概要							
上野市南東部の比自岐小盆地の南東隅にある丘陵上に位置する。1・2号墳の調査を実施し、また、調査区外南方に3号墳を確認した。							
古墳名	墳形	規模（m）	主体部	出土遺物	時期	備考	
1号墳	円墳	径 14.0 高 1.8	木棺直葬か？	土師器短頸壺 須恵器短頸壺・杯身杯蓋	6世紀末		
2号墳	円墳	径 14.0 高 2.0	横穴式石室	須恵器杯身杯蓋 金環・鉄刀・鉄鏃	6世紀末		
3号墳	円墳	径 10.0 高 2.0	横穴式石室か？			調査区外のため現況のみ	
関連文献							
No.	53	遺跡名	城之越遺跡			台帳番号	206-1130
所在地	上野市比土字城之越				事業主体	県農林水産部農村振興課	
調査原因	平成8年度農免農道事業（上野南部2期地区）				費用負担	県農林水産部	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	木野本和之・高田恵理子		
調査期間	H8. 8. 11 ～H8. 10. 11		調査面積	600㎡	保護法関係 文書番号	8年7月18日付け 教文 第1625号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
平成3年度に、古墳時代前期の貼り石をもつ大溝をはじめ堅穴住居・掘立柱建物などが確認された城之越遺跡の東端の丘陵裾にあたる。 古墳時代中期のビット・土坑を検出した。今回の調査の結果、城之越遺跡の東限は丘陵裾間際まで広がっていることが確認された。				○古墳時代 ビット 土坑 1基		土師器（高杯・甕・壺） 須恵器（坏身・坏蓋・壺）	
関連文献	『城之越遺跡』 三重県埋蔵文化財センター 1992						

No.	54	遺跡名	水衛遺跡 (旧称 伊賀高校遺跡)			台帳番号	481-207
所在地	阿山郡伊賀町川東字水衛				事業主体	県教育委員会総務課	
調査原因	伊賀高等学校体育館用地造成工事				費用負担	県教育委員会総務課	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	船越重伸		
調査期間	H 8 . 7 . 15 ～12. 27		調査面積	2,200㎡	保護法関係 文書番号	8年6月14日付け 教文 第1431号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>柘植川左岸の段丘上に立地する。試掘調査で古墳時代の溝を検出するとともに、一木梯子が出土した。</p> <p>本調査では、古墳時代頃と思われる溝や土坑を検出した。溝からは、板材や梯子を転用した導水施設もしくは水路と思われる施設がみつかった。</p>				<p>○古墳時代 導水施設 土坑 1基 溝 3条</p>		<p>土師器 須恵器 瓦器 陶磁器 銅銭 木製品 (梯子・木樋など)</p>	
関連文献							
No.	55	遺跡名	間所遺跡			台帳番号	501-240
所在地	名賀郡青山町羽根字間所				事業主体	県農林水産部農地整備課	
調査原因	県営は場整備事業 (羽根地区)				費用負担	県農林水産部農地整備課	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	筒井正明		
調査期間	H 8 . 12 . 3 ～H 8 . 12 . 27		調査面積	200㎡	保護法関係 文書番号	8年11月15日付け 教文 第2362号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>木津川と前深瀬川の合流地点から東方約600mの、前深瀬川南岸の丘陵裾部位置し、間処北古墳群が分布する尾根筋の裾部にあたるが、今回の調査区からは遺構は確認できず、遺跡の縁辺部と考えられる。</p>						<p>○中世 瓦器片等</p>	
関連文献							
No.	56	遺跡名	西山遺跡			台帳番号	未登録
所在地	名賀郡青山町羽根字西山				事業主体	県農林水産部農地整備課	
調査原因	県営は場整備事業 (羽根地区)				費用負担	県農林水産部農地整備課	
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	筒井正明		
調査期間	H 8 . 11 . 5 ～H 8 . 12 . 9		調査面積	740㎡	保護法関係 文書番号	8年11月15日付け 教文 第2362号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>木津川と前深瀬川の合流地点から西方約300mの、木津川南岸に広がる水田地帯に位置し、東方には参宮 (初瀬) 街道が走る。調査区内からは12～13世紀を中心とする掘建柱建物を検出した。</p>				<p>○中世 掘建柱建物 7棟 土坑 2基 ○他 自然流路</p>		<p>○中世 ロクロ土師器 (杯・皿) 瓦器碗等</p>	
関連文献							

No.	57	遺跡名	中出向遺跡		台帳番号	501-242	
所在地	名賀郡青山町羽根字中出向			事業主体	県農林水産部農地整備課		
調査原因	県営ほ場整備事業（羽根地区）			費用負担	県農林水産部農地整備課		
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	筒井正明		
調査期間	H 8 . 12 . 3 ～ H 8 . 12 . 27		調査面積	200㎡	保護法関係 文書番号	8年11月15日付け 教文 第2362号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>木津川と前深瀬川の合流地点から東方約400mの、前深瀬川南岸の丘陵裾部位置し、付近には多数の古墳が分布する。 調査区内からは古墳および中世の遺構を検出した。</p>				<p>○古墳時代 古墳周溝跡 ○中世 掘建柱建物 1棟 柵 2列 溝 1条</p>		<p>○中世 ロクロ土師器（杯・皿） 瓦器碗等</p>	
関連文献							

県（斎宮歴史博物館）担当分本調査

No.	58-1	遺跡名	史跡斎宮跡 第113-1、2次調査（6ACI）			台帳番号	442-210
所在地	多気郡明和町斎宮宇広頭3359、他			調査主体	三重県教育委員会		
調査原因	計画調査			費用負担	国・県		
調査機関	斎宮歴史博物館			担当者	野原宏司		
調査期間	H. 8. 5. 7 ～ H. 8. 10. 31		調査面積	902㎡	保護法関係 文書番号	8年5月7日付け 委保 第4の354号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>方格地割西辺に相当する南北方向の区画溝を確認することを目的として、斎宮駅北側の広頭地区で調査を実施した。</p> <p>調査の結果、区画道路の両側溝と考える南北溝2条を検出し、溝幅0.8～1.2m、深さ10～30cm、断面逆台形を呈する。道幅は1.5～2.0m、道筋は現道（町道斎宮北12号線）の蛇行した状況とほぼ合致し、平安時代後期～鎌倉時代初期に存続したものと考えられる。</p> <p>直径約4mの井戸からは平安時代後II期の灰釉陶器・山茶碗・土師器碗等の遺物が一括して出土した。</p>				<p>○平安時代後I期 溝 1条</p> <p>○平安時代後II期 井戸 1基</p> <p>○平安時代後期～平安時代末期 掘立柱建物 10棟</p> <p>○平安時代後期～鎌倉時代初期 溝（区画溝） 2条</p>		<p>土師器杯・碗・甕 須恵器甕 緑釉陶器碗・皿 灰釉陶器碗 山茶碗 円面硯 製塩土器 土鍾</p>	
関連文献	斎宮跡第113次発掘調査現地説明会資料						
No.	58-2	遺跡名	史跡斎宮跡 第114次調査（6AEQ-E・F）			台帳番号	442-210
所在地	多気郡明和町斎宮柳原2779-2番地			調査主体	三重県教育委員会		
調査原因	計画調査			費用負担	国・県		
調査機関	斎宮歴史博物館			担当者	上村安生・野原宏司		
調査期間	H. 8. 10. 25 ～ H. 9. 2. 28		調査面積	1,000㎡	保護法関係 文書番号	8年9月24日付け 委保 第4の851号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>史跡東部には奈良時代後期から平安時代初期にかけて造営された方格地割がみられる。今回の調査はそのほぼ中央にあたる竹神社の北側で行った。これまでの調査の成果から東西107m×南北95mの柵列が現在の竹神社を囲むように巡っていることが推定されている。今回の調査により、その東西方向の柵列の全容が明らかとなったが、この柵列には門のような施設は無い事、9世紀の中頃には無くなってしまつ事等が確認された。</p>				<p>柵列 1条 掘立柱建物 27棟 土坑 38基 溝 6条</p> <p>○遺構の時期は平安時代初期から鎌倉時代初めまで各時期にわたる。</p>		<p>土師器（杯・皿・碗） 須恵器（杯身・杯蓋） 仮名墨書土器 朱付着須恵器 鳥の絵の墨書土器 サイコロ型土製品2点 瓦器碗 鉄製品（釘） 今回は緑釉陶器と灰釉陶器は極めて少ない。</p>	
関連文献	なし						

No.	58-3	遺跡名	史跡齋宮跡 第115-1・2次調査(6ADK・6ADL)			台帳番号	442-210
所在地	多気郡明和町齋宮字上園・宮ノ前地内				調査主体	三重県教育委員会	
調査原因	計画調査				費用負担	国・県	
調査機関	齋宮歴史博物館			担当者	赤岩 操		
調査期間	H. 8. 5. 29 ～ H. 8. 7. 30		調査面積	610㎡	保護法関係 文書番号	8年8月8日付け 委保 第4の559号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>近鉄齋宮駅北側に計画中の史跡整備に向けて方格地割北西隅4区画に相当する当地区における遺構の実態を解明するためにトレンチを2箇所を設定した。当該場所は粘土採掘のために著しく遺構が破壊されており、部分的に黒ボク土の分布する地点のみに遺構が残存していた。</p> <p>方格地割北西隅4区画を分ける区画道路および両側溝推定線には、その他の遺構が残存するにもかかわらず、側溝は検出されず、4区画分で一区画を構成していたものと考えられる。</p>				<p>○平安時代末期～鎌倉時代 溝 7条 井戸1基 掘立柱建物4棟</p>		<p>土師器 須恵器 緑釉陶器 土鏝 墨書土器 ミニチュア土器 漆附着陶器 灰釉陶器 青磁・白磁</p>	
関連文献	なし						
No.	58-4	遺跡名	史跡齋宮跡 第116-1～5次調査			台帳番号	442-210
所在地	多気郡明和町齋宮字上園・宮ノ前・篠林・内山地内				調査主体	三重県教育委員会	
調査原因	史跡整備に伴う発掘調査				費用負担	国・県	
調査機関	齋宮歴史博物館			担当者	赤岩 操		
調査期間	H. 8. 8. 5 ～ H. 8. 12. 20		調査面積	765㎡	保護法関係 文書番号	8年9月24日付け 委保 第4の837号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>今年度の史跡整備において復元される区画道路および両側溝の実態解明のために、上園芝生広場周辺に5箇所の調査区を設定した。</p> <p>各調査区において、平安時代後期以降の溝を現道を挟んだ両側で検出しており、現道のやや蛇行した線形がほぼ当時の側溝を踏襲してきたものであることが分かった。この方格地割北西隅4区画は東方の区画とは異なり、直交する区画道路・側溝では構成されず、やや蛇行する道路・側溝で囲まれていたことが分かった。</p>				<p>○奈良時代～平安時代末期・ 鎌倉時代 溝 掘立柱建物 土坑</p>		<p>土師器 須恵器 緑釉陶器 灰釉陶器 黒色土器 墨書土器 朱附着土器 猿面硯 青磁・白磁</p>	
関連文献	なし						
No.	58-5	遺跡名	史跡齋宮跡 第117-1次調査(6AEF)			台帳番号	442-210
所在地	多気郡明和町齋宮字楽殿				調査主体	明和町教育委員会	
調査原因	個人住宅の新築				費用負担	国・県・町	
調査機関	齋宮歴史博物館			担当者	野原宏司		
調査期間	H. 8. 9. 16 ～ H. 8. 10. 4		調査面積	80㎡	保護法関係 文書番号	8年9月24日付け 委保 第4の679号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>史跡北辺部を東西に通過する町道塚山線沿い南側の楽殿地区に所在し、個人住宅新築に伴う事前の発掘調査である。表土層は薄く、地表面から20～35cmで遺構面に達する。</p> <p>平安時代末期の小型堅穴住居1棟を検出し、長軸3.3cm×短軸1.8cm、北辺に焼土跡が残る。埋土からは土師器鍋、山茶碗等が出土する。</p> <p>平安時代末期～鎌倉時代前期の南北溝2条と東西溝1条を確認した。</p>				<p>○平安時代末期 堅穴住居 1棟 ○平安時代末期～鎌倉時代 前期 溝 3条</p>		<p>土師器鍋 山茶碗</p>	
関連文献	なし						

No.	58-6	遺跡名	史跡斎宮跡 第117-2次調査(6ACM)			台帳番号	442-210
所在地	多気郡明和町斎宮			調査主体	明和町教育委員会		
調査原因	個人住宅の新築			費用負担	国・県・町		
調査機関	斎宮歴史博物館		担当者	駒田利治・赤岩 操			
調査期間	H. 8. 10. 21 ～ H. 8. 11. 6		調査面積	54㎡	保護法関係 文書番号	8年10月9日付け 委保 第4の936号	
遺跡の概要			主な遺構		主な遺物		
<p>史跡東部には奈良時代後期から平安時代前期の方格地割が存在したと考えられるが、今回はこの方格地割北方で、調査を実施した。</p> <p>調査の結果、表土層(約20cm)及び遺物包含層(約20cm)下の標高約11mの橙色年湿土面で遺構を確認した。遺構面は樹痕及び近代の攪乱坑により保存状況は良くないが、16世紀以降の溝・土坑を確認した。</p>			<p>○室町時代遺構</p> <p>溝 3 土坑 1</p>		<p>土師器 須恵器 山茶碗</p>		
関連文献	なし						
No.	58-7	遺跡名	史跡斎宮跡 第117-3次調査(6ABJ)			台帳番号	442-210
所在地	多気郡明和町斎宮大字竹川字中垣内地内			調査主体	明和町教育委員会		
調査原因	町道竹川13号線の簡易舗装			費用負担	町		
調査機関	斎宮歴史博物館		担当者	野原宏司			
調査期間	H. . . . ～ H. . . .		調査面積	48㎡	保護法関係 文書番号	9年 月 日付け 教文 第 一 号	
遺跡の概要			主な遺構		主な遺物		
<p>史跡南西部、中垣内地内の町道竹川13号線の簡易舗装に先立つ緊急発掘調査である。</p> <p>この地域は斎宮跡発見の端緒となった古里遺跡をはじめとする発掘調査で奈良・鎌倉・室町時代の遺構が濃密に分布することが知られる。</p> <p>調査区が狭小で遺構は少ないが、東西溝2条と南北溝1条を検出した。出土遺物としては、土師器鍋・皿等があり、15世紀末葉～16世紀前葉と考えられる。</p>			<p>○室町時代</p> <p>溝 3条</p>		<p>土師器鍋・皿</p>		
関連文献	なし						
No.	58-8	遺跡名	史跡斎宮跡 第117-4次調査(6ADP)			台帳番号	442-210
所在地	多気郡明和町斎宮大字斎宮字牛葉地内			調査主体	明和町教育委員会		
調査原因	町道既設側溝の改修			費用負担	町		
調査機関	斎宮歴史博物館		担当者	上村安生			
調査期間	H. 9. 1. ～ H. 9. 1.		調査面積	48㎡	保護法関係 文書番号	年 月 日付け 教文 第 一 号	
遺跡の概要			主な遺構		主な遺物		
<p>今回の調査は、近鉄斎宮駅南側の住宅密集地域において、既設側溝の改修工事に伴い掘削の範囲に合わせて調査区を設定し、幅約60cm、総延長80mの細長いトレンチで行った。</p> <p>調査の結果、大部分は既設の側溝の工事の際に破壊をうけており、溝の深い部分が残っていた他、わずかに柱穴がみられたが、掘立柱建物としてまとまるものはなかった。</p>			<p>鎌倉時代前半の溝 3条 柱穴</p>		<p>土師器(皿・鍋) 山茶碗 山皿 遺物の量は極めて少ない。</p>		
関連文献	なし						

No.	58-9	遺跡名	史跡齋宮跡 第117-5次調査(6AFC-M)			台帳番号	442-210
所在地	多気郡明和町齋宮字北野3551-1、3553-4、5、3554-6			調査主体	明和町教育委員会		
調査原因	社宅の新築			費用負担	町		
調査機関	齋宮歴史博物館		担当者	駒田利治・森田幸伸・熊崎 司			
調査期間	H. 9. 2. 17 ～ H. 9. 3. 31		調査面積	約629㎡	保護法関係 文書番号	8年10月9日付け 委保 第4の938号	
遺跡の概要			主な遺構		主な遺物		
<p>史跡北東部の北野地区に所在し、社宅の建設予定地に伴う事前の発掘調査である。</p> <p>戦時中に軍関係の施設がおかれ、近年この跡地に山砂が30cmほど盛土されており、遺物包含層が攪乱されている箇所もあるが、遺構面は部分的な攪乱を受けたに止まっている。遺構面までの深さは、50～80cmほどである。</p> <p>奈良時代後期の土坑2基以外は、平安時代末期から鎌倉時代の溝数条が調査区を北西から南東に延びている。史跡の北限を限り、史跡西部から弧状に延びている「鎌倉大溝」も確認されている。</p>			<p>奈良時代 土坑 2基</p> <p>平安時代末期～鎌倉時代 堀立柱建物 2棟 溝 11条</p>		<p>土師器 須恵器 緑釉陶器 灰釉陶器 山茶碗</p>		
関連文献	『史跡齋宮跡 平成6年度現状変更緊急発掘調査報告』他						
No.	58-10	遺跡名	史跡齋宮跡 第117-6次調査(6ACM)			台帳番号	442-210
所在地	多気郡明和町竹川字東裏			調査主体	明和町教育委員会		
調査原因	個人の車庫新築			費用負担	国・県・町・原因者		
調査機関	齋宮歴史博物館		担当者	赤岩 操			
調査期間	H. 9. 2. 24 ～ H. 9. 3. 31		調査面積	約8㎡	保護法関係 文書番号	8年11月21日付け 委保 第4の1074号	
遺跡の概要			主な遺構		主な遺物		
<p>齋宮小学校校前の旧参宮街道沿い住宅裏の畑地で、幅1.8m×長さ8.0mのトレンチ調査を実施した。現況は畑であるが、参宮街道沿い住宅の土壁のための粘土を当該地周辺から採取したために低地となり、厚30cmの耕作土は搬入土であった。当該地は史跡東半に展開する方格地割の西縁辺地であり、齋宮小学校地の発掘調査では四脚門を検出している他、周溝遺構が分布することが確認されており、関連する遺構の検出が予想される場所である。</p>			<p>土壁粘土採取のための攪乱坑のみ検出される。</p>		<p>土師器片と奈良時代甕の破片は攪乱坑より出土するが、その量はごくわずかである。</p>		
関連文献	なし						

各市町村担当分本調査

No.	59	遺跡名	山奥遺跡		台帳番号	202-84	
所在地	四日市市大字羽津字山之奥				事業主体	中部地方建設部	
調査原因	一般国道1号北勢バイパス建設				費用負担	同上	
調査機関	四日市市教育委員会			担当者	泉 雄二・清水政宏		
調査期間	H8. 10. 7 ～ H9. 2. 8		調査面積	1,500㎡	保護法関係 文書番号	8年9月5日付け 教文 第1871号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
標高20～30mの丘陵上に位置する。過去3回の調査が実施されており、弥生時代後期と古墳時代後期の竪穴住居が約70基ほど検出されている。				竪穴住居 弥生時代後期 15基 古墳時代後期 7基 土器焼成坑（7C代か） 2基		○弥生土器 壺・甕・高杯・手焙り形土器 ○須恵器 杯身・杯蓋・高杯・壺・甕・ 器台・特殊偏壺	
関連文献							
No.	60	遺跡名	伊勢国分寺跡		台帳番号	207-361	
所在地	鈴鹿市国分町字西高木230,231,233,234,235				事業主体	鈴鹿市	
調査原因	博物館建設				費用負担	鈴鹿市	
調査機関	鈴鹿市遺跡調査会			担当者	岡田雅幸		
調査期間	H8. 6. 5 ～ H8. 10. 2		調査面積	850㎡	保護法関係 文書番号	8年10月1日付け 教文 第2326号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
国史跡である伊勢国分寺の寺域のすぐ南に接する調査区である。建物としてはまとまらない多数の柱穴と、性格不明の土坑を検出した。他に時期不明の溝も検出したが、寺域の南辺部に並行しているため、国分寺に関連する溝の可能性が高い。				○柱穴 溝 土坑		瓦 土師器 須恵器 山茶碗	
関連文献							
No.	61	遺跡名	一反通遺跡		台帳番号	207-533	
所在地	鈴鹿市石薬師町字一反通				事業主体	個人	
調査原因	個人住宅				費用負担	鈴鹿市※	
調査機関	鈴鹿市教育委員会			担当者	新田 剛		
調査期間	H8. 7. 19 ～ H8. 8. 14		調査面積	33.3㎡	保護法関係 文書番号	8年6月12日付け 教文 第1523号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
弥生時代の溝（濠）3条と弥生～古代の土壌が4基検出された。溝3条は併行した位置関係にあり、環濠の一部と考えられる。時期は出土遺物から中期後半のものと見られる。うち1条は有機質の埋土を有し、種子や材などの植物遺体を伴っている。				溝（濠） 土壌		弥生土器 石斧・石鎌・砥石 須恵器 灰釉陶器 山茶碗	
関連文献							
鈴鹿市埋蔵文化財調査年報Ⅳ							

No.	62	遺跡名	羽舞場遺跡	台帳番号	207-1233
所在地	鈴鹿市小田町字羽舞場1174-119・120			事業主体	三重県住宅供給公社
調査原因	土地区画整理事業			費用負担	三重県住宅供給公社
調査機関	鈴鹿市教育委員会		担当者	藤原秀樹	
調査期間	H 8. 11. 19 ～ H 9. 1. 17	調査面積	780㎡	保護法関係 文書番号	8年12月10日付け 教文 第2533号
遺跡の概要			主な遺構	主な遺物	
<p>鈴鹿川と安楽川にはさまれた丘陵の北麓に位置する。斜面の中心に弥生中期後葉の土器を含む溝群が連なり、方形周溝墓群であるとみられる。</p> <p>斜面の下端では竪穴住居1基が検出された。カマドを持たず須恵器を伴わないが、古墳時代後期に下るとみられる。丘陵上に位置した、井田川茶臼山古墳・谷山古墳との関連が注目される。</p>			<p>溝（方形周溝墓）</p> <p>自然流路</p> <p>土坑</p> <p>竪穴住居</p>	<p>弥生土器</p> <p>土師器</p> <p>（台付甕・小型壺・高坏）</p>	
関連文献	鈴鹿市埋蔵文化財調査年報Ⅳ				
No.	63	遺跡名	岡太神社遺跡	台帳番号	207-1182
所在地	鈴鹿市弓削2丁目455-2			事業主体	有限会社ミット
調査原因	宅地造成			費用負担	事業者
調査機関	鈴鹿市遺跡調査会		担当者	岡田雅幸	
調査期間	H 8. 10. 16 ～ H 8. 10. 28	調査面積	180㎡	保護法関係 文書番号	8年10月15日付け 教文 第2686号
遺跡の概要			主な遺構	主な遺物	
<p>鈴鹿川右岸の低位段丘上に位置する。土坑の一つから山茶碗・土師器皿・土師器片がまとまって出土したが、祭祀に関わるものとは考えられず、廃棄されたものと思われる。出土遺物から判断して、これらの遺構は平安時代末から鎌倉・室町時代にかけての時期が考えられる。</p>			<p>柱穴</p> <p>土坑</p> <p>溝</p>	<p>土師器</p> <p>須恵器</p> <p>山茶碗</p>	
関連文献	鈴鹿市埋蔵文化財調査年報Ⅳ				
No.	64	遺跡名	岸岡山2号墳	台帳番号	207-264
所在地	鈴鹿市岸岡山字岩ヶ谷2574-3			事業主体	鈴鹿市教育委員会
調査原因	学術調査			費用負担	鈴鹿市教育委員会※
調査機関	鈴鹿市教育委員会		担当者	杉立正徳	
調査期間	H 9. 1. 27 ～ H 9. 3. 31	調査面積	50㎡	保護法関係 文書番号	8年9月10日付け 教文 第2260号
遺跡の概要			主な遺構	主な遺物	
<p>伊勢湾に面する丘陵上に位置する。昨年度の調査で全長53.5mの前方後円墳と判明。本年度は後円部頂部、くびれ部、前方部側の周溝部を主な対象地点として調査。</p>			<p>古墳時代</p> <p>前方後円墳</p>	<p>円筒埴輪</p> <p>形象埴輪</p> <p>須恵器</p>	
関連文献					

No.	65	遺跡名	狐穴遺跡	台帳番号	207-1234
所在地	鈴鹿市西条3丁目1137-1			事業主体	有限会社 飯田商事
調査原因	宅地造成			費用負担	有限会社 飯田商事
調査機関	鈴鹿市教育委員会		担当者	杉立正徳	
調査期間	H 8. 12. 19 ～ H 9. 1. 14	調査面積	360㎡	保護法関係 文書番号	9年1月31日付け 教文 第165号
遺跡の概要			主な遺構	主な遺物	
<p>鈴鹿川右岸の低位段丘上に位置する。7世紀前半頃の12m×13.6mの円墳1基を検出した。石材の抜き取り痕から、南へ開口する横穴式石室が想定され、屈曲した墓道が続いている。鈴鹿川右岸下流域では初の横穴式石室の発見例となった。鎌倉時代の掘立柱建物は4間×4間の総柱建物。この地域特有のほぼ正方位の条理地割に棟方向を合わせている。</p>			<p>古墳時代後期 円墳 1基 鎌倉時代後期 掘立柱建物</p>	<p>須恵器 (杯身・杯蓋) 山茶碗 土師器鍋</p>	
関連文献	鈴鹿市埋蔵文化財調査年報Ⅳ				
No.	66	遺跡名	狐塚遺跡	台帳番号	207-734
所在地	鈴鹿市国分町字念仏山4-2,7-1,7-2,9-1,9-2,140-1			事業主体	鈴鹿市
調査原因	博物館駐車場建設			費用負担	鈴鹿市
調査機関	鈴鹿市遺跡調査会		担当者	岡田雅幸	
調査期間	H 8. 4. 15 ～ H 9. 3. 31	調査面積	4,000㎡	保護法関係 文書番号	8年10月1日付け 教文 第2326号
遺跡の概要			主な遺構	主な遺物	
<p>鈴鹿川左岸の台地上に位置する。川曲郡衙を構成する官衙施設の一つだと考えられる3×6間の大形建物(倉庫の可能性が高い)を検出。他の地区も合わせると計5棟の正方位に柱筋を揃える掘立柱建物があり、7世紀末から8世紀初頭の川曲郡衙に付随する建物が一帯に広がっていたと考えられる。現在も調査中であるが、今後も官衙関連の遺構を検出できるものと期待される。</p>			<p>掘立柱建物 溝 土坑 柱穴</p>	<p>瓦 土師器 須恵器 山茶碗</p>	
関連文献					
No.	67-1	遺跡名	三宅神社遺跡(第1次)	台帳番号	207-495
所在地	鈴鹿市国府町字西木曾田			事業主体	個人
調査原因	店舗			費用負担	事業者
調査機関	鈴鹿市遺跡調査会		担当者	新田 剛・藤原秀樹	
調査期間	H 8. 5. 23 ～ H 8. 5. 31	調査面積	378㎡	保護法関係 文書番号	8年4月8日付け 教文 第921号
遺跡の概要			主な遺構	主な遺物	
<p>三宅神社の南100mに位置する。深耕のため遺構の残りは悪いが、奈良時代初頭の井戸・土壌が検出された。奈良の井戸は1辺約3mの方形井戸で、深さは約1.4mである。隅柱等の材や土師器・須恵器片が出土し、底から須恵器壺完形品が出土した。</p>			<p>○奈良時代初頭 井戸 ○鎌倉時代 井戸 土壌</p>	<p>○須恵器 ○土師器 ○山茶碗</p>	
関連文献	鈴鹿市埋蔵文化財調査年報Ⅳ				

No.	67-2	遺跡名	三宅神社遺跡（第2次）			台帳番号	207-495
所在地	鈴鹿市国府町字中木曾田3565-2				事業主体	橋本明子	
調査原因	学習塾建設				費用負担	橋本明子	
調査機関	鈴鹿市遺跡調査会			担当者	藤原秀樹		
調査期間	H8. 6. 17 ～ H8. 7. 17		調査面積	260㎡	保護法関係 文書番号	8年5月1日付け 教文 第1166号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
伊勢国総社とされる三宅神社の東約50mの地点である。ほぼ正方位の掘立柱建物4棟が検出され、1棟の柱掘方は1辺1mを越える大形のものである。出土遺物より9世紀末から10世紀前半に位置づけられる。また、12世紀代の素掘り井戸1基が検出された。椀に5枚の小皿が入れ子にされた状態で出土し、祭祀の跡と見られる。推定国府との関係において注目される。				掘立柱建物 4棟 井戸 1基 溝 1条 土坑 耕作痕		須恵器 土師器 灰釉陶器 緑釉陶器片 黒色土器片 瓦 曲物底板	
関連文献	鈴鹿市埋蔵文化財調査年報Ⅳ						
No.	67-3	遺跡名	三宅神社遺跡（第3次）			台帳番号	207-495
所在地	鈴鹿市国府町字中木曾田				事業主体	個人	
調査原因	個人住宅				費用負担	鈴鹿市	
調査機関	鈴鹿市教育委員会			担当者	新田 剛・藤原秀樹		
調査期間	H8. 12. 9 ～ H . .		調査面積	31.8㎡	保護法関係 文書番号	8年11月8日付け 教文 第2644号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
三宅神社の東北東90mに位置する。土壌と柱穴群が検出された。土壌は新旧基が重複するものである。柱穴群が構成する掘立柱建物の規模、棟数は不明である。遺構の時期は平安後期頃と思われるが、特に官衙に関連づけられるものはみられない。				柱穴 土壌		土師器	
関連文献	鈴鹿市埋蔵文化財調査年報Ⅳ						
No.	68	遺跡名	山の原遺跡			台帳番号	207-532
所在地	鈴鹿市上田町字赤土				事業主体	個人	
調査原因	住宅建築				費用負担	鈴鹿市※	
調査機関	鈴鹿市教育委員会			担当者	藤原秀樹		
調査期間	H8. 7. 19 ～ H8. 7. 24		調査面積	22.1㎡	保護法関係 文書番号	8年6月12日付け 教文 第1497号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
鈴鹿川左岸の台地上に位置する。調査面積は狭少だが3棟の竪穴住居が重複して検出され、密度は高い。竪穴住居は東にカマドを有する長方形タイプで、出土遺物から8世紀後半に位置づけられる。				竪穴住居 土坑		土師器 須恵器	
関連文献	鈴鹿市埋蔵文化財調査年報Ⅳ						

No.	69	遺跡名	山辺瓦窯跡		台帳番号	207-1236	
所在地	鈴鹿市山辺町232				事業主体	大井神社	
調査原因	神社改築				費用負担	大井神社・鈴鹿市	
調査機関	鈴鹿市教育委員会			担当者	杉立正徳		
調査期間	H8. 8. 28 ～ H8. 10. 31		調査面積	50㎡	保護法関係 文書番号	8年10月16日付け 教文 第2132号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
鈴鹿川下流の左岸、丘陵東縁部に位置する。白鳳時代の地下式 窯の焼成室上半部と煙道部について調査。窯体の全長は少なく とも8mを超える。当初は階段状に設けられていた床面を後に粘 土を貼ってスロープ状に補修していることが判明した。出土瓦は 重孤文軒平瓦で、現時点では南浦廃寺（大鹿廃寺）への供給が有 力。				○白鳳時代 地下式窯 1基		軒平瓦（重孤文） 平瓦 丸瓦 須恵器 土師器 山茶碗	
関連文献	鈴鹿市埋蔵文化財調査年報Ⅳ						
No.	70	遺跡名	須賀遺跡		台帳番号	207-166	
所在地	鈴鹿市須賀1丁目				事業主体	個人	
調査原因	事務所兼個人住宅				費用負担	事業者・鈴鹿市	
調査機関	鈴鹿市教育委員会			担当者	新田 剛		
調査期間	H8. 7. 4 ～ H8. 7. 11		調査面積	45.7㎡	保護法関係 文書番号	8年5月31日付け 教文 第1494号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
沖積低地にはど近い低位段丘上に位置する。弥生時代の濠・ 溝・ピットや鎌倉時代の井戸が検出された。濠は幅3m・深さ1. 2mで8mに亘って検出された。中期後葉の埋没が考えられる。 濠に切られる溝は、その形状から方形周溝墓の可能性も考えられ る。				濠 溝 ピット 井戸		石斧 弥生土器 山茶碗	
関連文献	鈴鹿市埋蔵文化財調査年報Ⅳ						
No.	9-2	遺跡名	石薬師東遺跡古墳群		台帳番号	207-727	
所在地	鈴鹿市石薬師町				事業主体	個人	
調査原因	農業用倉庫建設				費用負担	鈴鹿市※	
調査機関	鈴鹿市教育委員会			担当者	藤原秀樹		
調査期間	H8. 12. 11 ～ H . .		調査面積	9㎡	保護法関係 文書番号	9年1月7日付け 教文 第18号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
三重県消防学校を中心とした石薬師東古墳群の周縁部に位置す る。削平された小型方墳の周溝を検出し、76号墳とした。調査区 が限定され、大部分は陸軍部隊の宿舎基礎により攪乱されている ため、規模は不明である。				古墳周溝		土師器台付甕	
関連文献	鈴鹿市埋蔵文化財調査年報Ⅳ						

No.	9-3	遺跡名	石薬師東古墳群			台帳番号	207-727	
所在地	鈴鹿市石薬師町字寺東				事業主体	個人		
調査原因	個人住宅建設				費用負担	鈴鹿市		
調査機関	鈴鹿市教育委員会			担当者	杉立正徳			
調査期間	H 8 . 4 . 10 ～ H 8 . 4 . 18		調査面積	80㎡	保護法関係 文書番号	8年3月4日付け 教文 第606号		
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物		
鈴鹿川下流の左岸に位置する。昨年度の調査で検出された59号墳の北東・南東周溝と新たに64号墳の周溝が見つかった。59号墳は、1辺7.5mの方墳で、出土遺物から6世紀初頭の築造が想定される。主に方墳から構成される石薬師東古墳群の南への展開が確認された。				○古墳時代後期 古墳2基 (1基は方墳)		○須恵器 杯蓋・杯身・甕 ○土師器		
関連文献	鈴鹿市埋蔵文化財調査年報Ⅳ							
No.	72	遺跡名	竹野1丁目遺跡			台帳番号	207-1138	
所在地	鈴鹿市竹野1丁目13・14				事業主体	株式会社サカイ		
調査原因	宅地造成				費用負担	株式会社サカイ		
調査機関	鈴鹿市遺跡調査会			担当者	藤原秀樹			
調査期間	H 8 . 9 . 24 ～ H 8 . 11 . 12		調査面積	620㎡	保護法関係 文書番号	8年7月1日付け 教文 第1869号		
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物		
鈴鹿川左岸の低位段丘上に位置する。浅い開析谷を水田として利用している。北岸にあたる微高地上は正方位に走る大溝で区画され、掘立柱建物が3回建て替えられ、宅地の一角には火葬土壇1基も検出されている。出土遺物から、13世紀を中心として集落が営まれたとみられる。				掘立柱建物 溝 水田 火葬土壇		土師器 山茶碗 土鍋 常滑甕		
関連文献								
No.	73-1	遺跡名	長者屋敷遺跡			台帳番号	207-363	
所在地	鈴鹿市広瀬町字南野972,972-1,972-2,973				事業主体	鈴鹿市教育委員会		
調査原因	学術調査				費用負担	鈴鹿市※		
調査機関	鈴鹿市教育委員会			担当者	新田 剛			
調査期間	H 8 . 10 . 7 ～ H 9 . 1 . 7		調査面積	580㎡	保護法関係 文書番号	8年8月26日付け 教文 第2053号		
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物		
過去に確認された礎石建物の東側を調査したところ、基礎地業の跡・掘立柱建物・溝が検出された。基礎地業は南北18mで、梁間4間・12尺等間の瓦葺礎石建物が想定される。礎石建物の周囲に隣接する溝からは大量の瓦が出土した。方格地割に合致する溝は未検出。				基礎地業 掘立柱建物 溝		丸瓦・平瓦・軒丸瓦・鬼瓦 繻の羽口 鉄滓 須恵器 土師器		
関連文献	伊勢国分寺・国府跡Ⅳ							

No.	73-2	遺跡名	長者屋敷遺跡（第5次）			台帳番号	207-363
所在地	鈴鹿市広瀬町字丸内			事業主体	鈴鹿市		
調査原因	農道拡幅舗装工事			費用負担	鈴鹿市		
調査機関	鈴鹿市遺跡調査会			担当者	杉立正徳		
調査期間	H8. 6. 20 ～ H8. 7. 16		調査面積	120㎡	保護法関係 文書番号	8年5月13日付け 教文 第186号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
調査地点は伊勢国府政庁跡の北650m、金藪のすぐ西に位置する。竪穴住居の貯蔵穴やカマドの部材として瓦が出土。出土遺物からも奈良時代に比定できる。伊勢国府で雑役に従事した人たちの住居であったと考えられ、政庁以外不明な点が多い。長者屋敷遺跡に新たな資料を提供したい。				○奈良時代 竪穴住居 2棟 ○時期不明 溝		平瓦 丸瓦 須恵器 土師器	
関連文献	鈴鹿市埋蔵文化財調査年報Ⅳ						
No.	73-3	遺跡名	長者屋敷遺跡（第6次）			台帳番号	207-363
所在地	鈴鹿市広瀬町字矢下			事業主体	鈴鹿市		
調査原因	道路舗装工事			費用負担	鈴鹿市		
調査機関	鈴鹿市遺跡調査会			担当者	杉立正徳		
調査期間	H8. 6. 25 ～ H8. 7. 19		調査面積	330㎡	保護法関係 文書番号	8年5月14日付け 教文 第1245号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
調査地は伊勢国府政庁跡の南約150mに位置する。国府に関連する遺構が検出されるものと期待されたが、時期不明の溝が2条検出されたのみであった。				○時期不明 溝		瓦類 須恵器	
関連文献	鈴鹿市埋蔵文化財調査年報Ⅳ						
No.	74-1	遺跡名	天王遺跡（第1次）			台帳番号	207-873
所在地	鈴鹿市岸岡町589-2			事業主体	三重県厚生農業協同組合連合		
調査原因	病院施設建設			費用負担			
調査機関	鈴鹿市遺跡調査会			担当者	杉立正徳		
調査期間	H8. 7. 22 ～ H8. 8. 23		調査面積	260㎡	保護法関係 文書番号	8年4月22日付け 教文 第1094号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
鈴鹿川右岸の沖積平野最南端に位置する。比較的規模の大きな掘立柱建物が、2棟分検出され、さらに調査区外へ広がっているものと考えられる。奈良時代～平安時代にかけてのものと思定される。				掘立柱建物 2棟 溝 多数 土坑 多数 焼土坑 1基 井戸 1基		須恵器 土師器 瓦 土錘 中世陶器（山茶碗）	
関連文献	鈴鹿市埋蔵文化財調査年報Ⅳ						

No.	74-2	遺跡名	天王遺跡（第2次）			台帳番号	207-873
所在地	鈴鹿市岸岡町577-4ほか				事業主体	鈴鹿市	
調査原因	歩道整備事業				費用負担	鈴鹿市	
調査機関	鈴鹿市遺跡調査会			担当者	杉立正徳		
調査期間	H8. 11. 26 ～ H8. 12. 19		調査面積	100㎡	保護法関係 文書番号	8年6月10日付け 教文 第1496号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>弥生時代から古墳時代にかけての井戸から鎌倉時代の溝まで、幅広い時期の遺構が検出された。瓦は伴出の須恵器から7世紀後半の時期が考えられ、近辺に存在したと想定される白鳳寺院に関連があるものと考えられる。三河式製塩土器と深い関わりがあった集落を裏付ける遺物が出土。</p>				<p>掘立柱建物 1棟 井戸 2基 溝 多数</p>		<p>弥生土器、土師器 須恵器 (杯蓋・杯身・はそう) 三河式製塩土器、青磁 常滑焼、山茶碗、土錘 瓦類</p>	
関連文献	鈴鹿市埋蔵文化財調査年報Ⅳ						
No.	75	遺跡名	富士遺跡			台帳番号	207-952
所在地	鈴鹿市平野町字尼の橋1151-4				事業主体	高岡工業株式会社	
調査原因	共同住宅				費用負担	事業者	
調査機関	鈴鹿市遺跡調査会			担当者	新田 剛		
調査期間	H9. 1. 27 ～ H9. 2. 1		調査面積	112.8㎡	保護法関係 文書番号	8年12月18日付け 鈴教文 第751号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>鈴鹿川右岸の段丘上に位置する。弥生時代中期後半の方形周溝墓や古代末～中世の溝が確認された。方形周溝墓は一辺の溝が確認されたのみで、大部分は調査区外に続く。幅2.8m・深さ25cmで、全体の推定規模は一辺11m程と思われる。出土遺物は非常に少ない。</p>				<p>弥生中期後半 方形周溝墓 古代末～中世 溝</p>		<p>弥生土器片</p>	
関連文献	鈴鹿市埋蔵文化財調査年報Ⅳ						
No.	76	遺跡名	木田坂上遺跡			台帳番号	207-537
所在地	鈴鹿市木田町字木田坂山				事業主体	個人	
調査原因	土砂採取				費用負担	原因者・鈴鹿市	
調査機関	鈴鹿市教育委員会			担当者	藤原秀樹・杉立正徳		
調査期間	H8. 4. 11 ～ H8. 6. 8		調査面積	1,000㎡	保護法関係 文書番号	8年5月1日付け 教文 第1056-1	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>鈴鹿川左岸の台地上に位置する。3棟の大形掘立柱建物が柱筋を通し『L』字状に配置されていることから豪族居宅の可能性が高い。廃絶後に8世紀中葉以後の竪穴住居群が営まれているため、時期は8世紀前葉に遡ると見られる。その他、縄文晩期の土器棺墓2基と中世土壇墓9基が検出された。</p>				<p>○縄文晩期 土器棺墓 2基 ○奈良時代 掘立柱建物 3棟 竪穴住居 8棟 ○中世 土壇墓 9基</p>		<p>縄文土器 須恵器 土師器 山茶碗</p>	
関連文献	鈴鹿市埋蔵文化財調査年報Ⅲ・Ⅳ						

No.	77	遺跡名	関宿跡（中町地区）			台帳番号	新発見
所在地	鈴鹿郡関町大字木崎町字御茶屋				事業主体	関町建設課	
調査原因	歴史国道ポケットパーク整備事業				費用負担	関町教育委員会	
調査機関	関町教育委員会			担当者	望月和光		
調査期間	H8. 10. 4 ～ H8. 12. 26		調査面積	230㎡	保護法関係 文書番号	8年8月30日付け 教文 第1984号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
鈴鹿川上流の河岸段丘上、関宿重要伝統的建造物群保存地区のほぼ中央標高95m程度に位置する。 平成3年に解体された近世町屋遺構で棟札より安政六年（1859年）の建築である事が確認されている。				礎石建物 1棟 （安政六年） 石組溝 1条 井戸 1基		埋甕 近世 天目茶碗 寛永通宝 近世 銅銭 中世？	
関連文献							
No.	78	遺跡名	四ツ野C遺跡			台帳番号	201-842
所在地	津市高茶屋小森町字四ツ野				事業主体	(株)創地堂 (株)日建商事 (株)旭土地建物	
調査原因	宅地造成				費用負担		
調査機関	津市埋蔵文化財センター			担当者	山口 格		
調査期間	H8. 4. 22 ～ H8. 6. 20		調査面積	1,021㎡	保護法関係 文書番号	8年3月21日付け 津教文 第297号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
雲出川左岸の台地上に立地。調査区北側に接する道路が、近世絵図にみえる久居城下～伊倉津の道路とみられる。後世の削平（海軍工廠等）が広範囲に及んでいる。遺物は中近世のほか、弥生・古墳時代のものが若干出土。				溝 ピット 土坑		弥生土器 須恵器 土師器（鍋・羽釜） 山茶碗 染付磁器 円形加工陶磁製品 （染付磁器）	
関連文献							
No.	79	遺跡名	専修寺境内遺跡			台帳番号	201-844
所在地	津市一身田町字高田				事業主体	専修寺	
調査原因	納骨堂建設				費用負担	専修寺	
調査機関	津市埋蔵文化財センター			担当者	中村光司		
調査期間	H8. 10. 28 ～ H9. 3. 31		調査面積	約2,400㎡	保護法関係 文書番号	8年11月13日付け 津教文第221号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
専修寺境内地の北西隅にあたり、県指定史跡及び名勝「専修寺庭園」の指定範囲内の一角である。 近世～近代の溝、井戸、池状の落ち込み等を確認した。宝暦年間の絵図には当該地に「秀雲臺」と記された建物が描かれているが、建物跡は未確認である。				井戸 1基 水路 1条 溝 10条以上 池状の落ち込み 土坑 ピット		瓦片 土師器（灯明皿等） 陶磁器 山茶碗 弥生土器	
関連文献 『一身田寺内町一町並み調査報告書』 津市教育委員会 1989							

No.	80	遺跡名	ジゾウ遺跡		台帳番号	384-745	
所在地	安芸郡安濃町大字浄土寺字ジゾウ				事業主体	紀平建設株式会社	
調査原因	宅地造成				費用負担	紀平建設株式会社	
調査機関	安濃町遺跡調査会			担当者	田中秀和		
調査期間	H 8 . 9 . 24 ～ H 8 . 11.19		調査面積	700㎡	保護法関係 文書番号	8年8月23日付け 教文 第1919号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>安濃川右岸の標高14.2m前後の微高地上に立地した遺跡で、浄土寺南遺跡の北東約500mに位置している。現状は畑である。</p> <p>調査は試掘調査で発見した大溝を中心に調査区を設定し、調査を実施した。</p> <p>調査の結果、鎌倉時代の大溝2条、同時期の溝、土坑などが検出された。</p> <p>なお、大溝は方向から条里制に伴う坪境の溝と推定される。</p>				<p>大溝2条</p> <p>溝</p> <p>掘立柱建物跡1棟</p> <p>土坑</p>		<p>土師器皿</p> <p>山茶碗</p> <p>須恵器</p> <p>弥生土器</p> <p>陶器</p> <p>墨書土器「道」か「通」</p>	
関連文献							
No.	81	遺跡名	東相野遺跡		台帳番号	384-674	
所在地	安芸郡安濃町大字草生字野端				事業主体	中部企業株式会社	
調査原因	中部企業株式会社 事務所・倉庫・研修棟建設事業				費用負担	中部企業株式会社	
調査機関	安濃町遺跡調査会			担当者	田中秀和		
調査期間	H 8 . 12. 9 ～ 調査中		調査面積	1,280㎡	保護法関係 文書番号	8年11月8日付け 教文 第2502号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>安濃川右岸の標高57mの丘陵上に立地する。調査の結果、縄文時代後期の土坑、落とし穴、江戸時代溝等が検出された。</p>				<p>縄文時代後期</p> <p>土坑2基</p> <p>落とし穴1基</p>		<p>縄文土器</p> <p>台付き深鉢</p>	
関連文献							
No.	82	遺跡名	山王遺跡（第2次調査）		台帳番号	381-45	
所在地	安芸郡河芸町南黒田字山王				事業主体	津市土地開発公社	
調査原因	中勢北部サイエンスシティ第I期事業				費用負担	津市土地開発公社	
調査機関	津市埋蔵文化財センター			担当者	村木一弥		
調査期間	H 8 . 5 . 7 ～ H 8 . 7 . 31		調査面積	1,350㎡	保護法関係 文書番号	8年3月7日付け 津教文 第285号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>調査区は、もともと小さな谷であったところで、弥生時代中期から中世の遺物を含む多量の土が堆積していた。今年度は、このうちの下半部の調査を行った。</p>				<p>旧谷地形</p> <p>ピット</p> <p>（掘立柱建物の可能性あり）</p>		<p>弥生土器</p> <p>土師器</p> <p>須恵器</p> <p>灰釉陶器</p> <p>緑釉陶器</p>	
関連文献							

No.	83	遺跡名	下名倉遺跡			台帳番号	403-113
所在地	一志郡一志町大字井関字下名倉				事業主体	一志町役場建設課	
調査原因	町道名倉354号線改良工事				費用負担	一志町役場建設課	
調査機関	一志町教育委員会			担当者	伊勢野久好		
調査期間	H8. 8. 12 ～ H8. 8. 13		調査面積	約160㎡	保護法関係 文書番号	8年4月22日付け 教文 第735-2号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>当遺跡は、波瀬川に沿った河岸段丘上に位置している。今回の調査地は遺跡東半部を北東方向に通る町道内で、4×10mの試掘坑を4ヶ所設定した。</p> <p>その結果、遺物は確認されず、明確な遺構は柱穴1が検出されたにすぎない。したがって今回の調査地は遺跡北縁部に該当するものと考えられる。</p>				○時期不明 柱穴 1			
関連文献	吉村利男「原始・古代の一志町」『一志町史』／一志町役場 1981						
No.	84	遺跡名	下之庄東方遺跡（前山地区）			台帳番号	405-13
所在地	一志郡嬉野町中川字前山				事業主体	前山地区土地区画整理組合	
調査原因	前山地区土地区画整理				費用負担	前山地区土地区画整理組合	
調査機関	嬉野町教育委員会			担当者	和気清章		
調査期間	H8. 8. 1 ～ 11. 29		調査面積	4,540㎡	保護法関係 文書番号	8年6月15日付け 教文 第1531号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>中村川右岸の段丘上に位置する遺跡であり、かつての下之庄東方遺跡南浦地区のすぐ南に位置する。</p> <p>調査では、北側発掘区で山中期の方形周溝墓8基、南側調査区で一辺30mを越える大型の方形周溝墓が1基確認された。</p> <p>大型の方形周溝墓上にはほぼ同時期の竪穴住居1棟、周溝際にも同時期の竪穴住居2棟が確認された。</p>				方形周溝墓 9基 竪穴住居 4棟 奈良時代土坑 中世墓		弥生土器 鉄斧 銅釧 須恵器 土師器	
関連文献							
No.	85-1	遺跡名	貝蔵遺跡（1次調査）			台帳番号	405-387
所在地	一志郡嬉野町中川字貝蔵他				事業主体	中川駅周辺土地区画整理組合	
調査原因	中川駅周辺土地区画整理組合				費用負担	中川駅周辺土地区画整理組合	
調査機関	嬉野町教育委員会			担当者	和気清章		
調査期間	H8. 1. 10 ～ 7. 19		調査面積	6,800㎡	保護法関係 文書番号	7年8月10日付け 嬉教 第1051号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>中川駅東の標高8m前後の自然堤防上に位置し、古墳時代から奈良時代の遺構遺物が確認されている。調査では東側調査区のA区からは弥生時代末～古墳時代にかけての環濠が確認されたほか、古墳時代の大型掘立柱建物（古墳時代）が確認されている。</p> <p>A区の東調査区では幅6m前後の条里大溝が確認されている。</p>				環濠 1条 溝多数 掘立柱建物 （古墳時代） 2棟 掘立柱建物 （奈良時代） 1棟 竪穴住居（弥生） 2棟		銅鐸型土製品 古式土師器 北陸系土器 S字口縁土器 など多数	
関連文献							

No.	85-2	遺跡名	貝蔵遺跡（2次調査）			台帳番号	405-387
所在地	一志郡嬉野町中川字貝蔵他				事業主体	中川駅周辺土地区画整理組合	
調査原因	中川駅周辺土地区画整理組合				費用負担	中川駅周辺土地区画整理組合	
調査機関	嬉野町教育委員会			担当者	和気清章		
調査期間	H9. 1. 13 ～ 9. 4		調査面積	4,700㎡	保護法関係 文書番号	8年6月19日付け 教文 第1204号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>中川駅東の標高8m前後の自然堤防上に位置し、古墳時代から奈良時代の遺構遺物が確認されている。調査では東側調査区のA区からは弥生時代末～古墳時代にかけての環濠が確認されたほか、古墳時代の大型掘立柱建物が確認されている。</p> <p>A区の東調査区では幅6m前後の条里大溝が確認されている。</p>				<p>環濠 1 条里大溝 掘立柱建物</p>		<p>奈良時代土師器 古墳時代土師器</p>	
関連文献							
No.	86	遺跡名	片部遺跡（第4次）			台帳番号	405-385
所在地	嬉野町中川字片部				事業主体	中川駅周辺土地区画整理組合	
調査原因	中川駅周辺土地区画整理組合				費用負担	中川駅周辺土地区画整理組合	
調査機関	嬉野町教育委員会			担当者	和気清章		
調査期間	H8. 7. 22 ～ 9. 1. 31		調査面積	4,000㎡	保護法関係 文書番号	8年6月19日付け 教文 第1203号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>中川駅東の低地に所在する遺跡であり、1次調査、3次調査の西側に位置する。</p> <p>今回の調査では、1次、2次調査で確認されている水路の接合部の調査である。調査では、南側で自然流水路が1条確認され、2次、1次につながる水路については人工掘削の水路である可能性が考えられる。</p>				<p>水路 2条 自然流水路 1条 堰 8 水田 100面</p>		<p>鳥形木製品 古式土師器</p>	
関連文献							
No.	22-2	遺跡名	小谷赤坂遺跡			台帳番号	405-391
所在地	嬉野町中川字片部				事業主体	中川駅周辺土地区画整理組合	
調査原因	中川駅周辺土地区画整理組合				費用負担	中川駅周辺土地区画整理組合	
調査機関	嬉野町教育委員会			担当者	和気清章		
調査期間	H8. 7. 22 ～ H9. 1. 31		調査面積	4,000㎡	保護法関係 文書番号	8年5月10日付け 教文 第1065号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
<p>中川駅東の低地に所在する遺跡であり、1次調査、3次調査の西側に位置する。</p> <p>今回の調査では、1次、2次調査で確認されている水路の接合部の調査である。調査では、南側で自然流水路が1条確認され、2次、1次につながる水路については人工掘削の水路である可能性が考えられる。</p>				<p>水路 2条 自然流水路 1条 堰 8 水田 100面</p>		<p>鳥形木製品 古式土師器</p>	
関連文献							

No.	86-2	遺跡名	小谷赤坂遺跡			台帳番号	405-391
所在地	嬉野町天花寺字小谷			事業主体	永楽開発株式会社		
調査原因	鉄塔建設			費用負担	永楽開発株式会社		
調査機関	嬉野町教育委員会			担当者	和気清章・中西美賀		
調査期間	H 8 . 4 . 22 ～ 4 . 26		調査面積	100㎡	保護法関係 文書番号	8年3月20日付け 嬉教 第505号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
天花寺丘陵上に広がる小谷遺跡の南側丘陵先端部の調査である。調査では南側10m小谷13号墳が所在する。調査では弥生時代竪穴住居が2棟切り合いながら確認されている。				竪穴住居 2棟		弥生土器（後期）	
関連文献							
No.	88	遺跡名	多気北畠氏遺跡（北畠氏館跡）			台帳番号	406-26-20
所在地	一志郡美杉村上多気			事業主体	美杉村教育委員会		
調査原因	学術調査			費用負担	美杉村		
調査機関	美杉村教育委員会			担当者	山中吉明		
調査期間	H 8 . 7 . 1 ～ H 9 . 9 . 3		調査面積	200㎡	保護法関係 文書番号	8年5月20日付け 教文 第1196号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
多気北畠氏遺跡の中心と言える北畠氏館跡は現在の北畠神社の境内地に位置すると推定されています。神社境内地には国指定北畠氏館跡庭園があります。この境内地からは以前にも中世の遺構が出土しています。				整地跡（15末～16初） 柱穴 直径30cm深さ70cm 程度のもの集中 溝 石列 集石		土師器皿・鍋 瓦質土器（火鉢他） 陶器（摺鉢・蓋・天目茶碗） 磁器（承台他） 銅銭（南宋・明）	
関連文献 『多気遺跡群発掘調査報告 I・II・III』三重県埋蔵文化財センター 『よみがえる北畠氏館跡』美杉村教育委員会 『美杉村・多気の歴史遺産調査』ナショナルトラスト							
No.	89	遺跡名	羽根遺跡			台帳番号	204-615
所在地	松阪市駅部田町字羽根1235			事業主体	（株）中部開発		
調査原因	住宅団地造成			費用負担	事業者		
調査機関	松阪市教育委員会 文化・スポーツ課			担当者	福田 昭・福田哲也		
調査期間	H 8 . 7 . 1 ～ H 8 . 8 . 6		調査面積	3,000㎡	保護法関係 文書番号	8年5月1日付け 教文 第1127号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
金剛川支流の前沖川を南に望む丘陵地に位置し、『市史』にも紹介されている。かつて、鉄道が敷設されたとき、削平されたようであるが、遺構が残っていた。				○中世初頭 掘立柱建物 10棟 溝 数条 土坑 数基		山茶碗 ロクロ土師器 黒色土器 緑釉陶器片	
関連文献 『松阪市史』							

No.	90	遺跡名	やつで3号墳			台帳番号	204-642	
所在地	松阪市山添町字やつで				事業主体	㈱中部開発		
調査原因	工業団地造成				費用負担	事業者		
調査機関	松阪市教育委員会 文化・スポーツ課			担当者	福田 昭・福田哲也			
調査期間	H8. 5. 20 ～ H8. 6. 20		調査面積	700㎡	保護法関係 文書番号	年 月 日付け 松教 第 号		
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物		
<p>榑田川左岸の神山一乗寺一帯は、古墳の多く所在するところである。一つの尾根にやつで古墳群3基が存在し、3号墳を調査、1・2号墳を保存した。盗掘にあっており、天井石が落ちて、わずかに玄門上の天井石が残存していた。出土遺物より6世紀後半と思われる。</p>				<p>横穴式石室(8m) 円墳(径12m)</p>		<p>須恵器杯 土師器碗 土師器皿</p>		
関連文献	『松阪市史』							
No.	91	遺跡名	齋宮北野A遺跡			台帳番号	442-699	
所在地	多気郡明和町大字齋宮字北野				事業主体	民間開発業者		
調査原因	宅地造成工事				費用負担	民間		
調査機関	明和町教育委員会			担当者	森田幸伸			
調査期間	H8. 11. 17 ～ H9. 1. 13		調査面積	624㎡	保護法関係 文書番号	8年10月3日付け 教文 第2173号		
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物		
<p>明和町役場の南西約600mの住宅密集地内に位置し、現況では平坦地に立地する。標高は9.5m前後である。本遺跡の南西隅は史跡齋宮跡と隣接する。包含層はほとんどなく、遺物は平安時代前半期のものが少量出土した。遺構としては5×2間の掘立柱建物を検出した。</p>				<p>○平安時代 掘立柱建物 1棟 土坑 2基</p>		<p>土師器(杯・皿・甕) 須恵器 山茶碗</p>		
関連文献								
No.	92	遺跡名	齋宮北野B遺跡			台帳番号	442-700	
所在地	多気郡明和町大字齋宮字北野				事業主体	民間開発業者		
調査原因	宅地造成工事				費用負担	民間		
調査機関	明和町教育委員会			担当者	森田幸伸			
調査期間	H8. 10. 3 ～ H9. 1. 23		調査面積	2,000㎡	保護法関係 文書番号	8年1月8日付け 明教齋 第107号		
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物		
<p>明和町役場の南約650mの雑種地に位置し、標高9.5mほどの平坦地である。本遺跡の南側西側は史跡齋宮跡に隣接している。平安前半期を中心とした遺物が出土し遺構も同期のものを検出した。緑釉陶器、墨書土器も出土しており齋宮跡との関連が考えられる。</p>				<p>○奈良時代 堅穴住居 ○平安時代 堅穴住居 掘立柱建物 土坑 ○鎌倉時代 土坑 溝</p>		<p>土師器(杯・皿・甕・鍋) 須恵器(杯・蓋・甕) 緑釉陶器(碗) 灰釉陶器(碗) 山茶碗 土錘 鉄釘 墨書土器</p>		
関連文献								

No.	94	遺跡名	史跡 赤木城跡	台帳番号	
所在地	南牟婁郡紀和町赤木			事業主体	紀和町教育委員会
調査原因	赤木城跡保存整備事業			費用負担	紀和町教育委員会※
調査機関	紀和町教育委員会		担当者	岩本直樹	
調査期間	H 8 . 7 . 16 ～ 9 . 11	調査面積	268㎡	保護法関係 文書番号	7年7月20日付け 紀和教 第247号
遺跡の概要			主な遺構	主な遺物	
<p>前年度からの継続事業。</p> <p>今回の調査は、主郭の南に位置する郭（南郭）で実施した。この南郭は、現時点では3段になっていることが確認でき、1段目及びその東側の通路と考えられる部分と2段目の調査を行った。その結果、1段目では建物礎石と考えられる石の並びと用途不明の石積みの方形遺構を検出また、通路と考えられる部分では南北に13個ほどの石の並びを検出した。さらに、2段目では一部分で新たに石垣を検出し、今後も調査を進める予定である。</p>			<p>建物礎石</p> <p>石積み方形遺構</p>	<p>天目茶碗</p> <p>砥石</p> <p>釘</p>	
関連文献	紀和町文化財調査報告1 『国史跡 赤木城跡発掘調査概要』紀和町教育委員会 1996				
No.	95	遺跡名	上野城跡	台帳番号	206-358
所在地	上野市丸之内			事業主体	上野市教育委員会
調査原因	小学校校舎改築工事			費用負担	上野市
調査機関	上野市遺跡調査会		担当者	西澤裕幸・笠井賢治	
調査期間	H 8 . 5 . 6 ～ H 8 . 5 . 17	調査面積	350㎡	保護法関係 文書番号	8年4月1日付け 教文 第697号
遺跡の概要			主な遺構	主な遺物	
<p>調査地は万治年間（1658～1661）に描かれた絵図の筒井天守南側の石垣が南に向かって突き出た箇所当たる。</p> <p>検出された内堀は、南北長約20m、東西長約10mで、西側には石垣が組まれてあるが、東側は素掘りです。石垣は組まれていなかった。石材は花崗岩を使用しており、「打ち込みハギ」によって積まれていた。内堀埋土から多量の瓦類が出土した。いずれも17世紀前後のものと考えられる。</p>			<p>内堀</p> <p>石垣</p>	<p>室町後期～江戸初期</p> <p>軒丸瓦・軒平瓦・丸瓦・平瓦</p> <p>漆碗</p> <p>陶器 播鉢</p> <p>土師器皿</p>	
関連文献					
No.	96	遺跡名	旧崇廣堂（4次）	台帳番号	206-国3
所在地	上野市丸之内			事業主体	上野市
調査原因	国史跡旧崇廣堂保存整備事業			費用負担	上野市※
調査機関	上野市教育委員会		担当者	福田典明	
調査期間	H 8 . 6 . 3 ～ H 8 . 7 . 31	調査面積	350㎡	保護法関係 文書番号	史跡整備のため 98条の2 不要
遺跡の概要			主な遺構	主な遺物	
<p>崇廣堂は藤堂藩10代藩主高兎によって津の藩校有造館の支校として1821年に建てられた藩校である。保存整備事業に伴う発掘調査の第4次調査である。今回の調査では東土塀、南土塀付近の箇所について地下遺構の確認のための調査を実施した。</p>			<p>旧有恒寮・旧御成門に伴う礎石・根石</p>	<p>瓦・陶磁器・銭・石硯</p> <p>鉄製品</p>	
関連文献	<p>豊岡勇『国史跡 旧崇廣堂発掘調査報告』上野市遺跡調査会. 1994</p> <p>豊岡勇『国史跡 旧崇廣堂』『上野市埋蔵文化財年報1』上野市教育委員会. 1995</p>				

No.	97	遺跡名	御墓山窯跡（2次）		台帳番号	206-643	
所在地	上野市佐那具町字中坂				事業主体	ミカサ金属工業株式会社	
調査原因	工場建設				費用負担	同上	
調査機関	上野市遺跡調査会			担当者	笠井賢治		
調査期間	H 8 . 9 . 24 ～ H 8 . 10 . 17		調査面積	100㎡	保護法関係 文書番号	8年7月5日付け 教文 第1503号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
調査地は平成5年度調査区の北東側に隣接する。 調査区には灰原が約60cm堆積していた。下層からは粘土塊のみをつめた溝が検出され、暗渠と思われる。出土遺物は概ね7世紀前半から末にかけてのものである。把手付中空円面硯の出土が目される。				灰原 溝 暗渠		須恵器 杯身・杯蓋・皿・高杯 盤・鉢・瓶類・甕 土馬 把手付中空円面硯 土師器 甕	
関連文献							
No.	98	遺跡名	比土遺跡		台帳番号	206-202	
所在地	上野市比土字東賀柳				事業主体	(株)伊藤忠商事	
調査原因	宅地造成工事				費用負担	同上	
調査機関	上野市遺跡調査会			担当者	増田 博 西澤裕幸		
調査期間	H 8 . 6 . 19 ～ H 8 . 11 . 22		調査面積	3,000㎡	保護法関係 文書番号	7年4月3日付け 上遺 第27-2号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
銅鐸が出土したことで知られている遺跡である。調査の結果、奈良時代の集落跡、室町時代の城館跡と考えられる遺構が検出された。遺構・遺物とも、弥生時代のものはほとんどなく、奈良時代・室町時代が中心であるが、旧石器時代～縄文時代の石器が数点出土した。				○奈良時代 竪穴住居 4棟 掘立柱建物 18棟 ○室町時代 掘立柱建物 5棟 堀状溝		○旧石器時代 翼状剝片 ○縄文時代 尖頭器等石器類 ○弥生時代～古墳時代 壺 ○奈良時代 土師器・須恵器 ○室町時代 土師器・瓦質土器・陶器	
関連文献	梅原末治『銅鐸の研究 資料篇』／木耳社 1985再版						
No.	99	遺跡名	西山古墳		台帳番号	未登録	
所在地	阿山郡阿山町馬場字西山665				事業主体	(仮称) 社会福祉法人 あやまユートピア	
調査原因	特別養護老人ホームの建設				費用負担	(仮称) 社会福祉法人 あやまユートピア 阿山町教育委員会	
調査機関	阿山町教育委員会			担当者	境 宏・藤井尚登		
調査期間	H 8 . 4 . 14 ～ H 8 . 10 . 2		調査面積	100㎡	保護法関係 文書番号	8年4月10日付け 教文 第961号	
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物	
河合川中流右岸、河岸段丘上に築かれた横穴式石室をもつ後期古墳と推測される。昭和22年に石材が抜き取られた際、鉄刀、鉾、刀子、鉄鏃、須恵器、土師器が出土した。また、近年、墳丘の1/2以上が削平を受けた。 調査では、石室北壁の基底石1個と床面の敷石の一部が検出されたのみで、そこから須恵器の杯身が出土した。また、石室は東西を主軸とし、東に開口したものと考えられる。				石室の一部 (基底石1個と床面の敷石の一部)		須恵器の杯身 (MT85形式) 参考 昭和22年の鉄 刀、刀子(2)、 鉾、鉄鏃、須恵器の杯蓋、壺 土師器の杯が出土。	
関連文献	「西山古墳発掘調査概要」阿山町教育委員会 1997						

No.	100	遺跡名	米野氏城跡			台帳番号	484-223	
所在地	阿山郡大山田村大字平田字大ヶ森23-1番地他				事業主体	大山田村		
調査原因	学校建設（大山田西小学校体育館）				費用負担	同上		
調査機関	大山田村教育委員会			担当者	門田了三・橋本晋吉			
調査期間	H8. 5. 16 ～ H8. 6. 13		調査面積	1,900㎡	保護法関係 文書番号	8年5月20日付け 教文 第973号		
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物		
小学校敷地を中心とする中世城館跡。伊賀の国人で、伊賀の乱後、藤堂高虎に二百石の家臣として召し抱えられた米野氏の屋敷跡で、旧地積図で判明している北側の外周堀部分を調査。幅7～8m、深さ1.6m前後の箱掘りの堀を検出。				弥生時代中期の土坑 2基 鎌倉～室町時代の溝 もしくは土坑 1基 室町時代の堀 1条		弥生中期土器・石鏃 黒色土器・瓦器・鍋・土師皿 青磁・山茶碗・播鉢		
関連文献								
No.	101	遺跡名	深谷遺跡			台帳番号	501-241	
所在地	名賀郡青山町羽根字深谷				事業主体	水資源開発公団川上ダム建設所		
調査原因	川上ダム建設に伴う取り付け道路建設				費用負担	水資源開発公団川上ダム建設所		
調査機関	青山町教育委員会			担当者	境 宏			
調査期間	H9. 2. 3 ～ H9. 2. 21		調査面積	300㎡	保護法関係 文書番号	9年1月10日付け 教文 第74号		
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物		
前深瀬川の左岸、やや谷地の平坦地に立地する。平成7年度、埋蔵文化財センターの試掘によって確認された。北と南に所在する古墳群との関連が考えられる。				古墳時代 ビット		ポイント? 1点 須恵器破片（蓋・身） 土師器破片（甕）		
関連文献								
No.	102	遺跡名	小野城跡			台帳番号	210-123	
所在地	亀山市小野町地内				事業主体	亀山市		
調査原因	市道拡幅工事				費用負担	亀山市		
調査機関	亀山市教育委員会			担当者	山口昌直			
調査期間	H8. 11. 18 ～ 継続中		調査面積	2,986.2㎡	保護法関係 文書番号	8年8月8日付け 亀教文 第57号		
遺跡の概要				主な遺構		主な遺物		
鈴鹿側左岸の標高9.3mの段丘上に位置し、現況は畑地である。小野城は、元元元年（1204年）におきた三日平氏の乱において、若菜五郎盛高が籠城した城で、その後関氏の与力である小野氏の居城となった。今回の調査地は、小野城の中心部分の西及び南部を取り巻くように位置している。				・掘立柱建物 ・溝 ・土坑 ・道		・須恵器 ・土師器 緑釉陶器 ・山茶碗		
関連文献 亀山 隆『小野城跡』 亀山市教育委員会 1991.3								

No.	103	遺跡名	一色古墳群		台帳番号	1699・1700	
所在地	久居市一色町				事業主体	民間宅地開発業者	
調査原因	民間宅地開発				費用負担	民間宅地開発業者	
調査機関	久居市教育委員会			担当者	辻 富美雄		
調査期間	H 8 . 3 . 15 ～ H 8 . 4 . 15		調査面積	1,500㎡	保護法関係 文書番号	年 月 日付け 教文 第 号	
遺 跡 の 概 要				主な遺構		主な遺物	
<p>長野川西岸河岸段丘上に7基からなる古墳群である。墳形は円墳である。今回の発掘調査はうち2基を対象とした。</p> <p>第1号墳は直径2.5mの円墳で、竪穴系横穴式石室を有していた。</p> <p>遺物から、5世紀後半と考えられる。</p> <p>第2号墳は、直径1.5mの円墳で、横穴式石室を有していた。</p> <p>遺物から、6世紀中期と考えられる。</p>				<p>第1号墳 円墳、竪穴系横穴式石室</p> <p>第2号墳 円墳、横穴式石室</p>		<p>第1号墳 須恵器・杯・鉄製品他</p> <p>第2号墳 須恵器・杯他、鉄刀3 水晶製切子玉 ガラス玉</p>	
関連文献							

県（三重県埋蔵文化財センター）担当分試掘調査・工事立会

No.	遺跡名 (台帳番号)	所在地	調査原因 (保護法関係文書番号) (費用負担)	調査面積 (㎡)	調査概要
104	桑名高校遺跡 (登録不要)	桑名市東方	桑名高校運動場改修設備 (H8.11.20教文第2398号) 県教育委員会	32	遺構・遺物なし。
2-2	覚正垣内遺跡 (321-41)	員弁郡北勢町阿下喜 字覚正垣内	東海環状自動車道建設 建設省	16	遺構なし。山茶碗片1点出土。
3-2	上惣作遺跡 (321-69)	員弁郡北勢町阿下喜 字上惣作	東海環状自動車道建設 建設省	320	歴史時代の遺構・遺物検出。地震 痕跡あり。(本調査)
105-1	川原遺跡 (登録不要)	員弁郡東員町長深	国道365号線国補道路改良 工事 県土木部	218	山茶碗小片が若干出土したが、遺 構なし。
105-2	川原遺跡 (登録不要)	員弁郡東員町長深	東海環状自動車道建設建 建設省	184	遺構なし。遺物微量。
106	菅原山畑遺跡 (202-147)	四日市市菅原町	四日市中央工業高校設備シ ステム科実習棟・屋内プー ル建設 県教育委員会	24	遺構・遺物なし。
107	南かに島遺跡 (工事立会) (207-415)	四日市市平尾町	北勢沿岸下水道四日市幹線 (H8.7.30教文第2056号) 県土木部	1024	発進立坑部分で溝を検出。仮設ヤードの表土除去部分では土師器小片が若干出土。
108	金打伝承地 (大鐘地名伝承地)	四日市市大鐘町	県単急傾斜地崩壊対策事業 (西大鐘地区) 県土木部	10	遺構・遺物なし
109-1	国分北遺跡 (207-536)	鈴鹿市国分町	主要地方道四日市・鈴鹿環 状線地方特定道路事業 (H8.7.30教文第2056号) 県土木部	120	溝・ピットを検出。溝には布目瓦 が多量に埋まっている。他に灰釉 陶器・土師器・山茶碗が出土。
62-2	羽舞場遺跡 (新発見) (207-1233)	鈴鹿市小田町字羽舞 場	羽舞場造成工事 (H8.7.20教文第1799号) 県住宅供給公社	136	土坑を検出。土師器片出土。(鈴 鹿市参照)
110	本多町遺跡 (207-416)	鈴鹿市神戸4丁目	神戸高校下水道接続 (H8.6.24教文第1796号) 県教育委員会		遺構・遺物なし。(工事立会)
9-4	石薬師東古墳群 (未登録)	鈴鹿市石薬師町寺東	石薬師高校ウエイトリフティ ング場建築・運動場改修 (H8.12.10教文第2500号) 県教育委員会	40	78号墳の周溝検出。埴輪出土。

111	畑田遺跡 (新発見)	鈴鹿市東庄内町北条 字畑田	畜産環境整備事業 (鈴鹿地区東庄内団地) 県農林水産部	33	溝・土坑・ピットを検出。山茶碗・土師器が出土。
112		鈴鹿市西庄内町	主要地方道四日市関線緊急 地方道路整備工事 県土木部	48	遺構・遺物なし。
113	阿野田城跡 (工事立会) (210-141)	亀山市阿野田町	国補急傾斜崩落対策事業県 土木部		土師器・山茶碗片が若干出土したが、遺構なし。
114	上田遺跡 (新発見)	亀山市安知本町字上 田	畜産環境整備事業(鈴鹿地 区安知本団地) 県農林水産部	123	溝・土坑・ピットを検出。山茶碗・土師器が出土。
11	亀山城跡 (工事立会) (210-200)	亀山市東丸町	都市計画道 駅前高塚線街 路事業 (H9.1.8教文第37号) 県土木部	200	本調査参照
115	雲出島貫遺跡 (201-484)	津市雲出島貫町	県道嬉野津線橋梁整備事業 県土木部	288	坑・溝・ピットを検出。古墳時代 ～中世の土師器・須恵器、緑釉陶 器・山茶碗・瓦器等が出土。事業 地内遺跡範囲約8,500㎡。
116	津城跡 (201-763)	津市丸之内	津警察署新築工事 県警察本部		内堀確認。(工事立会)
117	小谷遺跡 (登録不要)	津市波見町小谷	津商業高校第2グラウンド 造成工事 県教育委員会	102	遺構・遺物なし。
118	新池2号墳 (201-280)	津市上津部田字ノノ 坪	一般国道23号中勢道路建 設 建設省	198	地山を人為的に掘削してマウンド を作る。遺物なし。
13-2	高茶屋大垣内遺 跡 (201-264)	津市城山1丁目	県立高茶屋病院整備 県健康福祉部	425	土坑・溝等検出。土師器出土。
119	(登録不要)	津市城山1丁目12-2	仮)三重県精神薄弱者総合 福祉センター建設 県健康福祉部	51	遺構なし。土師器少量出土。
120	里前遺跡 (201-761)	津市野田字里前	一般国道23号中勢道路建 設 (H8.8.1教文第1801号) 建設省	96	溝・ピットを検出。包含層より山 茶碗・土師器・須恵器などが多量 に出土した。
121	梁瀬遺跡 (未登録)	津市野田字梁瀬・高 栗	一般国道23号中勢道路建 設 (H8.11.11教文第2303号) 建設省	474	河道と考えられる砂層から弥生土 器出土。その他石鏃、山茶碗片な ど。

122	管ヶ谷遺跡	津市大里窪田町	主要地方道津関線国補道路改良工事 県土木部	80	遺構・遺物なし。
15-2	窪田大垣内遺跡 (813)	津市大里窪田町	主要地方道津関線国補道路改良工事 県土木部	40	溝を検出。山茶碗・埴輪出土。
123	前ヶ谷遺跡 (201-12)	津市一身田	主要地方道久居河芸線地方特定道路整備工事 県土木部	53	遺構・遺物なし。要試掘範囲あり
124	豊野古墳 (201-809)	津市一身田豊野	農免農道（津北部二期地区） 県農林水産部	4	遺構・遺物なし。
125	雲林院城跡 (382-23)	安芸郡芸濃町雲林院	安濃川水系風呂の谷川国補通常砂防 県土木部	153	遺構・遺物なし。
80-2	ジゾウ城跡 (384-745)	安芸郡安濃町浄土寺	一般県道草生首根線国補交通安全対策事業 県土木部	10	遺構・遺物なし。要立会範囲あり
126	久居城跡 (213-154)	久居市東鷹跡町	久居農林高校下水道接続 県教育委員会		遺構・遺物なし。（工事立会）
127	上野遺跡 (403-7)	一志郡一志町高野	中勢水道事務所築造工事 県企業庁	400	遺構・遺物なし。
128	仮）其村遺跡 (登録不要)	一志郡一志町其村	県営ほ場整備事業（其村地区） 県農林水産部	128	遺構なし。遺物は土師器片・山茶碗片がわずかに出土したが、流れ込みと判断した。
129	井ノ口遺跡 (登録不要)	一志郡一志町波瀬字井ノ口	県道一志美杉線国補緊道改良工事 県土木部	90	遺構・遺物なし。
130	笠月遺跡 (403-143)	一志郡一志町井生	土地総（井生地区） 県農林水産部	138	ピット・土坑を検出。土師器出土。
131	宮ノ東遺跡 (403-16)	一志郡一志町井生	土地総（井生地区） 県農林水産部		ピット・土坑・溝を検出。土師器出土。
132	高畑遺跡 (403-142)	一志郡一志町井生	土地総（井生地区） 県農林水産部		ピット・土坑を検出。土師器出土。
133	笹遺跡 (403-20)	一志郡一志町井生	土地総（井生地区） 県農林水産部		ピット・土坑・溝を検出。土師器出土。
134	筒野遺跡 (405-318)	一志郡嬉野町一志	駒返川国補河川局部改良工事 県土木部	18	遺構・遺物なし。
135	田村西瀬古遺跡 (新発見)	一志郡嬉野町田村	県道改良事業 県土木部	42	灰釉陶器・埴輪出土。本調査約2,800㎡。

136	松本遺跡 (工事立会) (405-392)	一志郡嬉野町川北字 松本	中勢沿岸下水道 県土木部	38	土師器小片・自然木が出土。溝を 検出。
137	西山遺跡 (402-2)	一志郡香良洲町寺家	雲出川香良洲地区の築堤工 事 建設省	256	4m×4m試掘坑を16ヶ所設定。 各グリッドから古墳時代～中世の 遺物が出土。遺構としては、溝・ ピットを検出した。
138	南浦遺跡 (407-)	一志郡三雲町小野江 字南浦	(一)嬉野津線雲出国補橋梁 整備事業 県土木部	176	ピット・古墳周溝(?)を検出。 円筒埴輪・古式土師器など出土。
139	仮)見永新庄屋 遺跡 仮)舞出南遺跡	一志郡嬉野町見永 一志郡三雲町舞出	中勢水道用水供給事業 (三雲9工区) 県企業庁	75	遺構・遺物なし。
140	山ノ越遺跡	一志郡三雲町曾原	広域農道(中勢三期地区) 県農林水産部	65	遺構・遺物なし。
141	曾原堀之内遺跡	一志郡三雲町曾原	広域農道(中勢三期地区) 県農林水産部		ピット検出。
142	大西代遺跡	一志郡三雲町曾原	広域農道(中勢三期地区) 県農林水産部		遺構・遺物なし。
143	田面遺跡	一志郡三雲町曾原	広域農道(中勢三期地区) 県農林水産部		遺構なし。土器少量出土。
144	川口瀬古遺跡 (登録不要)	一志郡白山町川口字 瀬古	特定交通安産施設等整備事 業	30	遺構なし。縄文土器らしきもの出 土。
145	下屋敷B遺跡 (406-86)	一志郡美杉村太郎生 字下屋敷	畜環(一志地区) 県農林水産部	48	遺構・遺物なし。
146	下切遺跡 (406-89)	一志郡美杉村太郎生 字下切	国道368号線国補道路改良 工事 県土木部	30	遺構・遺物なし。
147-1	前垣内遺跡 (406-36)	一志郡美杉村竹原	(主)久居美杉線国補緊急 道路整備B事業 県土木部	24	ピット・溝検出。工事立会約120 ㎡。
147-2	前垣内遺跡 (406-36)	一志郡美杉村竹原	国補通常砂防(持経谷川) 事業 県土木部	6	遺構・遺物なし。
148	瀬木遺跡 (406-40)	一志郡美杉村竹原	(主)久居美杉線国補緊急 道路整備B事業 県土木部	30	遺構・遺物なし。
149	トシガ谷遺跡	一志郡美杉村川上	国補通常砂防(ミクロ谷川) 県土木部	78	遺構・遺物なし。要立会範囲あり。

150	富田遺跡 (406-11)	一志郡美杉村下之川 字富田	畜環（一志地区） 県農林水産部	114	ピット・土坑・溝を検出。土師器 出土。
151	山本遺跡 (406-10)	一志郡美杉村下之川 字山本	畜環（一志地区） 県農林水産部		遺構なし。土器少量出土。
28-2	かん志ゆう遺跡 (新発見)	松阪市櫛田町字かん 志ゆう	県営ほ場整備（櫛田地区） 県農林水産部	168	ピット・溝検出。土師器・山茶碗 出土。
152	川原田遺跡 (登録不要)	松阪市櫛田町字川原 田	県営ほ場整備（櫛田地区） 県農林水産部	48	遺構なし。土器少量出土。
153	寺浦遺跡 (登録不要)	松阪市西黒部町	県道大淀東黒部松阪線県単 道路改良工事 県土木部	56	土師器等の小片が若干出土したが、 遺構なし。
32	仮）生福寺西遺 松阪市西野町 (工事立会) (新発見)	松阪市西野町	国補通常砂防（法浄寺川） 県土木部	100	本調査参照
34-2	中ノ川原遺跡 (第2次) (未登録)	松阪市八重田町字中 ノ川原	二級河川堀坂川小規模河川 改修工事 県土木部	40	遺構ーピット・土坑。遺物ー縄文 土器片、須恵器 甕・杯、土師器 杯、中世の陶器。
154	志のだ遺跡 (登録不要)	松阪市豊原町字志の だ	県営ほ場整備（櫛田上地区） 県農林水産部	36	遺構なし。土器少量出土。
155	石川田遺跡 (登録不要)	松阪市豊原町字石川 田	県営ほ場整備（櫛田上地区） 県農林水産部	150	遺構なし。土器少量出土。
35-2	中の坊遺跡 (204-346)	松阪市目田町字中の 坊	県営ほ場整備（漕代地区） 県農林水産部	256	溝検出。土師器・山茶碗出土。
156	琵琶垣内遺跡 (203-756)	松阪市豊原町字琵琶 垣内ほか	県営ほ場整備（櫛田上地区） 県農林水産部	160	ピット・土坑を検出。土師器出土。
157	塔ノ本遺跡 (未登録)	松阪市櫛田町字塔ノ 本	県営ほ場整備（櫛田地区） 県農林水産部	112	ピット・土坑を検出。土師器出土。
158	倉垣内遺跡 (未登録)	松阪市櫛田町字倉垣 内	県営ほ場整備（櫛田地区） 県農林水産部		遺構なし。遺物少量出土。
159	古轡通りA遺跡 (204-650)	松阪市早馬瀬町字古 轡通り	県営ほ場整備（漕代地区） 県農林水産部	576	土師器出土。
160	大正寺遺跡 (204-347)	松阪市横地町字大正 寺	県営ほ場整備（漕代地区） 県農林水産部		ピット・土坑を検出。土師器出土。
161	目田山遺跡 (204-350)	松阪市横地町字目田 山	県営ほ場整備（漕代地区） 県農林水産部		遺構なし。遺物少量出土。
162	横地高畑遺跡 (204-351)	松阪市横地町字高畑	県営ほ場整備（漕代地区） 県農林水産部		ピット・土坑・溝を検出。土師器 出土。

163	向河原遺跡 (登録不要)	多気郡明和町竹川字 向河原	県営ほ場整備 (漕代地区) 県農林水産部		遺構なし。遺物少量出土。
164	コドノA遺跡 (442-166)	多気郡明和町岩内・ 上村	県道多気停車場斎明線緊急 地方道路整備事業 県土木部	32	溝・土坑・ピットを検出。古墳時 代の土師器出土。事業地内遺跡範 囲1,400㎡。
165	コドノB遺跡 (442-167)	多気郡明和町岩内・ 上村	県道多気停車場斎明線緊急 地方道路整備事業 県土木部	80	溝・土坑を検出。古墳時代の土師 器・中世の土師器出土。事業地 内遺跡範囲2,700㎡。
166	城堀遺跡 (442-170)	多気郡明和町岩内・ 上村	県道多気停車場斎明線緊急 地方道路整備事業 県土木部	72	土塁・溝・ピットを検出。古墳・ 奈良時代の土師器・中世の土師器 出土。事業地内遺跡範囲2,000㎡。
167	申山C遺跡 (442-309)	多気郡明和町山大淀	松阪伊勢自転車道建設事業 県土木部	88	遺構なし。遺物微量出土。
168	北沢遺跡 (登録不要)	多気郡明和町上野字 北沢	県営ほ場整備事業 (明星地 区) 県農林水産部	144	土師器片が出土したが、明確な遺 構なし。
169	二ノ久保遺跡 (登録不要)	多気郡多気町四疋田 字二ノ久保	県営ほ場整備 (四疋田地区) 県農林水産部	90	遺構なし。土器少量出土。
38-2	相可出張遺跡 (441-428)	多気郡多気町相可字 出張	相可高校部室建築 県教育委員会	4	土器多量出土。
170	奥ホリ遺跡 (441-125)	多気郡多気町牧字奥 ホリ	畜環 (多気勢和地区) 県農林水産部	120	ピット検出。
171	花ノ木遺跡 (441-124)	多気郡多気町牧字花 ノ木	畜環 (多気勢和地区) 県農林水産部	48	ピット検出。
172	浅間山北遺跡 (441-122)	多気郡多気町牧字祭 神	畜環 (多気勢和地区) 県農林水産部	36	遺構なし。土器少量出土。
173	川原街道遺跡 (新発見)	多気郡多気町牧字川 原街道	畜環 (多気勢和地区) 県農林水産部	42	ピット・土坑検出。
174	浅間山南遺跡 (441-121)	多気郡多気町牧字浅 間山	畜環 (多気勢和地区) 県農林水産部	24	遺構なし。土器少量出土。
175	祭神遺跡 (441-126)	多気郡多気町牧字中 街道	畜環 (多気勢和地区) 県農林水産部	48	遺構なし。土器少量出土。
176	茶屋ノ広遺跡 (444-45)	多気郡勢和村色太	国道368号線国補道路特殊 改良事業 県土木部	40	遺構・遺物なし。
177	物見坂遺跡 (新発見)	多気郡勢和村色太	伊勢自動車道多気トンネル 建設 日本道路公団	160	遺構なし。土師器片が少量出土。

178	アカリ遺跡 (444-25)	多気郡勢和村片野字 アカリ	畜環（多気勢和地区） 県農林水産部	90	ピット・溝等検出。
179	スサキ遺跡 (444-23)	多気郡勢和村片野字 スサキ	畜環（多気勢和地区） 県農林水産部	78	ピット検出。
180	ソウダ遺跡 (444-26)	多気郡勢和村片野字 ソウダ	畜環（多気勢和地区） 県農林水産部	42	
181	縁通庵遺跡 (444-24)	多気郡勢和村片野字 縁通庵	畜環（多気勢和地区） 県農林水産部	78	土坑・溝検出。
182	滝部遺跡 (登録不要)	多気郡大台町滝広	一般県道川合大宮線県単道 路改良事業 県土木部	42	遺構・遺物なし。
183	柳原遺跡 (443-32)	多気郡大台町柳原	一般県道相可瀬大台線県 単道路改良工事 県土木部	8	遺構・遺物なし。要試掘部分あり。
184	細淵遺跡 (登録不要)	多気郡宮川村細淵	国補通常砂防（細淵谷川） 県土木部	6	遺構・遺物なし。
185	茂原遺跡隣接地 (登録不要)	多気郡宮川村茂原	昂学園高校部室建築 県教育委員会	8	遺構・遺物なし。
186	立梅遺跡 (421-15)	飯南郡飯南町粥見	県道片野飯高線県単道路改 良工事 県土木部	136	土坑・ピット・中世墓の可能性 がある石組みを検出。室町時代の土 師器出土。事業地内遺跡範囲600 ㎡。
187	仮）赤井古墳 (登録不要)	伊勢市神田久志本町	伊勢高校運動場改修設備 県教育委員会	8	遺構・遺物なし。
46-2	高ノ御前遺跡 (203-113)	伊勢市有滝町字高ノ 御前	県営ほ場整備（伊勢北部地 区） 県農林水産部	88	ピット・土坑等検出。土器多量出 土。
188	松葉遺跡 (203-114)	伊勢市有滝町字松葉	県営ほ場整備（伊勢北部地 区） 県農林水産部	78	遺構・遺物なし。
189	郷垣外遺跡 (登録不要)	伊勢市有滝町字郷垣 外	県営ほ場整備（伊勢北部地 区） 県農林水産部	120	遺構なし。土器少量出土。
190	大方山遺跡 (203-159B)	伊勢市有滝町字大方 山	県営ほ場整備（伊勢北部地 区） 県農林水産部		ピット・土坑を検出。土師器出土。
191	有滝道遺跡	伊勢市東豊浜町	主要地方道伊勢松阪線県単 道路改良工事 県土木部	48	溝・ピットを検出。須恵器・土師 器・陶器片出土。事業地内、遺跡 範囲550㎡

49-2	登り遺跡 (新発見)	度会郡度会町火打石 字登り	中山間(小川郷上地区) 県農林水産部	24	ピット・溝検出。土師器出土。
192	中村遺跡 (470-)	度会郡度会町田口	県道伊勢大宮線交通安産対 策事業 県土木部	48	土師器小片が若干出土したが、攪 乱を受け、遺構なし。
193	大西遺跡 (470-15)	度会郡度会町牧戸	県道伊勢大宮線交通安産対 策事業 県土木部	48	土師器等の小片が若干出土したが、 遺構なし。
194	中通遺跡	度会郡度会町田口	主要地方道伊勢大宮線国補 道路交通安産対策事業 県土木部	30	陶器片が微量出土したが、遺構な し。
195	田口西沖遺跡	度会郡度会町田口	主要地方道伊勢大宮線国補 道路交通安産対策事業 県土木部	30	土坑・ピットを検出。事業地内、 工事立会範囲170㎡
196-1	里A遺跡 (未登録)	度会郡度会町鮎川字 里ほか	県宮ほ場整備事業(中川地 区) 県農林水産部	272	ピット・土坑・溝を検出。土師器 出土。
196-2	里A遺跡 (未登録)	度会郡度会町鮎川字 里ほか	ふるさと農道整備事業 (度会北部地区) 県農林水産部	32	土坑を検出。土師器出土。
197	仮)飯満遺跡 (登録不要)	度会郡南勢町飯満	五ヶ所港港湾海岸高潮対策 事業 県土木部	36	遺構・遺物なし。
198	(登録不要)	尾鷲市名柄町	国道311号線特殊改良工事 県土木部	20	戦後までの採掘石材搬出場。
199	大白遺跡 (542-1)	北牟婁郡海山町大白	熊野臨海公園整備事業公園 施設工事 県土木部	112	古墳時代の土師器・須恵器出土。 事業地内遺跡範囲4,000㎡。
200	道瀬遺跡 (541-12)	北牟婁郡紀伊長島町 道瀬	熊野臨海公園整備事業 県土木部	200	溝・ピットを検出。古墳時代の土 師器・須恵器が出土。事業地内遺 跡範囲2,300㎡。
201	和具遺跡 (542-12)	北牟婁郡海山町島勝	海岸環境(島勝地区) 県農林水産部	30	遺構なし。陶器出土。
202	(登録不要)	南牟婁郡御浜町栗恵・ 川瀬	県道御浜紀和線道路改良事 業 県土木部	176	遺構・遺物なし。
203	武士塚中世墓隣 接地 (登録不要)	上野市菖蒲池	一般国道368号線国補道路 改良工事 県土木部	50.8	遺構・遺物なし。

204	緑ヶ丘東町遺跡 隣接地 (登録不要)	上野市緑ヶ丘東町	上野商業高校部室建築 県教育委員会	16	遺構・遺物なし。
205	清水尻館跡 (206-627)	上野市下友生	主要地方道上野大山田線県 単道路改良工事 県土木部	24	遺構・遺物なし。要試掘範囲あり。
206 233	馬田B・C遺跡 (新規)	阿山郡阿山町馬田	県道上友田円徳院線県単道 路改良工事 県土木部	64	溝・ピットを検出。古墳時代の須 恵器・土師器、中世の土師器・瓦 器が出土。事業地内遺跡範囲400 ㎡。
207	小林遺跡 (登録不要)	阿山郡伊賀町愛田	国補通常砂防(愛田川) 県土木部	28	土師器・瓦器片が若干出土したが、 遺構なし。
208	道筋遺跡 (新発見)	名賀郡青山町伊勢路	県道伊賀青山線緊急地方道 路整備事業 県土木部	16	溝・土坑・ピットを検出。中世の 土師器・瓦器出土。事業地内遺跡 範囲400㎡。
209	中島遺跡 (新発見)	名賀郡青山町羽根字 中島	県営ほ場整備事業(羽根地 区) 県農林水産部	160	ピット・溝などを検出。縄文土器・ 須恵器・土師器などが出土。
56-2	西山遺跡 (新発見)	名賀郡青山町羽根字 西山	県営ほ場整備事業(羽根地 区) 県農林水産部	240	ピット・土坑を検出。瓦器出土。
57-2	中出向遺跡 (501-242)	名賀郡青山町羽根字 中出向他	県営ほ場整備事業(羽根地 区) 県農林水産部	416	ピット・溝・土坑などを検出。須 恵器・土師器・瓦器・陶器などが 出土。

各市町村担当分試掘調査・工事立会

No.	遺跡名 (台帳番号)	所在地	調査原因 (保護法関係文書番号) (費用負担)	調査面積 (㎡)	調査概要
211	安永城跡 (205-134)	桑名市大字安永十区割 1722番、1722番1	共同住宅 (H8.11.20教文第2551号) 事業者	756	遺構なし。近世陶磁器出土。
212-1	宇賀遺跡 (205-80)	桑名市大字蓮花寺字宇 賀350-1	共同住宅 (H8.12.27教文第2646号) 事業者	1,368	遺構遺物なし。
212-2	宇賀遺跡 (205-80)	桑名市大字蓮花寺字宇 賀395-1	宅地分譲 (H8.12.5教文第2457号) 事業者	593	遺構なし。近世陶磁器出土。
213	横長遺跡 (205-74)	桑名市大字額田字横長 546番地	共同住宅 (H8.9.17教文第2226号)	746	遺構なし。近世陶磁器出土。
214-1	桑名城遺跡 (205-100)	桑名市吉之丸	個人住宅	100	発掘予定。
-2	桑名城遺跡 (205-100)	桑名市吉之丸8番3・9	公園整備 (H8.10.31教文第2144号) 桑名市	993	柱穴検出。近世陶磁器等出土。
114-3	桑名城遺跡 (205-100)	桑名市三之丸	個人住宅 (H8.8.2教文第1818号)	74.6	工事立会。遺構なし。近世陶磁器 出土。
114-4	桑名城遺跡 (205-100)	桑名市三之丸	個人住宅 (H8.6.18教文第1668号)	68.3	工事立会。遺構遺物なし。
114-5	桑名城遺跡 (205-100)	桑名市三之丸	個人住宅	7.75	工事立会。遺構遺物なし。
114-6	桑名城遺跡 (205-100)	桑名市三之丸	個人住宅 (H8.8.16教文第1894号)	175	工事立会。遺構遺物なし。
215-1	桑名城下町遺跡 (205-99)	桑名市一色町	個人住宅	54.7	工事立会予定。
215-2	桑名城下町遺跡 (205-99)	桑名市一色町	個人住宅 (H8.10.14教文第2247号)	128	工事立会。遺構遺物なし。
215-3	桑名城下町遺跡 (205-99)	桑名市一色町	個人住宅 (H8.10.1教文第2337号)	88	工事立会。遺構遺物なし。
215-4	桑名城下町遺跡 (205-99)	桑名市外堀	個人住宅 (H8.7.25教文第1903号)	265	盛土内工事工事立会。遺構遺物な し。
215-5	桑名城下町遺跡 (205-99)	桑名市外堀	個人住宅 (H8.7.15教文第1686号)	132	盛土内工事工事立会。遺構遺物な し。
215-6	桑名城下町遺跡 (205-99)	桑名市萱町	個人住宅 (H8.10.1教文第2548号)	60.4	遺構遺物なし。
215-7	桑名城下町遺跡 (205-99)	桑名市京橋町	店舗兼住宅 (H8.8.29教文第2089号)	101.7	盛土内工事工事立会。遺構遺物な し。

215-7	桑名城下町遺跡 (205-99)	桑名市京橋町	店舗兼住宅 (H8.8.29教文第2090号)	102	盛土内工事工事立会。遺構遺物なし。
215-8	桑名城下町遺跡 (205-99)	桑名市京橋町	個人住宅 (H8.7.8教文第1676号)	82.3	工事立会。遺構遺物なし。
215-9	桑名城下町遺跡 (205-99)	桑名市京町	店舗兼住宅 (H8.12.27教文第2647号)	120	工事立会予定。
215-10	桑名城下町遺跡 (205-99)	桑名市元赤須賀	個人住宅 (H8.6.18教文第1674号)	97.2	工事立会。近世陶磁器出土。土間状遺構検出。
215-11	桑名城下町遺跡 (205-99)	桑名市元赤須賀	個人住宅	39.8	工事立会。遺構遺物なし。
215-12	桑名城下町遺跡 (205-99)	桑名市元赤須賀	個人住宅 (H8.7.26教文第1996号)	34.4	工事立会。遺構なし。近世陶磁器・甕出土。
215-13	桑名城下町遺跡 (205-99)	桑名市元赤須賀	個人住宅 (H8.7.15教文第1690号)	76.3	工事立会。遺構遺物なし。
215-14	桑名城下町遺跡 (205-99)	桑名市元赤須賀	個人住宅	95.3	盛土内工事工事立会。遺構遺物なし。
215-15	桑名城下町遺跡 (205-99)	桑名市三崎町	個人住宅 (H8.11.1教文第2338号)	233	盛土内工事工事立会。遺構遺物なし。
215-16	桑名城下町遺跡 (205-99)	桑名市三崎通	個人住宅	137.3	工事立会。遺構・遺物なし。
215-17	桑名城下町遺跡 (205-99)	桑名市新屋敷	個人住宅 (H8.7.15教文第1688号)	156	工事立会。近世貝層、土師器皿出土。
215-18	桑名城下町遺跡 (205-99)	桑名市新屋敷	個人住宅 (H8.6.21教文第1670号)	148	工事立会。遺構遺物なし。
215-19	桑名城下町遺跡 (205-99)	桑名市新屋敷	個人住宅 (H8.7.19教文第1816号)	55.3	盛土内工事工事立会。遺構遺物なし。
215-20	桑名城下町遺跡 (205-99)	桑名市清水町33番地	建売木造住宅 (H8.7.19教文第2087号) 事業者	448.9	遺構なし。近世陶磁器出土。
215-21	桑名城下町遺跡 (205-99)	桑名市船馬町	個人住宅 (H8.6.26教文第1678号)	96.47	工事立会。遺構遺物なし。
215-22	桑名城下町遺跡 (205-99)	桑名市大字中野502・503	共同住宅	1,015	保護措置書提出。
215-23	桑名城下町遺跡 (205-99)	桑名市鍛冶町	個人住宅	23.8	工事立会。遺構遺物なし。
215-24	桑名城下町遺跡 (205-99)	桑名市伝馬町	個人住宅 (H8.8.26教文第1822号)	157.1	工事立会。遺構遺物なし。
215-25	桑名城下町遺跡 (205-99)	桑名市内堀	個人住宅 (H8.7.26教文第1694号)	73.6	工事立会。遺構なし。瓦・甕出土。
215-26	桑名城下町遺跡 (205-99)	桑名市内堀27・28-1・28-2・29-1・30・31	診療所建設 (H8.10.18教文第2227号) 事業者	1,666	遺構なし。近世陶磁器出土。

215-27	桑名城下町遺跡 (205-99)	桑名市内堀	個人住宅 (H8.9.2教文第1899号)	107	盛土内工事工事立会。
215-28	桑名城下町遺跡 (205-99)	桑名市南魚町	個人住宅 (H8.8.16教文第1895号)	199.1	工事立会。遺構遺物なし。
215-29	桑名城下町遺跡 (205-99)	桑名市入江葎	個人住宅 (H8.12.11教文第2684号)	66.66	遺構なし。寛永通寶出土。
215-30	桑名城下町遺跡 (205-99)	桑名市片町	個人住宅 (H8.7.15教文第1684号)	143.3	立会調査。焼夷弾筒・瓦出土。遺構なし。
215-31	桑名城下町遺跡 (205-99)	桑名市本町46	倉庫及び社務所増設 (H8.6.28教文第1680号) 事業者	68.36	遺構なし。近世陶磁器出土。
215-32	桑名城下町遺跡 (205-99)	桑名市柳原	個人住宅 (H8.6.21教文第1672号)	123.8	盛土内工事工事立会。遺構遺物なし。
215-33	桑名城下町遺跡 (205-99)	桑名市柳原	個人住宅 (H8.12.20教文第2685号)	125.9	盛土内工事工事立会。遺構遺物なし。
215-34	桑名城下町遺跡 (205-99)	桑名市柳原	個人住宅(増築) (H8.10.14教文第2142号)	32.29	盛土内工事工事立会。遺構遺物なし。
215-35	桑名城下町遺跡 (205-99)	桑名市柳原	個人住宅	67.43	盛土内工事工事立会。遺構遺物なし。
215-36	桑名城下町遺跡 (205-99)	桑名市柳原89・90・91・ 92・92-1・156	事務所建設 (H8.10.7教文第2140号) 事業者	1,574	遺構なし。近世陶磁器出土。
216	元蔵遺跡 (205-120)	桑名市大字東金井	個人住宅 (H8.8.30教文第1897号)	441.3	盛土内工事工事立会。遺構遺物なし。
217	五反田貝戸遺跡 (205-42)	桑名市大字五反田字貝 戸1172番地地先	道路改良工事(拡幅工事)	51	遺構なし。近世陶磁器出土。
218-1	江場貝戸遺跡 (205-131)	桑名市大字江場字長折 483-1・2・3、482-1・2	駐車場及び資材置場 (H8.9.3教文第1891号) 事業者	2,020	遺構なし。近世陶磁器出土。
218-2	江場貝戸遺跡 (205-131)	桑名市大字大福字中野 524番地他	住宅団地 (H8.8.26教文第1682号)	2,182	遺構なし。近世陶磁器出土。
219	七和廃寺遺跡 (205-44)	桑名市大字森忠字笠坊 谷835番 他16筆	住宅団地造成 (H8.8.27教文第1902号) 事業者	1,503	遺構なし。近世陶磁器出土。
220	篠原遺跡 (205-113)	桑名市大字桑部字篠原	個人住宅 (H8.8.19教文第1820号) 事業者	187.8	工事立会。遺構なし。須恵器・土師器片出
221	中野遺跡 (205-133)	桑名市大字安永字九区 割1302-1・1304	共同住宅 (H8.12.5教文第2456号) 事業者	2,049	遺構なし。近世陶磁器出土。
222-1	能部南貝戸遺跡 (205-112)	桑名市大字能部字花貝 戸	個人住宅 (H8.12.27教文第2649号)	294.6	盛土内工事工事立会。遺構遺物なし。

222-2	能部南貝戸遺跡 (205-112)	桑名市大字能部字東谷 1327-1	事務所建設 (H8.10.1教文第2550号)	416.6	盛土内工事工事立会。遺構遺物なし。
223	能部北貝戸遺跡 (205-111)	桑名市能部字北貝戸	個人住宅 (H9.1.13教文第121号)	111.8	盛土内工事工事立会。遺構遺物なし。
3-3	上惣作遺跡 (321-69)	員弁郡北勢町大字阿下 喜	民間宅地造成 (H8.5.20教文第994号) 北勢町	10	山茶碗片等微量に出土。遺構なし。
224	東村遺跡 (321-45)	員弁郡北勢町大字東村 字今村	町道阿第93号線改良工事 (H9.1.28教文第206号) 北勢町		調査予定。
225	山川遺跡・菅野 遺跡 (202-206・207)	四日市市貝塚町字山川・ 荒起	変電所及び関連送電線路 建設 (H8.9.20教文第1985号) 中部電力株式会社	430	堅穴住居・柱穴・土坑・溝を検出。 弥生土器片・須恵器片・五輪塔の 一部出土。
226	泊山古墳群 1 号 墳 (202-307)	四日市市采女字上田	土地区画に伴う公園造成 工事 (H8.7.19教文第1534号) 事業者	24	遺構・遺物なし。
227	一ノ高丘遺跡 (202-384)	四日市市采女町字一ノ 高丘	営業所建設 (H8.7.24教文第1481号) 事業者	24	遺構・遺物なし。
228	宮ノ下遺跡 (202-532)	四日市市小古首 2 丁目	共同住宅建設 (H8.10.14教文第2049号) 事業者	64	遺構・遺物なし。
229-1	小方縄遺跡 (202-534)	四日市市大治田 3 丁目	共同住宅建設 (H8.10.14教文第2051号) 事業者	96	山茶碗・木製品出土。
229-2	小方縄遺跡 (202-534)	四日市市大治田 3 丁目	共同住宅建設 事業者	48	遺構・遺物なし。
230	北之脇遺跡 (202-405)	四日市市大矢地町字北 之脇	一般国道 1 号北勢バイパ ス建設 (H8.7.1教文第1665号) 建設省	352	遺構・遺物なし。
231	羽津広遺跡 (202-336)	四日市市大矢地町字北 之脇・羽津広	一般国道 1 号北勢バイパ ス建設 (H8.7.1教文第1666号) 建設省	440	遺構・遺物なし。
232	茶臼山古墳群 1 号墳・3号墳 (202-185・187)	四日市市泊山村字盆ノ 井	宅地分譲	未定	試掘予定。
233	黒石原古墳 (341-13)	三重郡菰野町根の平23 5-18	住宅 菰野町	215	遺構・遺物なし。
63-2	岡太神社遺跡 (207-1182)	鈴鹿市岡田 1 丁目	住宅 鈴鹿市	16	ピット・土坑を検出。

63-3	岡太神社遺跡 (207-1182)	鈴鹿市弓削2丁目455-2	宅地分譲 (H8.9.10教文第2260号) 鈴鹿市	38	本調査実施。
234	加佐登遺跡 (207-7)	鈴鹿市加佐登1丁目	住宅 (H8.5.13教文第1255号) 鈴鹿市	9	遺構・遺物なし。
235-1	岸岡町III遺跡 (207-889)	鈴鹿市岸岡町見当山26 15ほか	公園 (H8.11.1教文第2265号) 鈴鹿市	95	平成9年度本調査予定。
235-2	岸岡町III遺跡 (207-889)	鈴鹿市岸岡町南山越29 85	共同住宅 鈴鹿市	10	須恵器片出土。
236-1	岩ヶ谷遺跡 (207-810)	鈴鹿市平野町岩ヶ谷	農業倉庫 (H8.6.12教文第1524号) 鈴鹿市	4	土坑検出。土師器出土。
236-2	岩ヶ谷遺跡 (207-810)	鈴鹿市平野町岩ヶ谷	住宅 鈴鹿市	3.5	ロクロ土師器出土。
237	居敷遺跡 (207-1169)	鈴鹿市津賀町居敷1042 ほか	耕地整理 (H8.10.8教文第2677号) 鈴鹿市	15	竪穴住居検出。土師器出土。
65-2	狐穴遺跡 (207-1234)	鈴鹿市西条3丁目1137 -1	宅地造成 鈴鹿市	120	本調査実施。
238-1	国府A遺跡 (207-504)	鈴鹿市国府町西之条	住宅 (H8.5.1教文第 号) 鈴鹿市	20	遺構・遺物なし。
238-2	国府A遺跡 (207-504)	鈴鹿市国府町西之条	住宅 (H8.4.12教文第925号) 鈴鹿市	17	現代溝検出。
239	国府城跡 (207-368)	鈴鹿市国府町	住宅 鈴鹿市	1	遺構・遺物なし。
240-1	国分遺跡 (207-838)	鈴鹿市国分町	住宅 (H8.6.20教文第1435号) 鈴鹿市	13.2	柱穴検出。瓦・山茶碗出土。
240-2	国分遺跡 (207-838)	鈴鹿市国分町北條	住宅 鈴鹿市	6.5	瓦・山茶碗出土。
241	国分東遺跡 (207-539)	鈴鹿市国分町	住宅 (H8.7.30教文第2056号) 鈴鹿市	10.5	中世柱穴・溝検出。
242	国分南遺跡 (207-849)	鈴鹿市国分町南浦	農業関連 鈴鹿市	150	平成9年度本調査予定。
243	国分尼寺跡 (207-362)	鈴鹿市国分町谷上	農業関連 鈴鹿市		平成9年度本調査予定。
108-2	国分北遺跡 (207-536)	鈴鹿市国分町	住宅 鈴鹿市	4.5	遺構・遺物なし。

108-3	国分北遺跡 (207-536)	鈴鹿市国分町	住宅 (H8.5.13教文第2154号) 鈴鹿市	8	遺構・遺物なし。
244	砂山遺跡 (207-887)	鈴鹿市岸岡町砂山	住宅 (H8.4.5教文第858-1号) 鈴鹿市	5	中世陶器片出土。
67-4	三宅神社遺跡 (207-495)	鈴鹿市国府町西木曾田 3694-1	土地造成 (H8.5.1教文第1165号) 鈴鹿市	21	土師器・須恵器出土。
67-5	三宅神社遺跡 (207-495)	鈴鹿市国府町西木曾田 3694-6	小売店舗 鈴鹿市	31	本調査実施。
67-6	三宅神社遺跡 (207-495)	鈴鹿市国府町中木曾田	学習塾 (H8.11.8教文第2644号) 鈴鹿市	20	本調査実施。
68-2	山の原遺跡 (207-532)	鈴鹿市上田町	住宅 (H8.4.8教文第922号) 鈴鹿市	6	遺構・遺物なし。
68-3	山の原遺跡 (207-532)	鈴鹿市上田町海戸田	住宅 (H8.9.13教文第1962号) 鈴鹿市	1.5	遺構・遺物なし。
68-4	山の原遺跡 (207-532)	鈴鹿市上田町赤土	住宅 鈴鹿市	3.5	土師器片出土。
69-2	山辺瓦窯跡 (207-1236)	鈴鹿市山辺町232	神社 (H8.10.16教文第2132号) 鈴鹿市	26.5	遺構・遺物なし。
245-1	上箕田遺跡 (207-164)	鈴鹿市上箕田1丁目	住宅 (H8.9.13教文第1961号) 鈴鹿市	10.5	中世柱穴・土坑検出。
245-2	上箕田遺跡 (207-164)	鈴鹿市上箕田1丁目	農業倉庫 (H8.11.8教文第2329号) 鈴鹿市	3	遺構・遺物なし。
245-3	上箕田遺跡 (207-164)	鈴鹿市上箕田1丁目	住宅 鈴鹿市	5	弥生土器片出土。
245-4	上箕田遺跡 (207-164)	鈴鹿市上箕田1丁目	住宅 (H8.9.27教文第2057号) 鈴鹿市	2.5	土師器・近世陶器出土。
70-2	須賀遺跡 (207-166)	鈴鹿市須賀1丁目	住宅 鈴鹿市	15	本調査実施。
70-3	須賀遺跡 (207-166)	鈴鹿市須賀1丁目	住宅 (H8.5.13教文第1348号) 原因者	3	遺構・遺物なし。
70-4	須賀遺跡 (207-166)	鈴鹿市須賀1丁目	住宅 鈴鹿市	6.5	土器片出土。
70-5	須賀遺跡 (207-166)	鈴鹿市須賀2丁目	住宅 鈴鹿市	2	遺構・遺物なし。

246-1	西ノ野遺跡 (207-160)	鈴鹿市国府町	住宅 (H8.5.1教文第1163号) 鈴鹿市	5	攪乱土坑検出。
246-2	西ノ野遺跡 (207-160)	鈴鹿市国府町牛落4344	資材置場 鈴鹿市	103	溝・竪穴住居・土坑検出。
247	西浦遺跡 (207-1027)	鈴鹿市上田町五反田	住宅 (H8.11.21教文第2642号) 鈴鹿市	9	遺構・遺物なし。
9-4	石薬師東遺跡 (207-727)	鈴鹿市石薬師町452-10 7	資材置場 (H8.12.18教文第2680号) 鈴鹿市	9	遺構・遺物なし。
248	大新田遺跡 (207-560)	鈴鹿市野町葵	住宅 原因者	22.8	遺構・遺物なし。
72-2	竹野1丁目遺跡 (207-1138)	鈴鹿市竹野1丁目	住宅 (H8.12.3教文第2679号) 鈴鹿市	7.4	遺構・遺物なし。
72-3	竹野1丁目遺跡 (207-1138)	鈴鹿市竹野1丁目11	造成 (H8.12.3教文第2679号) 鈴鹿市	34.7	溝・柱穴・土坑検出。
72-4	竹野1丁目遺跡 (207-1138)	鈴鹿市竹野1丁目13・ 14	宅地造成 (H8.7.1教文第1869号) 鈴鹿市	62	本調査実施。
73-2	長者屋敷遺跡 (207-363)	鈴鹿市広瀬町字丸内26 83ほか	道路 (H8.5.8教文第860号) 鈴鹿市	123	本調査実施。
249	長畑遺跡 (207-947)	鈴鹿市御園町字長畑	農業倉庫 (H8.12.13教文第2689号) 鈴鹿市	1.5	土師器・須恵器出土。
250	長法寺遺跡 (207-273)	鈴鹿市長法寺町権現74 6-1ほか	老人福祉施設 (H8.11.5教文第2327号) 事業者	211	平成9年度本調査実施。
251	塚腰遺跡 (207-711)	鈴鹿市郡山町	住宅 (H8.11.1教文第2261号) 鈴鹿市	2	飛鳥時代竪穴住居検出。
74-3	天王遺跡 (207-873)	鈴鹿市岸岡町577-4	道路 (H8.9.5教文第1874号) 鈴鹿市	58.4	本調査実施。
74-4	天王遺跡 (207-873)	鈴鹿市岸岡町577-4	道路 (H8.6.10教文第1496号) 鈴鹿市	18	本調査実施。
74-5	天王遺跡 (207-873)	鈴鹿市岸岡町589-2	病院 原因者	100	本調査実施。
74-6	天王遺跡 (207-873)	鈴鹿市岸岡町天王3132 -4ほか	宅地造成 事業者	500	平成9年度本調査実施。

252	南原永 I 遺跡 (207-1056)	鈴鹿市南若松町山之腰	住宅 (H8.10.15教文第2220号) 鈴鹿市	9	遺構・遺物なし。
253	南東大野遺跡 (207-1019)	鈴鹿市南東大野5141-3	店舗 (H8.10.1教文第2645号) 鈴鹿市	13	遺構・遺物なし。
254	磐城山遺跡 (207-16)	鈴鹿市木田町字磐城山 2253	農地改良 鈴鹿市	53	竪穴住居・溝・土坑多数検出。平成9年度本調査予定。
75-2	富士遺跡 (207-952)	鈴鹿市平野町尼の橋11 51-4	共同住宅 鈴鹿市	50	本調査実施。
255	平田遺跡 (207-386)	鈴鹿市平田本町1丁目	住宅 (H8.4.24教文第762号) 鈴鹿市	3	溝を検出。土師器・山茶碗出土。
256	平野遺跡 (207-158)	鈴鹿市平野町花林	住宅 (H8.7.1教文第1778号) 鈴鹿市	5	土師器・須恵器出土。
257	北若松遺跡 (207-237)	鈴鹿市若松東3丁目52 0-1	住宅分譲 (H8.5.1教文第1167号) 鈴鹿市	7	中世流路検出。縄文土器出土。
258	野起遺跡 (207-910)	鈴鹿市白子町野起	住宅 (H8.10.1教文第2530号) 鈴鹿市	10.5	遺構・遺物なし。
259	林崎遺跡 (207-1178)	鈴鹿市林崎1丁目961 ～963	宅地分譲 (H8.4.5教文第858-2号) 鈴鹿市	7	遺構・遺物なし。
260	周知外 (登録不要)	鈴鹿市伊船町北下ノ割 2177-1	店舗 鈴鹿市	27	遺構・遺物なし。
261	周知外 (登録不要)	鈴鹿市三宅町字芯比14 08ほか	道路建設 鈴鹿市	7	遺構・遺物なし。
262	周知外 (登録不要)	鈴鹿市若松北2丁目11 37ほか	宅地開発 鈴鹿市	4	土師器・須恵器出土。
263	忍山遺跡	亀山市野村4丁目	市道建設事業 (H8.5.1亀教文第25号) 亀山市	17.5	遺構・遺物なし。
264	亀山城跡	亀山市西丸町字東丸53 0-5	公園造成事業 (H8.9.12亀教文第67号) 亀山市	265	亀山城跡外堀にあたる。土師器皿・丸瓦出土。
265	亀山城跡	亀山市東丸町字東丸53 0-5	市駐車場造成事業 (H8.9.20亀教文第72号) 亀山市	27	亀山城跡外堀にあたる。遺物なし。
266	仮) 西田端遺跡 (登録不要)	津市一身田豊野1171-1	鉄塔及び無線装置建設 (H8.4.25教文第777号) 事業者	16	遺構なし。弥生土器・須恵器・灰釉陶器等の破片が少量出土。

79-2	専修寺境内遺跡 (201-844)	津市一身田町字高田	宗務院建設 (H8.11.18教文第2374号) 事業者	29	中～近世の土師器皿・焙烙・染付磁器・瓦等が出土。
267	大古曾遺跡 (201-11)	津市一身田大古曾字山ノ口	畑地造成 (H8.8.8教文第1590号) 事業者	48	遺構・遺物なし。
268	谷口1号墳 (201-447)	津市高野尾町字谷口	宅地開発 (H8.4.4教文第591号) 事業者	10	自然地形。
269	仮) 谷口4号墳 (登録不要)	津市高野尾町字谷口	宅地開発 (H8.4.4教文第591号) 事業者	10	自然地形。
270	北山2号墳 (201-444)	津市高野尾町字竿白	宅地開発 (H8.4.4教文第591号) 事業者	8	自然地形。
271	仮) 北山3号墳 (登録不要)	津市高野尾町字竿白	宅地開発 (H8.4.4教文第591号) 事業者	16	自然地形。
272	仮) 北山4号墳 (登録不要)	津市高野尾町字竿白	宅地開発 (H8.4.4教文第591号) 事業者	10	自然地形。
273	笠取A遺跡 (201-360)	津市大字半田字朝日	共同住宅建設 (H8.12.18教文第2586号) 事業者	32	遺構は確認できなかったが、開発区域の一部で包含層を確認。平安時代の遺物が中心。
78-2	四ツ野C遺跡	津市高茶屋小森町字四ツ野	宅地造成 (H8.4.24教文第422号) 事業者	188	遺構なし。中～近世遺物少量出土。
274	仮) 中山遺跡 (登録不要)	津市高茶屋小森町字中山1708-9ほか1筆	宅地開発 事業者	64	遺構なし。土師器細片数点出土。
275	仮) 中沢遺跡 (登録不要)	津市栗真小川町字中沢700-1ほか3筆	ガソリンスタンド建設 (H8.4.18教文第720号) 事業者	48	遺構なし。陶磁器破片数点出土。
276	吾妻遺跡 (新発見) (384-744)	安芸郡安濃町大字荒木字吾妻	土砂採取 (H8.8.12教文第1556号) 丸中商事株式会社	80	溝・土坑・柱穴・貯蔵穴を検出。上下2層に遺構面が存在していた。土師器・山茶碗・瓦質土器・砥石・ドングリ等が出土。
277	前野A・B遺跡 (384-677・678)	安芸郡安濃町大字前野字里	宅地造成 (H8.7.29教文第 号) 株式会社トーカイ	132	溝・土坑・柱穴を検出。土師器・山茶碗・陶器・石器(鏃)等が出土。
278	仮) 野口田端線内遺跡 (384-)	安芸郡安濃町大字草生字船倉	野口田端線改良工事 安濃町	12	遺構・遺物なし。
279	パークストリート事業地内遺跡 (384-)	安芸郡安濃町大字東観音寺字北浦	パークストリート建設	24	江戸時代以降の瓦溜を検出。瓦出土。

89-2	羽根遺跡 (204-642)	松阪市駅部田町羽根	宅地造成 事業者	28	遺構・遺物が出土。本調査。
280	杉田遺跡 (204-)	松阪市下村町杉田	道路建設 事業者	16	遺構・遺物なし。
281	上村遺跡 (204-)	松阪市下村町北浦	宅地造成 事業者	10	遺構・遺物なし。
282		松阪市御麻生園町	道路拡張 松阪市	14	遺構・遺物なし。
283		松阪市山添町真土	砂利採取 事業者	36	遺構・遺物なし。
284		松阪市豊原町	宅地造成 事業者	6	遺構・遺物なし。
285	仮) 昼ノ野古墳 (登録不要)	多気郡明和町大字上野 字昼ノ野	削平工事 明和町	5	自然地形。
286	ねむり地藏遺跡 (441-102)	多気郡多気町大字野中 字山口	送電要鉄塔建設 (H8.8.2教文第1999号) 多気町・事業者	80	遺物・遺構なし。
287	下ノ平遺跡 (445-)	多気郡宮川村本田木屋	宮川村中山間地域総合整備 事業(ほ場整備) (H8.5.28教文第1511号)	336	ピット・土坑・小溝を検出。チャー ト剥片・土師器鍋片出土。
288	磯田畑遺跡 (421-48)	飯南郡飯南町大字深野 小字磯田畑	個人住宅建設 飯南町	20.5	土師器片等わずかに出土。遺構な し。
289	袴田遺跡 (203-88)	伊勢市磯町字コウダ	宅地開発 事業者	96	遺構・遺物なし。
290	土畑遺跡 (203-237) (登録不要)	伊勢市佐八町字土畑	砂利採集 事業者	144	遺構・遺物なし。
291	東山遺跡 (203-139)	伊勢市東大淀町字東山	店舗開発 (H8.8.23教文第1932号) 事業者	80	遺構・遺物なし。
292	上ノ山古墳 (461-56)	度会郡玉城町勝田字上 ノ山	宅地造成 (H8.8.22教文第2067号) 事業者	20	遺構・遺物なし。
293	田丸城跡 (461-214)	度会郡玉城町田丸114 の1	芝生広場造成工事 (H8.6.3教文第1260号) 玉城町	203	トレンチ調査。濠1条検出。
294-1	山田遺跡 (468-2)	度会郡御園村大字王中 島字大堀152-1他26筆	店舗建設 事業者	112	中世土器片若干出土。出土層その ものが生活層とは認められない。
294-2	山田遺跡 (468-2)	度会郡御園村大字長屋 2120他	店舗建設 事業者	128	中世土器片若干出土。遺物包含層、 その他は確認されず。
295	ニツ峠窯跡近接 地 (206-406)	上野市依那具字ニツ峠 ほか	市道道路改良 (H8.4.15教文第764号) 上野市	154	遺構・遺物なし。

296	高畑遺跡 (206-972)	上野市羽根字ミノノ尾	店舗建築 (H8.4.11教文第1055号) 事業者	20	遺構・遺物なし。
297	城之越遺跡近接地 (206-1130)	上野市古郡・比土	農道舗装 (H8.9.24教文第2061号) 上野市	10	中世の遺物包含層あり。遺構なし。
97-1	御墓山窯跡 (206-1130)	上野市佐那具字中坂	工場増設 事業者	42	灰原確認。本調査。
298	高野遺跡 (206-941)	上野市佐那具町字高野	倉庫建設 事業者	36	中世の遺物包含層があるが、遺構なし。
299	城山堡近接地 (206-471)	上野市治田字打向	無線基地 (H8.7.8教文第1327号) 事業者	22	遺構・遺物なし。
300	新開遺跡 (206-649)	上野市西明寺字新開	倉庫建設 (H8.6.21教文第1224号) 事業者	22	粘土採掘のため攪乱。
301	仮) 平野蔵垣内 遺跡 (登録不要)	上野市平野蔵垣内	砂利採取 事業者	60	遺構・遺物なし。
302	仮) 緑ヶ丘本町 遺跡 (登録不要)	上野市緑ヶ丘本町	宅地造成 (H8.12.10教文第2513号) 事業者	45	近世末～近代の遺物包含層あり。 遺構なし

III. 埋蔵文化財保護体制の充実

1. 各種会議

〔三重県埋蔵文化財担当者会議〕

当埋蔵文化財センターのほか、県文化芸術課・斎宮歴史博物館及び市町村の埋蔵文化財担当者による技術研修や情報交換を目的として、本年度は次の4回を開催した。

	開催日	場所	内容
第1回	平成8年4月26日	斎宮歴史博物館講堂	<ul style="list-style-type: none"> ・平成8年度の事業予定について ・講演 「古墳（文化財）と町づくり」 京都府加悦町教育委員会 佐藤晃一氏
第2回	平成8年7月12日	鈴鹿市立図書館 視聴覚室	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村及び県の現状と課題 ・調査報告 <ul style="list-style-type: none"> ①安濃津柳山遺跡 三重県埋蔵文化財センター 主事 船越重伸 ②貝蔵遺跡 嬉野町教育委員会 和気清章 ③粥見井尻遺跡 三重県埋蔵文化財センター 主事 中川 明 ・遺跡見学 狐塚・木田坂上遺跡（鈴鹿市教育委員会） 石薬師東古墳群（三重県埋蔵文化財センター）
第3回	平成8年10月14日	サンヒルズ安濃 保健福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村及び県の現状と課題 ・テーマ研究 <ul style="list-style-type: none"> ①県内城館調査の概観 三重県埋蔵文化財センター 技師 穂積裕昌 ②北勢の城館 桑名市教育委員会 斎藤 理 ③伊賀の中世城館 三重県埋蔵文化財センター 主事 森川常厚 ④美杉村多気遺跡群の調査 三重県埋蔵文化財センター 主事 竹田憲治 ⑤津市内の中世城館調査 津市教育委員会 中村光司 ⑥紀和町赤木城の調査 三重県埋蔵文化財センター 主事 森川幸雄 ・講演 「中世城郭研究の現状と三重の城館」 国立歴史民俗博物館 千田嘉博氏

第4回	平成9年2月7日	サンライフ松阪 2階大会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村及び県の現状と課題（平成9年度の展望） ・平成8年度研修（奈文研等）報告 <ul style="list-style-type: none"> ①保存処理課程 津市教育委員会 中村光司 ②写真課程 三重県埋蔵文化財センター 清水弘之 ③報告書作成課程 三重県埋蔵文化財センター 片岡 博 ・今年度県内重要遺跡報告 <ul style="list-style-type: none"> ○粥見井尻遺跡 三重県埋蔵文化財センター 西出 孝・中川 明 ○山辺瓦窯跡 鈴鹿市教育委員会 杉立正徳 ○山奥遺跡 四日市市教育委員会 清水政宏 ○中の坊遺跡 三重県埋蔵文化財センター 伊藤裕之 ○安濃津遺跡群の 三重県埋蔵文化財センター 調査成果 伊藤裕偉 ・発掘調査に係るデータベースシステムについて ・松阪市文化財センター見学
-----	----------	-------------------	--

〔三重県埋蔵文化財連絡調整会議〕

目的 県及び市町村の埋蔵文化財保護行政における諸問題について協議・情報交換を行うとともに長期計画・展望について意見交換を行う。

日時 第1回 平成8年11月20日（水） 午後1時～午後4時

場所 吉田山会館 第301会議室

内容 ・東海ブロック（三重・愛知・岐阜県）発掘調査積算基準作成作業の終了とその報告。
・発掘調査等にかかる県・市町村教育委員会の業務分担等について。
・その他

〔その他の会議〕

全国公立埋文協などが主催する会議・研修会に職員を派遣し、県外他機関との交流や技術研修を行っている。今年度は次の会議等に参加した。

名 称	内 容	期 日	場 所	出 席 者
東海3県・名古屋市文化財主幹課長会議	発掘調査経費積算基準の作成 その他	4月26日	愛知県自治センター	新田 洋
第1回東海3県・名古屋市埋蔵文化財担当者連絡会議	調査内容基準 調査経費試算結果 その他	5月17日	名古屋市中区	新田 洋 前川 嘉宏 森川 常厚

平成8年度全国公立埋文協 役員会・総会	平成8年度事業計画 その他	5月23・24日	兵庫県神戸市	新田 洋 清水 正明
第2回東海3県・名古屋市 埋蔵文化財担当者連絡会議	調査経費試算比較 調査基準について その他	6月21日	愛知県自治センター	新田 洋 前川 嘉宏 森川 常厚
第4回東海3県・名古屋市 埋蔵文化財担当者連絡会議	調査歩掛りの整理 調査内容基準 その他	8月23日	名古屋市	新田 洋 前川 嘉宏 森川 常厚
全国公立埋文協第9回全国 研修会	遺跡の探査法	10月17・18日	富山市千歳町	清水 正明 竹田 憲治
平成8年度第2回全国公立 埋文協役員会	平成9年度事業計画 その他	11月7・8日	神奈川県横浜市	山澤 義貴 新田 洋
東海3県・名古屋市文化財 主幹課長会議	埋蔵文化財発掘調査 基準の取りまとめ	11月25日	愛知県自治センター	新田 洋

2. 埋蔵文化財発掘技術者研修

〔職員研修〕

職員の技術的向上を目的に、奈良国立文化財研究所が実施する埋蔵文化財発掘調査技術者研修と奈良国立文化財研究所埋蔵文化財センターが実施する埋蔵文化財発掘技術専門研修を随時受講させている。

内 容	実 施 機 関	期 間	受講者
埋蔵文化財発掘技術者研修	奈良国立文化財研究所	平成8年6月3日～8月30日	松葉和也
埋蔵文化財発掘技術者研修	奈良国立文化財研究所	〃 9月2日～11月29日	中川 明
専門研修『文化財写真課程』	奈良国立文化財研究所	〃 8月20日～9月11日	清水弘之
専門研修『報告書作成課程』	奈良国立文化財研究所	〃 9年1月8日～1月17日	片岡 博

〔埋蔵文化財発掘技術者研修（教員研修）〕

昭和42年度以来県下の学校教員を対象として、埋蔵文化財の発掘調査等についての専門的知識と技術の習得を目的とする研修事業を実施している。昭和54年度以降期間1カ年の研修となり、本年度は次の3名が県埋蔵文化財センター及び県内発掘調査現場において研修を行った。これまで昭和54年度から本年度までに68名が研修を終了した。

平成8年度研修生

前川 明男	県立津東高等学校
林 義己	県立杉の子養護学校
岡 聡	東員町立城山小学校

平成8年度研修内容

月	研 修 内 容
4	・研修ガイダンス ・2次整理研修Ⅰ・Ⅱ ・室内講義Ⅰ・Ⅱ ・自主研修
5	・発掘調査実習(曾祢崎遺跡 ヲノ坪遺跡 窪田大垣内遺跡 ほか) ・試掘調査実習
6	・ // (曾祢崎遺跡 ヲノ坪遺跡 石薬師東古墳群 ほか)
7	・ // (曾祢崎遺跡 ヲノ坪遺跡 石薬師東古墳群 ほか)
8	・ // (曾祢崎遺跡 粥見井尻遺跡 石薬師東古墳群 ほか)
9	・ // (里中遺跡 粥見井尻遺跡 石薬師東古墳群 ほか)
10	・ // (野田・研山遺跡 粥見井尻遺跡 石薬師東古墳群 ほか)
11	・ // (野田・研山遺跡 粥見井尻遺跡 石薬師東古墳群 ほか)
12	・ // (粥見井尻遺跡 内垣外遺跡 石薬師東古墳群 ほか)
1	・分布調査実習 ・試掘調査実習
2	・報告書作成実習 ・分布調査実習 ・試掘調査実習 ・室内講義Ⅲ
3	・報告書作成実習 ・試掘調査実習

〔室内講義内容〕

月 日	内 容	担 当 者
〔室内講義Ⅰ〕		
4. 10	埋文センターの組織と機能 遺跡の調査と方法 埋蔵文化財の保護行政と発掘調査 遺物の整理と報告書	山澤義貴(埋蔵文化財センター) 吉水康夫(//) 新田 洋(//) 山田 猛(//)
〔室内講義Ⅱ〕		
4. 11	遺跡からみた南勢地方の歴史	森川常厚(//)
4. 12	遺跡からみた北勢地方の歴史	清水弘之(//)
4. 18	斎宮と博物館業務 斎宮の調査 遺跡からみた伊賀地方の歴史	天野秀昭(斎宮歴史博物館) 野原宏司(//) 穂積裕昌(埋蔵文化財センター)
4. 19	遺跡見学(伊賀地方)	穂積裕昌(//)
4. 22	旧石器・縄文 弥生・古墳 古代 中世	森川幸雄(//) 穂積裕昌(//) 竹田憲治(//) 伊藤裕偉(//)
〔室内講義Ⅲ〕		
2. 12	石器 縄文土器 弥生土器 古墳時代の土師器	竹内英昭(//) 森川幸雄(//) 竹田憲治(//) 米山浩之(//)
2. 13	飛鳥～平安時代の土師器 中世の土師器 須恵器 緑釉陶器・灰釉陶器	森川常厚(//) 伊藤裕偉(//) 服部芳人(//) 杉谷政樹(//)
2. 14	山茶碗・瓦器 中近世陶磁器 埴輪と祭祀遺物 遺物写真	前川嘉宏(//) 日栄智子(//) 穂積裕昌(//) 本堂弘之(//)

〔埋蔵文化財発掘調査技術町村職員研修〕

町村教育委員会の職員を対象として埋蔵文化財発掘調査技術を研修し、文化財保護行政に資するための研修を実施している。本年度は次の2件を実施した。

所属・氏名	種 別	内 容	期 間
望月 和光 (関町教育委員会)	講座 II	発掘調査の立案と実習、遺構の実測と写真撮影の実習 関宿跡（中町地区）	平成8年10月1日～12月27日

3. 埋蔵文化財保護等に関する指導・協力

依 頼 者	内 容	期 日
多度町教育委員会	埋蔵文化財詳細分布調査の協力	4月1日～3月31日
静岡大学情報学部社会学科	「土偶情報の高次学術応用に関する実証的研究」の研究協力	4月1日～3月31日
多度町教育委員会	埋蔵文化財詳細分布調査打合せ会に出席	4月13日
紀和町教育委員会	遺跡整備に伴う指導委員会に出席	6月6日・7日
上野市教育委員会	城之越遺跡保存整備指導委員会に出席	6月12日
三重県教育委員会	三重県センター博物館（仮称）資料委員の就任	
三重県教育委員会	三重県センター博物館（仮称）資料委員説明会に出席	6月21日
宮川村教育委員会	埋蔵文化財取り扱いの協議に出席	6月27日
玉城町教育委員会	田丸城跡トレンチ調査の指導	7月1日～7月10日
宮川村教育委員会	下ノ平遺跡の試掘調査に係る指導	7月2日
飯田市教育委員会	埋蔵文化財の発掘調査に係る指導	7月24日・25日
安濃町教育委員会	歴史講座の講師	7月27日
津地区明るい社会づくりの会	シンポジウムの講師	7月31日
美杉村教育委員会	多気北畠氏遺跡発掘調査の指導	7月以降
津のルーツを探る会	シンポジウムの講師	8月2日
紀和町教育委員会	史跡赤木城及び田平子峠刑場跡整備に伴う指導	8月8日・9日
三重県生活文化部学事課	「三重県史」編纂担当者会議に出席	8月20日
多気北畠氏遺跡指導委員会	調査指導委員会に出席	9月13日
多度町教育委員会	詳細分布調査打合せ会に出席	9月16日
玉城町教育委員会	田丸城跡整備検討委員会に出席	9月21日
嬉野町教育委員会	文化財保護委員会に出席	10月11日
鈴鹿市教育委員会	発掘調査指導委員会に出席	10月15日
三重県生活文化部学事課	「三重県史」編纂資料調査に出席	10月16日・17日
松阪市立漕代幼稚園	「遺跡のお話」の講師	11月20日
飯南町教育委員会	「井尻遺跡を考える会」に出席	12月2日
嬉野町教育委員会	嬉野町史編纂準備委員会に出席	12月3日
斎宮歴史博物館	斎宮跡調査研究指導委員会に出席	12月5日
二見町教育委員会	遺跡整備計画に係る協議に出席	12月6日
北勢町教育委員会	文化財調査に係る協議に出席	1月9日
四日市市立博物館	資料委員会に出席	1月20日
奈良国立文化財研究所	埋蔵文化財発掘技術者専門研修の講師	1月29日・30日
みえ社会保険センター	社会保険大学講座の講師	2月10日
帝塚山考古学研究所	シンポジウムの講師	3月2日

平成8年度埋蔵文化財発掘技術者研修実施要項

1. 目的

発掘調査および保存についての専門的知識と技術の習得に務めようとする者を、三重県埋蔵文化財センターにおいて研修を実施し、埋蔵文化財の保護体制の強化に資することを目的とする。

2. 主催

三重県教育委員会

3. 担当

三重県埋蔵文化財センター

4. 期間

平成8年4月1日～翌年3月31日までの12か月間

5. 場所

- ・多気郡明和町大字竹川 三重県埋蔵文化財センター
- ・県内各発掘調査現場

6. 人員

若干名

7. 参加資格

- (1) 県内の公立小学校・中学校・高等学校の教員のうちで、原則として大学において考古学・歴史学を専攻、もしくは発掘調査の経験を有する者。
- (2) 健康で現場作業に従事することのできる者で、原則として昭和36年4月以降生まれである者。

8. 研修内容

(1) 講義

- 総論 ・文化財の保護
- 各論 ・文化財保護法
 - ・史跡および埋蔵文化財保護の現状
 - ・発掘調査方法
 - 調査計画、墳墓・集落・生産所・窯・宮殿・官衙・寺院跡の調査
 - ・遺物調査方法
 - 実測原理、土器・土製品・石器・木製品・瓦の観察と整理、人骨・動植物遺体の調査
 - ・関係学概説
 - 建築構造、測量、保存科学、文献史学
 - ・報告書作成方法 等

- (2) 実習 ・発掘調査実習、測量実習、遺構実測実習、写真撮影実習、遺物保存処理実習等

9. 講師

三重県埋蔵文化財センター職員ほか

10. その他

- (1) 研修者の出張旅費は、県の旅費規程にしたがって支給する。
- (2) 研修期間中は、当該学校に対し常勤講師の補充がなされる予定である。
- (3) 研修を修了した者には、修了証書を交付する。

平成 8 年度 研修年間計画概要

内 容	月											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
室内講義 I 室内講義 II	— —											
基本実習	— —	— —										
発掘調査	調査計画立案法 (実習)	—										
	調査準備法 (実習)	—										
	遺構検出法 (実習)	—										
	遺構写真法 (実習)	—										
	遺構実測法 (実習)	—										
分布調査									—			
試掘調査										—		
室内講義 III											—	
報告書作成	遺物整理法 (実習)									—		
	遺構整理法 (実習)									—		
	記述原理 報告書編集法 (実習)									—		
施設・主要遺跡見学	—		—						—		—	
研修場所	埋蔵文化財センター他									埋蔵文化財センター他		

埋蔵文化財発掘技術町村職員研修実施要項

1. 目的

この要項は、各町村において文化財保護行政を担当する者に対して、埋蔵文化財の発掘調査に関する専門的知識と技術について研修（以下「研修」という。）を行うことにつき、必要な事項を定めるものとする。

2. 研修の主体

研修は、三重県埋蔵文化財センターが行う。

3. 研修の場所

研修の場所は、三重県埋蔵文化財センターおよび県内各地の埋蔵文化財発掘調査現場等とする。

4. 研修の対象

研修の対象者（以下「研修員」という。）は、町村教育委員会文化財保護行政担当職員、もしくはこれに準ずる者とする。

5. 研修員の決定

(1) 町村教育委員会教育長は、職員に研修を受けさせようとするときは、別紙様式の「研修希望調書」を三重県埋蔵文化財センター所長（以下「所長」という。）に提出するものとする。

(2) 所長は、研修希望調書をもとに選考のうえ研修員を決定し、町村教育委員会教育長に通知するものとする。

6. 研修の内容

研修の内容は、別表「研修内容」のとおりとする。

7. 修了証書の交付

所長は、研修員が全研修課程を修了したと認めるときは、修了証書を交付する。

8. 研修に要する経費

(1) 研修員の旅費は、研修員派遣機関において負担するものとする。

(2) 所長は、研修に必要な資料等の経費について、研修員派遣機関に実費負担を求めることができる。

9. その他

前各項に定めるもののほか、研修の実施について必要な事項は、所長が別に定める。

（ 附 則 ）

この要項は、平成8年4月1日から施行する。

（別 表） 埋蔵文化財発掘調査技術町村職員研修 研修内容

講座名	期 間	研 修 内 容
講座Ⅰ	1 か月間	○文化財保護法の概要 ○埋蔵文化財の判定 ○試掘調査の立案と実習
講座Ⅱ	2 か月間	○発掘調査の立案と実習 ○遺構の実測と写真撮影実習
講座Ⅲ	2 か月間	○発掘調査資料の整理実習 遺構図面・写真の整理 出土遺物の整理 遺物実測
講座Ⅳ	2 か月間	○報告書作成に関する実習 遺物写真撮影 遺物・遺構図版の作成

[注]

(1) 講座Ⅰについては、講座修了者と同等の技術を有すると所長が認めた場合は省略することができる。

(2) 各講座の取得方法および実施時期は研修員派遣期間と協議の上決定する。

(参 考)

受 講 例

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8
例	●-----●-----●-----●-----●-----●																
1	I		II		III		IV										
例	●-----●										●-----●-----●-----●						
2	I										II		III		IV		

(別紙様式)

第 号
平成 年 月 日

三重県埋蔵文化財センター所長 様

町村教育委員会教育長 印

研 修 希 望 調 書

埋蔵文化財発掘調査技術町村職員研修を次のとおり希望します。

希望する講座名			
研修派遣期間	年 月 日 から 年 月 日まで		
研 修 希 望 職 員	職 氏 名 <small>ふりがな</small>		性別 男・女
	生年月日(年齢)	(歳)	
	現職年数	年 (年 月 以来)	
	最終学歴	学校名 (学部 学科)
	発掘調査経験 (参加遺跡名)	有 無 ()	
その他希望事項			

IV. 資料の整理・保管・公開

1. 資料の整理・保管

本年度の各事業別遺物出土量の概数は下表のとおりであり、その整理は埋蔵文化財センター及び受託事業現場整理所で行っている。出土遺物の保管については、原則として再検討・貸出等利用頻度の高いものを埋蔵文化財センター収蔵庫に、その他のものは各収納倉庫に保管している。

一方、実測図面・写真フィルム類についても出土遺物と同様に整理保管し、必要に応じて貸出等に対応している。また、受贈図書は約 2,200冊あり、図書室に分類保管して職員の利用に供している。

〔平成8年度出土品量（概数）〕

事業		平成8年度出土量
公共事業		1,555
受託事業	東海環状	424
	中勢道路	644
	松多バイパス	471
斎宮跡		576
合計		3,670

数量はコンテナ（55cm×35cm×15cm）による。

※ 斎宮保管量には仮収蔵分も含む。

〔出土遺物保管状況〕

施設		遺物保管量
埋文センター 収蔵庫 2	センター	9,416
	斎宮	※10,999
収納倉庫	桜橋	19,470
	桜橋（仮設）	5,820
	藤方	7,019
	上野	3,200
受託現場整理 所（一時保管）	東海環状	640
	中勢道路	4,026
	松多バイパス	2,459
合計		62,483

2. 科学的保存処理

埋蔵文化財センターには、出土遺物の保存処理を実施するため保存科学室1（木製品保存処理）にPEG樹脂含浸装置2基、保存科学室2（金属製品保存処理）に減圧樹脂含浸装置1基ほか設置されている。また、中勢道路整理所にPEG含浸装置1基が設置されている。現在のところ専任の担当職員は配置していないが、保存処理技術を研修した職員等が保存処理にあっている。

3. 資料の公開

○ 出版物の発行

発掘調査報告書・概報・埋蔵文化財展図録のほかに『三重県埋文センター通信みえ』NO. 19～21等を発行し、関係機関等へ配布している。

○ 現地説明会

発掘調査の途中、あるいは終了時には地域の人々に対し文化財保護への理解を深めていただくため、現地説明会を開催しその調査結果について報告を行っている。当埋蔵文化財センターが調査主体となった発掘調査にかかる現地説明会は次表のとおりであり、毎回多数の人々の参加を得ている。

〔現地説明会一覧〕

遺 跡 名	所 在 地	担 当 課	開 催 日	参加人数	
森ノ上遺跡	多気郡大台町柳原字森ノ上	調査第1課	H8. 6. 1	70名	
新徳寺遺跡(第2次)	多気郡多気町相可字新徳寺	調査第2課	H8. 6. 1	100名	
蔵田遺跡	津市納所町他	調査第2課	H8. 7.13	140名	
安濃津柳山遺跡	津市柳山津興字松村	調査第1課	H8. 7.13	350名	
曾祢崎古墳群・曾祢崎遺跡	多気郡明和町上野字曾祢崎	調査第1課	H8. 7.21	70名	
門阪遺跡	多気郡多気町牧字門阪	調査第1課	H8. 7.27	40名	
上惣作遺跡	員弁郡北勢町阿下喜字上惣作	調査第2課	H8. 8. 3	150名	
粥見井尻遺跡	飯南郡飯南町粥見字井尻	調査第1課	H8. 8.24	70名	
前田町屋遺跡(遺物展示) (スライド上映会)	一志郡三雲町星合字前田・町屋	調査第1課	H8. 9.10 ～ 9.23	230名 60名	
粥見井尻・小林遺跡	飯南郡飯南町粥見字井尻・小林	調査第1課	H8.11. 2	350名	
替田遺跡 D地区	津市南河路町	調査第2課	H8.11. 2	150名	
高茶屋大垣内遺跡	津市城山町	調査第1課	H8.11.16	150名	
中の坊遺跡(スライド上映会)	松阪市目田町字中の坊	調査第1課	H8.11.16	40名	
湯後遺跡	多気郡宮川村小滝字湯後	調査第1課	H9. 3.12	50名	
野田遺跡・研山遺跡	度会郡度会町長原字野田・研山	調査第1課	H8.11.16	80名	
西山遺跡	名賀郡青山町羽根字西山	調査第1課	H8.11.16	40名	
位田遺跡	津市北河路町	調査第1課	H8.11.28	30名	
東海道遺跡	志摩郡阿児町国府	調査第2課	H8.11.30	150名	
鷲ヶ尾古墳群(スライド上映会) (旧称地藏川古墳群)	上野市摺見字鷲ヶ尾	調査第1課	調査第1課	H8.11.30	40名
石薬師東古墳群 (スライド上映会)	鈴鹿市石薬師町字寺東	調査第1課	H8.12. 7	50名	
宮ノ腰遺跡	一志郡三雲町上ノ庄字宮ノ腰	調査第1課	H8.12.14	200名	
堀町遺跡(第3次)	松阪市朝田町字堀町	調査第1課	H8.12.14	100名	
登り遺跡(旧称下り遺跡)	度会郡度会町火打石字登り	調査第1課	H8.12.15	80名	
		調査第2課	H8.12.21	130名	
		調査第1課	H8.12.23	100名	
合 計		22遺跡	26件	3,020名	

○ 斎宮歴史博物館速報コーナーでの展示

斎宮歴史博物館映像展示室の速報コーナーで、埋蔵文化財センターが実施している発掘調査の成果の一部を速報的に随時展示している。本年度は次の資料を展示した。

4月～ 浦ノ山中世墓(陶器壺・甕・鉢)

○ 斎宮歴史博物館エントランスホールでの展示

埋蔵文化財の情報等を流し、埋蔵文化財に対する理解と保護思想等の普及・啓蒙をはかるために、県が実施した本年度の発掘調査の中から、全国的にも脚光を浴びた粥見井尻遺跡(飯南郡飯南町)出土の日本最古の土偶及び矢柄研磨器等を、斎宮歴史博物館エントランスホールにて10月8日～10月27日までの会期で展示した。会期中の入場者数は約5,000人であった。

○ 第2回 みえ県民文化祭―三重の新しい文化財の仲間たち展―(三重県埋蔵文化財発掘調査速報展)

三重県下における最近の発掘調査の結果を展示し、広く県民に公開するために、第2回みえ県民文化祭の一環として、「三重の新しい文化財の仲間たち展」と称し、展示を行うことになった。関係各機関のご協力を得、従来の斎宮歴史博物館での展示会のほか、桑名市(桑名市博物館)・尾鷲市(尾鷲市中央公民館)・上野市(旧小田小学校本館)の順に巡回し、平成8年7月～11月までの会期で実施した。会期中の入場者数は、4会場総計で4,713人であった。

第2回 みえ県民文化祭－三重の新しい文化財の仲間たち展－開催要項

1. 目的 ① 平成7年度に県下で実施された発掘調査の成果を、広く県民へ速やかに公開するため。
② 埋蔵文化財がわが国の歴史・文化の正しい理解と文化の向上発展のために、貴重な遺産であることを県民へ普及啓発するため。
③ 県民に対して埋蔵文化財保護への理解と協力を求めるため。
④ なおいっそうの県民文化の向上に努めるため。
2. 主催 三重県・三重県教育委員会
桑名市・桑名市教育委員会
上野市・上野市教育委員会
尾鷲市・尾鷲市教育委員会
みえ県民文化祭実行委員会
文化財部門実行委員会
3. 期間 平成8年7月～11月
4. 場所 齋宮歴史博物館 特別展示室（平成8年7月20日～8月18日）
桑名市博物館（平成8年9月20日～10月13日）
尾鷲市立中央公民館 講堂（平成8年11月6日～11月10日）
上野市旧小田小学校 本館（平成8年11月20日～11月25日）
5. 展示テーマ 「三重の新しい文化財の仲間たち展」
6. 主な展示資料 赤木城跡資料 石薬師東古墳群出土遺物 伊勢国府跡出土遺物
長遺跡出土遺物 カリコ遺跡出土遺物 北野遺跡出土遺物
狐塚遺跡出土遺物 倉谷方形台状墓出土遺物 桑部城跡出土遺物
権現坂遺跡出土遺物 齋宮跡出土遺物 下川原遺跡出土遺物
次郎六郎東遺跡出土遺物 高井A遺跡出土遺物 高皿遺跡出土遺物
多気遺跡群出土遺物 火山遺跡出土遺物 堀田遺跡出土遺物
堀町遺跡出土遺物 御墓山窯跡出土遺物 宮山遺跡出土遺物
六大A遺跡出土遺物
7. 入館料 速報展に関してのみ無料

○ 三重県埋蔵文化財展

三重県埋蔵文化財展は、昭和56年度から三重県教育委員会が主催して、各市町村を会場に毎年実施してきた。平成元年度からは埋蔵文化財センターが主催し、三重県が実施した発掘調査の成果および市町村主体の発掘調査の成果を展示して広く県民に公開し、生涯教育の一環として埋蔵文化財保護思想の普及啓蒙に努めている。本年度は第16回目を迎え、三重県埋蔵文化財センター・齋宮歴史博物館の共催で、齋宮歴史博物館特別展を兼ねて齋宮歴史博物館特別展示室を会場に、10月10日（祝）～11月24日（日）までの会期で実施した。今回は「齋宮・国府・国分寺－伊勢のまつりと古代の役所」というテーマで、伊勢・志摩・伊賀地域の古代社会の様相を紹介した。会期中の入場者数は、7,257人であった。

第16回 三重県埋蔵文化財展開催要項

1 開催趣旨

古代の律令国家は、各国ごとに国府などの役所や国分寺を設置し、地方支配をおこなった。中でも、伊勢神宮の所在する伊勢国には、神宮の祭祀に携わる齋宮寮が置かれ、隣接する伊賀・志摩国とともに、中央の支配と深く関わっていたのが特徴である。

この展覧会では、近年の発掘調査で解明されつつある伊勢国府・国分寺や伊賀国府をはじめとする古代の役所・寺院および、昭和45年以来四半世紀を経過した齋宮跡の発掘成果を通して、伊勢・志摩・伊賀地域に展開した古代社会の具体像に迫りたい。

なお、この展覧会は、齋宮歴史博物館・三重県埋蔵文化財センター共催で、齋宮歴史博物館特別展と第16回三重県埋蔵文化財展を兼ねて開催するものである。

- 2 主催 齋宮歴史博物館・三重県埋蔵文化財センター
- 3 会場 齋宮歴史博物館 特別展示室
〒515-03 三重県多気郡明和町竹川503
TEL 05965-2-3800 FAX 05965-2-3724
- 4 開催期間 平成8年10月10日(祝)～11月24日(日) 41日間
(11月11日(月)を臨時開館日とする)
- 5 開館時間 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 6 休館日 月曜日、休・祝日の翌日(月曜日が祝日の場合はその翌日、土・日曜日を除く)
※但し、11月11日(月)は臨時開館日とする。
- 7 入館料 個人 大人600円 高校・大学生400円 小・中学生100円
団体 大人480円 高校・大学生320円 小・中学生 80円
- 8 記念講演会 講師 奈良国立文化財研究所埋蔵文化財センター
集落遺跡研究室長 山中 敏史 氏
演題 「律令国家と古代の役所」
日時 平成8年11月3日(祝) 午後1時30分～3時
場所 齋宮歴史博物館 講堂
聴講 無料(定員220人。事前申込み不要。当日先着順。)

9 主な出品資料

[参写：参考写真パネル]

番号	資料名(点数)	時代	遺跡名 / 所蔵者
1. 大和から伊勢へ (1)神宮への道			
1	子持勾玉 1点	古墳	大神神社(山の神祭祀遺跡) 大神神社
2	滑石製品(勾玉1点・白玉一括)	古墳	大神神社(山の神祭祀遺跡) 大神神社
3	土製模造品(白1点・匙1点)	古墳	大神神社(山の神祭祀遺跡) 大神神社
4	土師器小壺 1点	古墳	大神神社(山の神祭祀遺跡) 大神神社
5	子持勾玉 1点	古墳	大神神社 大神神社
	《参写1》三輪山全景		光画園
	《参写2》山の神祭祀遺跡		大神神社
	《参写3》伊勢神宮航空写真		神宮司庁
	《参写4》六大A遺跡祭祀状況復元イラスト		三重県埋蔵文化財センター
	《参写5》六大A遺跡航空写真		三重県埋蔵文化財センター
	《図 1》大和から伊勢へ関連遺跡地図		
(2)祭祀の系譜			
6	子持勾玉 2点	古墳	芝遺跡 桜井市教育委員会
7	土製模造品(鏡) 2点	古墳	纏向遺跡・舞谷3号墳前堤部 桜井市教育委員会
8	子持勾玉 1点	古墳	布留遺跡(杣之内木堂方地区) 埋蔵文化財天理教調査団

9	滑石製品（有孔円板4点・勾玉1点・剣形1点・管玉2点・白玉一括）		古墳中期	布留遺跡	埋蔵文化財天理教調査団
10	ミニチュア鉄斧	一括	古墳中期	布留遺跡	埋蔵文化財天理教調査団
11	土師器 高杯	3点	古墳中期	布留遺跡	埋蔵文化財天理教調査団
12	須恵器 甕	1点	古墳中期	布留遺跡	埋蔵文化財天理教調査団
13	木製 琴（複製）	1点	古墳	布留遺跡（三島（里中）地区）	埋蔵文化財天理教調査団
14	翡翠製 小勾玉	1点	古墳	六大A遺跡	三重県埋蔵文化財センター
15	滑石製品（子持勾玉1点・勾玉一括・剣形2点・紡錘車4点・有孔円板一括・紡織具一括）		古墳	六大A遺跡	三重県埋蔵文化財センター
16	土師器（小壺1点・滑石製白玉一括）		古墳	六大A遺跡	三重県埋蔵文化財センター
17	土師器（ミニチュア土器・手づくね土器）	一括	古墳	六大A遺跡	三重県埋蔵文化財センター
18	土師器	一括	古墳	六大A遺跡	三重県埋蔵文化財センター
19	横櫛	1点	古墳	六大A遺跡	三重県埋蔵文化財センター
20	初期須恵器	3点	古墳	六大A遺跡	三重県埋蔵文化財センター
21	韓式系土器	2点	古墳	六大A遺跡	三重県埋蔵文化財センター
22	直弧文入り鞆尻	1点	古墳	六大A遺跡	三重県埋蔵文化財センター
23	蹄脚硯	1点	古墳	六大A遺跡	三重県埋蔵文化財センター
24	土馬	2点	古墳	六大A遺跡	三重県埋蔵文化財センター
	《参写6》布留遺跡三島（里中）地区出土		刀把・漆塗把縁		埋蔵文化財天理教調査団
	《参写7》六大A遺跡木製武器形出土状況				三重県埋蔵文化財センター
	《参写8》六大A遺跡出土木製品（柄頭）				三重県埋蔵文化財センター

コラム 神宮と齋宮

25	太神宮神宝図	1巻	江戸	齋宮歴史博物館
----	--------	----	----	---------

2. 齋宮——伊勢の姫の宮

1 飛鳥・奈良時代の齋宮

26	飛鳥時代土器	一括	飛鳥	齋宮跡	齋宮歴史博物館
27	奈良時代土器	一括	奈良	齋宮跡	齋宮歴史博物館
28	三彩陶器破片	3点	奈良	齋宮跡	齋宮歴史博物館
29	土師器 皿（渦巻状暗文）	2点	奈良中期	齋宮跡（88次 SK6225）	齋宮歴史博物館
30	須恵器 蓋	1点	奈良中期	齋宮跡（88次 SK6226）	齋宮歴史博物館
31	須恵器 大型浅鉢	1点	奈良中期	齋宮跡（88次 SK6226）	齋宮歴史博物館
32	須恵器 横瓶	1点	奈良か	齋宮跡（97次 SD4500）	齋宮歴史博物館
33	土馬	1点	奈良	齋宮跡	齋宮歴史博物館

他 多数

4. 保管遺物等の貸出・写真等の掲載及び閲覧許可

資 料 名	申 請 者	目 的	期 間	許可日
宮出出土銭 拓図・実測図 4 点	兵庫埋蔵銭調査 会	『中世の出土銭－補遺Ⅰ－』への掲載	4 / 4 ~	4 / 4
城之越遺跡 遺構写真 2 点 遺構実測図 1 点	読売新聞大阪本 社	『堅田直先生古希記念論文集』への掲載	4 / 5 ~	4 / 5
六大B遺跡 和同開珎拓本 1 点	兵庫埋蔵銭調査 会	『日本出土銭総覧』への掲載	5 / 1 ~ 6 / 15	4 / 24
北野遺跡 遺物写真 1 点	海越出版社	『歴史海流』への掲載	5 / 10 ~ 6 / 1	5 / 10
年報及び報告書閲覧	堤 昭一	鈴鹿東縁断層帯にかかる調査のため	5 / 15	5 / 15
森脇遺跡 遺物実測図	笠井賢治	『古代の土器 4』煮炊具 近畿編への掲載	5 / 10 ~	5 / 10
高血遺跡出土遺物閲覧	藤岡直子	資料の肉眼観察	6 / 3	5 / 30
鴻ノ木・阿形・打田・ ヒタキ廃寺他各遺跡 のスライド	松阪市中央公民 館	『埋蔵文化財からみた松阪の歴史』での使用	6 / 13 ~ 6 / 17	6 / 4
報告書閲覧	三輪尚代	卒業論文作成のため	5 / 31	5 / 31
報告書閲覧	中森裕子	卒業論文作成のため	5 / 31	5 / 31
古川遺跡 調査風景 スライド 4 点	西田尚史	全国園長会研究大会で使用	6 / 5 ~ 6 / 29	6 / 5
井田川茶臼山古墳 出土遺物撮影	大阪府立近つ飛 鳥博物館	『特別展図録』『館内パンフレット』、ポ スター等広報資料への掲載		6 / 19
井田川茶臼山古墳 出土遺物 2 点	大阪府立近つ飛 鳥博物館	秋季特別展に展示するため		6 / 19
遺跡地図 4 冊	環境開発研究所	三重県下における首都機能移転適地調査の 基礎資料とするため	6 / 21 ~ 6 / 24	6 / 21
納所遺跡出土 朱漆塗堅櫛出土状況 ネガ 1 点	株式会社東京美 術	『漆文化の源流 －人間と漆・そして未来へ－』への掲載	6 / 30 ~ 10 / 15	6 / 22
城之越遺跡 遺構写真 4 点	Todd Stewart	研究論文執筆のため	7 / 9 ~ 9. 3 / 31	7 / 9
火山遺跡出土 土符写真 1 点	新人物往来社	『中世都市研究 3』への掲載	7 / 9 ~ 8 / 25	7 / 9
居敷遺跡・石薬師東 古墳群・川原井瓦窯 跡・川原井遺跡・丹 生川上城跡・椎山中 世墓・鍛形中世墓・ 経塚中世墓 出土遺物および写真	鈴鹿市教育委員 会	鈴鹿市埋蔵文化財展 展示及び図録掲載のため	遺物 8 / 12 ~ 9 / 6 写真 7 / 19 ~ 9 / 6	7 / 18
城之越遺跡 遺構写真 4 点	Todd Stewart	研究論文執筆のため	7 / 25 ~ 9. 3 / 31	7 / 25
歌野遺跡出土遺物 実測図 1 点	笠井賢治	『古代の土器 4』煮沸具（近畿編）掲載の ため		6 / 27

資 料 名	申 請 者	目 的	期 間	許可日
鴻ノ木遺跡・大石遺跡・藪の下遺跡・新徳寺遺跡・堀之内遺跡・天白遺跡 出土遺物 及びスライド	飯南町教育委員会	飯南町遺跡めぐりで使用のため	8 / 7 ~ 8 / 9	7 / 26
井田川茶臼山古墳 出土遺物 15点 写真 19点	八尾市歴史民俗資料館	特別展展示及び図録掲載のため	遺物 9 / 30 ~ 11 / 29 写真 8 / 2 ~ 10 / 10	8 / 2
替田遺跡・位田遺跡 発掘現場撮影	津市教育委員会	ケーブルテレビ「市政ガイド」放送のため		8 / 9
納所遺跡出土 竹の櫛写真1点 (奈良国立文化財研究所所蔵)	株式会社至文堂	『日本の美術』「弥生の装身具」掲載のため		8 / 22
第12回三重県埋蔵文化財展「三重の縄文時代」使用写真	度会町教育委員会	度会町発行広報「わたらい」掲載のため	9 / 1 ~ 9 / 17	8 / 29
粥見井尻遺跡 竪穴住居写真1点	株式会社ジャパン通信社	『月刊文化財発掘出土情報』10月号掲載のため	9 / 5 ~ 9 / 27	9 / 4
城之越遺跡・鴻ノ木遺跡・六大A遺跡・長遺跡 遺構・遺物写真	朝日新聞出版局	『古代史発掘'91-'95新遺跡カタログ』掲載のため		9 / 12
北野遺跡・水池黒土遺跡・安濃津柳山遺跡出土土師器	考古学フォーラム事務局	第4回東海考古学フォーラム 展示のため	9 / 13 ~ 9 / 16	9 / 12
歌野遺跡・北堀池遺跡・森脇遺跡 出土遺物 展示台	森川常厚	「古代の土器研究会」において展示のため	9 / 20 ~ 9 / 25	9 / 19
ヒタキ遺跡出土土瓦 1点	磯部町立図書館 郷土資料館	特別展展示のため	9月~ 12月中旬	9 / 20
銅鐸形土製品閲覧	伊藤徳広	卒業論文作成のため	9 / 5	9 / 5
井田川茶臼山古墳 出土遺物閲覧	安藤道由	資料調査のため		9 / 9
西山遺跡 試掘調査状況写真	香良洲町議会事務局	『香良洲町議会だより』掲載のため		10 / 4
東村遺跡・権現坂遺跡・上惣作遺跡 出土遺物	北勢町教育委員会	第17回産業と文化祭において展示のため	11 / 7 ~ 11 / 11	10 / 16
粥見井尻遺跡出土 土偶写真	新人物往来社	『別冊歴史読本』「最前線シリーズ／日本古代史〔王権〕の最前線」掲載のため	10 / 15 ~ 3ヶ月	10 / 16
御所裏遺跡出土遺物	皇學館大学考古学研究会	皇學館大学大学祭における考古学研究会での展示のため	10 / 31 ~ 11 / 7	10 / 11
長遺跡 写真・調査 ニュース記載イラスト・遺構図	池端清行	『津市民文化』第24号掲載のため		10 / 22

資 料 名	申 請 者	目 的	期 間	許可日
安濃津柳山遺跡 出土遺物実測図 遺構配置図	伊藤裕偉	『ふびと』第49号掲載のため		10/23
赤坂遺跡・大石遺跡 ・下川遺跡・棕本南 方遺跡 出土遺物 大石遺跡・松山遺跡 遺構写真	芸濃町教育委員 会	夢フェスタ芸濃'96郷土と歴史コーナーへ の展示のため	10/30～ 11/8	10/29
北野遺跡 遺物・遺 構実測図、遺構写真	上村安生	『古代の土師器焼成坑』掲載のため		11/1
粥見井尻遺跡出土 土偶写真	新人物往来社	月刊『歴史読本』1997年1月号掲載のため		11/1
高皿遺跡・西出遺跡 等写真49点	伊藤久嗣	保育社刊行『日本の古代遺跡シリーズ 52 三重』掲載のため		11/1
安濃津柳山遺跡発掘 現場写真及びカラー ポジ	(有) サンデー フォークプロモー ション	東海テレビ放送「温泉・グルメ・歴史ロマ ン 三重で発見! 幻の港～伝説の町・津」 内にて使用	11/4～ 11/20	11/1
粥見井尻遺跡出土 土偶写真	ジャパン通信情 報センター	「月刊文化財発掘出土情報」96年12月号 「各地の動向」欄掲載のため	11/5～ 11/29	11/1
天白遺跡出土遺物閲 覧	岡山真知子	修士論文作成	11/7	11/7
中之庄遺跡出土瓦塔 閲覧	池田敏宏	資料調査のため	11/11	11/11
多気遺跡群土井沖地 区・松月院地区出土 遺構写真	伊藤裕偉	吉川弘文館刊行『日本歴史 文化財レポー ト』掲載のため		11/20
位田遺跡出土碁石写 真	財団法人日本棋 院	(財) 日本棋院刊行『週刊碁』掲載のため		12/3
鴻ノ木遺跡・大石遺 跡他出土遺物	阿児町教育委員 会	阿児町出土土器石器展示会への展示のため	12/10～ 1/30	12/5
縄生庵寺遺構 カラーポジ	株式会社講談社	『歴史発掘』第11巻「瓦を読む」掲載のため		12/6
井田川茶臼山古墳・ 東山古墳他出土遺物 及び写真	斎宮歴史博物館	企画展「眠りから覚めた文字たち」展示及 び図録掲載のため	遺物11/25 ～2/22	12/11
浮田遺跡発掘現場写 真	山本善稔	「水道公論」平成9年3月号掲載のため		12/11
六大A遺跡出土木製 品閲覧	出土木器研究会	資料調査のため	9. 2/2	12/19
粥見井尻遺跡出土 土偶写真	毎日新聞社	新年企画「脚光を浴びる三重の古代」掲載 のため		12/17
粥見井尻遺跡出土 土偶写真	株式会社勉誠社	『土偶研究の地平』掲載のため		12/26
粥見井尻遺跡・高皿 遺跡他スライド	奥義次	飯・多・松小中学校校長会での講演に使用 のため	9. 1/8 ～1/31	1/8
大鼻遺跡・稲生遺跡 出土遺物閲覧	古墳時代土器を 見る会	報告書作成のため	9. 1/18	12/27
城之越遺跡遺構写真	静岡県教育委員 会	静岡県文化財保存協会『会報』掲載のため		1/10

資 料 名	申 請 者	目 的	期 間	許可日
粥見井尻遺跡出土土偶写真	株式会社小学館	『日本美術館』掲載のため		11/15
高血遺跡・上ノ垣外遺跡他出土遺物及び写真	多気町教育委員会	企画展に展示のため	9. 1/27 ～5/2	1/21
城之越遺跡遺構・遺物写真	穂積裕昌	「発掘庭園に関する調査報告」掲載のため		1/23
粥見井尻遺跡出土土偶写真及び資料	新発見考古速報展実行委員会	解説図録作成のため		1/28
粥見井尻遺跡全景及び出土土偶写真	三重県企画振興部	『三重県アワー』放送のため		1/28
城之越遺跡出土木製品	上野市教育委員会	城之越遺跡「城之越学習館」展示用レプリカ作成のため	9. 2/4 ～3/31	1/31
ヒタキ廃寺遺構及び出土遺物写真	株式会社講談社	『歴史発掘』第11巻「瓦を読む」掲載のため		2/5
杉垣内遺跡出土人形写真・高井A遺跡出土墨書土器写真	山本善稔	「水道公論」5月号掲載のため		2/18
粥見井尻遺跡全景及び出土土偶写真	株世界通信社	「世界通信 教材科学ニュース」1997年3月11日号掲載のため		2/18
納所遺跡出土弥生土器壺複製	宮城県教育委員会	東北歴史博物館（仮称）の展示活用のため		2/18
『三重県埋蔵文化財年報』『安濃町史』資料編他 閲覧	皇学館大学生成瀬 匡章	卒業論文作成のため	2/20	2/20
安濃津柳山遺跡写真	三重県企画振興部広報課長	メトロポリタンテレビ三重県広報番組『ふるさとホットライン』で放送するため		2/27
門脇北古墳形象埴輪西里遺跡形象埴輪等写真撮影	丸山哲夫	比較研究資料	3/3	3/3
安濃津柳山遺跡出土土器撮影及び放送許可	NHK津放送局高橋俊雄	NHKテレビで放送するため	2/27	2/27
粥見井尻遺跡出土土偶の撮影及び掲載許可	株式会社講談社学芸局 斉藤 碧	『歴史発掘』第3巻「縄文の土偶」に掲載するため	3/14	3/3
六大A遺跡木製品 閲覧	(財)長野県埋蔵文化財センター	遺跡の研究成果に活用のため	3/11～12	3/5
西ヶ広遺跡竪穴住居21写真ほか貸出・掲載許可	朝日町教育委員会	朝日町歴史博物館（仮称）展示室内に使用 同博物館図録に掲載のため	借用日より 2ヶ月	

5. 保管遺物等の長期貸出

資 料 名	申 請 者	目 的	許可日
起A遺跡出土弥生土器及び炭化米	鈴鹿市教育委員会	稲生民俗資料館での常設展示に使用	
多気遺跡群出土瓦等 13点	美杉村教育委員会	美杉ふるさと資料館での常設展示に使用	
落川原遺跡出土石帯 1点	四日市市立博物館	常設展示での使用	
山王遺跡出土遺物 66箱	桑名市教育委員会	資料公開及び市民への文化財保護意識の普及・啓蒙 埋蔵文化財整理室にて利用	
正知浦遺跡出土有舌尖頭器等 298点	亀山市歴史博物館	亀山市歴史博物館常設展示に使用	
陶器壺蓄銭容器等 157点	地方職員共済組合三重県支部	榊原保養所神湯館に展示	
寺垣内遺跡出土弥生土器 5点	明和町教育委員会	ふるさと会館で展示	

6. 齋宮歴史博物館展示品協力遺物一覧

遺 跡 名	遺 物 名
大安中世墓	蔵骨器(3)、蔵骨器蓋(2)、五輪塔(1式)
丹生川上城跡	蔵骨器(1)
西ヶ広遺跡	異形硯(1)
東庄内A遺跡	縄文土器：深鉢(1)
東庄内B遺跡	縄文土器：台付鉢(1)、壺棺墓：壺(1)、甕(1)、台付鉢(1) 方形周溝墓出土：壺(1)、石器：石包丁(1)
上箕田遺跡	直柄鋤(2)
神大寺遺跡	石器：石斧(1)
川原井瓦窯	伊勢国分寺式軒丸瓦(1)軒丸瓦(1)
川原井遺跡	灰釉陶器：浄瓶(1)
柴崎遺跡	土製勾玉(1)、朱(1)、土師器：壺(1)
大鼻遺跡	土偶(1)、子持勾玉(1)
井田川茶臼山古墳	須恵器：器台(5)、台付壺(4)、壺(7)、甕(1)、装飾台付壺(1) 有蓋高杯(2)、有蓋高杯蓋(2) 土師器：壺(1) 馬具：杏葉(4)、鏡板(2)、辻金具(2)、銅鈴(1) 四神鏡(1)、石製壺(1)、石釧(1)、勾玉(5)、管玉(34)
上椎ノ木古墳	獸帯鏡(1)
木下古墳	蔵骨器(1)
柳垣内遺跡	水晶切子玉(11)、玉管玉(4)
大塚古墳	円面硯(1)
浄土寺南遺跡	弥生土器：彩文壺(1)、黒色壺(1)、手焙型土器(1)、パイプ型土器(1)、壺(1)
納所遺跡	片口鉢(1)、台付壺(1) 木製品：琴(1)、篋状木製品(1)、木鐸(1)、斧の柄(2)、鋤(4)、鍬(2) 直柄鋤(1)、櫛(1) 石器：石斧(6)、石包丁(4)、石小刀(3)
亀井遺跡	双脚壺(1)
太田遺跡	銅鐸型土製品レプリカ(1)
鳥居本遺跡	方形周溝墓：壺(1)
午前坊遺跡	瓢壺(1)
堀ノ内遺跡	縄文土器：深鉢(1)
天華寺廃寺	塑像(1)、仏(20)、軒丸瓦(1)、軒平瓦(1)、へら描き軒平瓦(1)
東野遺跡	線刻磔(1)
堀田遺跡	円面硯(1)
中ノ庄遺跡	馬型埴輪(1)、朝顔形埴輪(1)、人物埴輪(1)
杉垣内遺跡	石器：石包丁(1) 木製品：人形(2)、櫛(1)、齋串(11) 土馬(4) ミニチュア土器：壺(7)
伊勢寺廃寺	軒丸瓦(1)、軒平瓦(1)
深長古墳	土師器：壺(1)
横尾墳墓群	経筒容器(2)、経筒容器蓋(1)、五輪塔(1)、石仏(1)
養徳寺遺跡	柿経(1式)
崎谷遺跡	五輪塔(1)、石仏(2)
牧瓦窯	軒丸瓦(1)、軒平瓦(1)
牧中世墓	石仏(1)
河田古墳群	土師器：高杯(3)、甕(1) 須恵器：杯蓋(2)、杯身(2)、高杯(2)、壺(3)
東裏遺跡	土師器：杯「中臣」(1)、椀(1) 青磁：椀(1)
カウジデン遺跡	土馬(1) 土師器：杯「中万」(2)、灰釉陶器杯「中万」(1) 黒色土器：椀(1)
神前山古墳	円筒埴輪(1)、須恵器：二重(1)、鳥形(1)
寺垣内遺跡	独鈷石(1)
西出遺跡	土板(1)
大藪遺跡	方形周溝墓：壺(1)
樋ノ谷遺跡	玦状耳飾(1)
東畑中世墓	蔵骨器(2)
東山古墳	土師器：高杯(1)、器台(1)、四獣鏡(1)、銅鍬(3)、鉄斧(2)、鉄剣(1)
北掘池遺跡	木製品：槌(1)、鍬(3)、剣型木製品(1)、舟型木製品(2)、円面硯(1)
北切遺跡	方形周溝墓：壺(1)
前山古墳	銀象嵌刀装(2)
小上野西谷遺跡	土製勾玉(1)
歌野遺跡	製塩土器(2)
辻垣内遺跡	縄文土器深鉢(1)

V. 行政資料

埋蔵文化財の鑑査の事務の委任について

平成8年9月2日 庁保記第98号

文化庁次長 小野 元之から

(別記=都道府県・指定都市・各中核市) 教育委員会教育長あて

このたび、文化財保護法の一部を改正する法律(平成8年法律第66号)により、文化財保護法(昭和25年法律第214号。以下「法」という。)の一部改正が行われ、改正後の法第100条の2第1項の規定に基づき、平成8年9月2日付け庁保記第98号により、平成8年10月1日以降、各指定都市及び中核市(以下「各指定都市等」という。)の区域内の警察署長から提出された物件の鑑査等に関する事務が各指定都市等の教育委員会に委任され、これに従い、当該各指定都市等の所在する都道府県教育委員会に委任される事務が改正されました。なお、このことについては、平成8年9月2日付け文化庁告示第13号で官報に告示しました。

この措置は、埋蔵文化財の鑑査等の事務の簡素化・迅速化を図ることを目的として執られたものでありますのでこの趣旨及び下記の事項に御留意の上、必要な体制を整備し、適切に事務処理に当たるようお願いいたします。

また、指定都市等の教育委員会においては、上記の事務委任の伴う事務処理に係る具体的な手続きについて、あらかじめ関係都道府県警察との間で十分に協議してください。

記

1 手続きの概要

今回の事務委任による埋蔵文化財の鑑査等に関する取扱いは、次のとおりである。

- (1) 法第60条の規定による指定都市等の区域内の警察署長からの物件の提出は、それぞれ各指定都市等の教育委員会に対して行われることとなること(法第100条の2第2項)。
- (2) (1)により提出された物件に関する、法第61条第1項の規定による、文化財であるかどうかの鑑査同条第2項の規定による、文化財であると認められた場合における警察署長への通知及び文化財でないとして認められた場合における警察署長への物件の差戻しは、指定都市等の教育委員会が行うこととなること(法第100条の2第1項)。
- (3) (1)により提出された物件に関する、法第62条の規定による当該物件の所有者から返還請求があった場合の警察署長への引渡しは、指定都市等の教育委員会が行うこととなること(法第100条の2第1項)。
- (4) 各指定都市等が所在する都道府県の教育委員会においては、各指定都市等の区域を除く当該都道府県の区域内の警察署長から提出された物件に関する(1)から(3)に関する事務を行うこととなること。

2 「埋蔵文化財保管証」の提出

(1) 「埋蔵文化財保管証」

従来、発掘調査等により発見された埋蔵物について、これを発見者において保管する場合には、発見者から都道府県教育委員会に対して「埋蔵文化財保管証」を提出させているところであるが、平成8年10月1日以降は、各指定都市等の教育委員会で鑑査等を行う物件については、「埋蔵文化財保管証」は、各指定都市等の教育委員会に対し提出させることとする。

(2) 文化庁及び都道府県教育委員会への報告

各指定都市等の教育委員会が発見した文化財及び前記1、(2)により各指定都市等の教育委員会

が行った鑑査の結果は、当該各指定都市等の所在する都道府県の教育委員会及び文化庁へ報告すること。

3 その他

鑑査に当たって留意すべき事項、鑑査結果の通知の様式、文化庁及び都道府県教育委員会への報告の方法等については、「埋蔵文化財の鑑査等の事務の委任について」（昭和46年9月1日付け庁保管第182号文化庁次長通達。）に準ずること。

庁保記第98号

(道府県)教育委員会

文化財保護法（昭和25年法律第214号。以下「法」という。）第100条の2第1項の規定に基づき、昭和46年9月1日付け庁保第182号により、貴教育委員会に委任している事務の範囲を変更し、平成8年10月1日以降は、貴県（道・府）の区域内のうち、地方自治法（昭和22年法律第57号）第252条の19第1項の指定都市及び同法第252条の22第1項の中核市の区域内を除く区域内の警察署長から提出された物件に関する次に掲げる事務を、貴教育委員会に委任します。

平成8年9月2日

文化庁長官 吉田 茂

記

- 1 法第61条第1項の規定による鑑査
- 2 法第61条第2項の規定による通知及び差戻し
- 3 法第61条の規定による引渡し（法第61条第2項に規定する文化財の引渡しに限る。）

庁保記第98号

(指定都市・中核市)教育委員会

文化財保護法（昭和25年法律第214号。以下「法」という。）第100条の2第1項の規定に基づき、平成8年10月1日以降、貴市の区域内の警察署長から提出された物件に関する次に掲げる事務を、貴教育委員会に委任します。

平成8年9月2日

文化庁長官 吉田 茂

記

- 1 法第61条第1項の規定による鑑査
- 2 法第61条第2項の規定による通知及び差戻し
- 3 法第61条の規定による引渡し（法第61条第2項に規定する文化財の引渡しに限る。）

各都道府県教育委員会教育長 殿

文化庁次長
小野元之

地方公共団体が文化財保護法第98条の2第1項に基づく
発掘調査を行う際の文化庁長官への通知について（通知）

地方公共団体が、文化財保護法第98条の2第1項に基づき埋蔵文化財の発掘調査を実施する場合には、同法第57条第1項に基づく文化庁長官への届出は不要ですが、「文化財保護法の一部を改正する法律等の施行について」（昭和50年9月30日付け庁保管第191号文化庁次長通達）第11の1(1)により、別途、文化庁長官に対しその着手の30日前までに同法第57条第1項の規定による届出に準ずる方式により通知するよう求めていたところで す。

この場合の文化庁長官への通知については、事務の簡素化を図る観点から、下記のとおり取扱いを改めることとしますので、御留意願います。

また、このことについて、管下市町村教育委員会に対し周知願います。

記

1. 地方公共団体が文化財保護法第98条の2第1項に基づいて行う埋蔵文化財の発掘調査で、平成8年10月1日以降に着手されるものについては、着手後速やかに、同法第57条第1項の規定による届出に準ずる方式により、文化庁長官に対し報告すること。
なお、平成8年10月1日以降に着手される発掘調査であって、平成8年9月30日までに従前の方式により文化庁長官に通知されたものについては、改めて報告する必要はないものとする。
2. 都道府県教育委員会においては、上記1により市町村教育委員会から提出された報告及び都道府県教育委員会が実施した発掘調査に係る報告に係る書類を、3か月ごとにまとめ、別添様式の総括表を付して、当庁あてに送付すること。

法第98条の2第1項に基づく発掘調査の通知について
(平成8年9月5日付け庁保記123号文化庁次長通知)

1 従来の取扱い

- ・地方公共団体が行う発掘調査については、その都度文化庁へ（市町村が行う発掘調査については都道府県を經由して）、着手の30日前までに、「通知」を提出する。（「文化財保護法の一部を改正する法律等の施行について」昭和50年9月30日付け庁保管第191号文化庁次長通達）
- ・文化庁は「通知」の「受理通知」を6ヶ月ごとにまとめて都道府県に送付する。

2 改正後の取扱い

- ・地方公共団体が行う発掘調査については、文化庁へ（市町村が行う発掘調査については都道府県を經由して）、発掘調査の着手後速やかに「報告」を提出する。
- ・都道府県は、市町村と都道府県の「報告」を3ヶ月ごとにまとめ、総括表を付して文化庁に送付する。（文化庁へ送付する書類は「報告」、総括表、「報告」別記2のコピー）
- ・「報告」の書式については、別紙様式を参照のこと。
- ・従来文化庁が都道府県に送付していた「受理通知」は廃止するものとする。これに伴い文化財の鑑査結果の文化庁への報告においては、文化庁の処理文書の文書番号・日付は記す必要はない。

法第57条及び98条の2に基づく届出・通知について

1 従来の取扱い

開発事業との調整を図るための試掘・確認調査に関する情報は重要な行政資料であり、今後その整備・蓄積を推進する必要があること及び法の趣旨等から、「対象地が周知の埋蔵文化財包蔵地であるかどうかに係わらず、法第57条あるいは98条の2に基づく届出・通知を提出すること」とした。（平成8年1月12日記念物行政保護担当者会議資料）

2 今後の取扱い

従来すでに各都道府県において試掘・確認調査に係る独自の取扱いが行われていること及び事務の簡素化とこのたびの98条の2の通知の時期変更等により、今後下記のとおり取扱いとする。

- ・開発事業との調整を図るために行う事前の試掘・確認調査の場合は、調査対象地が周知の埋蔵文化財包蔵地であるかどうかに係わらず、第57条及び第98条の2に基づく届出・通知は要しない。なお、試掘・確認調査の概要をまとめた資料を各地方公共団体において整備しておくこと。
- ・ただし、開発事業に伴わない学術調査については、周知の埋蔵文化財包蔵地であるかどうかに係わらず、第57条及び第98条の2に基づく届出・報告を必要とする。
- ・開発事業との調整を図るために行う事前の試掘・確認調査の調査件数については、毎年行っている統計資料の照会にあわせて、周知の埋蔵文化財包蔵地と未周知の埋蔵文化財包蔵地に分けて報告することとされたい。

(別紙様式)

(文 書 番 号)

平 成 年 月 日

文 化 庁 長 官 殿

住 所

機 関 名

埋蔵文化財発掘調査の報告について

文化財保護法（昭和25年法律第214号）第98条の2第1項の規定により、埋蔵文化財について発掘調査に着手しましたので、「地方公共団体が文化財保護法第98条の2第1項に基づく発掘調査を行う際の文化庁長官の通知について」（平成8年9月5日付庁保記第123号）により、別記1の事項について、関係書類を添付し、別記2のとおり報告します。

別記 1

- 1 発掘予定地の所在及び地番
- 2 発掘予定地の面積
- 3 発掘予定地に係る遺跡の種類、員数及び名称並びに現状
- 4 発掘調査の目的
- 5 発掘調査の主体となる者の氏名及び住所（国若しくは地方公共団体の機関又は法人その他の団体の場合は、その名称及び代表者の氏名並びに事務所の所在地）
- 6 発掘担当者の氏名及び住所並びに経歴
- 7 発掘着手の時期
- 8 発掘終了の予定時期
- 9 出土品の処置に関する希望
- 10 その他参考となるべき事項

【添付書類】

- 1 発掘予定地及びその付近の地図（周知の埋蔵文化財包蔵地における発掘の場合は、当該地図に埋蔵文化財包蔵地の概略の範囲を記入したもの）
- 2 発掘担当者が発掘調査の主体となる者以外の者であるときは、発掘担当者の発掘担当等承諾書
- 3 発掘予定地の所有者の承諾書
- 4 発掘予定地につき権原に基づく占有者があるときは、その承諾書
- 5 発掘予定地の区域において、石灰石、ドロマイド、耐火粘土、砂鉱等地表に近い部分に存する鉱物につき鉱業権が設定されているときは、当該鉱業権者の承諾書

別記 2

98条の2第1項

都道府県文書番号

年 月 日

1. 所在地																														
2. 調査面積																														
土地所有者	氏名等：																													
3. 遺跡の種類	散布地 集落跡 貝塚 都城跡 官衙跡 城館跡 社寺跡 古墳 横穴墓 その他の墓 生産遺跡 その他の遺跡 ()																													
遺跡の名称			員数																											
遺跡の現状	宅地 水田 畑地 山林 道路 荒蕪地 原野 その他 ()																													
遺跡の時代	旧石器 縄文 弥生 古墳 奈良 平安 中世 近世 その他 ()																													
4. 調査の目的 調査の契機	a. 学術研究 () b. 遺跡整備 c. 自然崩壊 d. 伴う { <table border="0" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>開発事業に</td> <td>道路</td> <td>鉄道</td> <td>空港</td> <td>河川</td> <td>ダム</td> <td>住宅造成</td> <td>区画整理</td> <td>公園造成</td> </tr> <tr> <td></td> <td>学校</td> <td>住宅</td> <td>工場</td> <td>その他建物 ()</td> <td>ガス</td> <td>電気</td> <td>水道</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>農業関連</td> <td>土砂採取</td> <td>観光開発</td> <td>その他開発 ()</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			開発事業に	道路	鉄道	空港	河川	ダム	住宅造成	区画整理	公園造成		学校	住宅	工場	その他建物 ()	ガス	電気	水道			農業関連	土砂採取	観光開発	その他開発 ()				
	開発事業に	道路	鉄道	空港	河川	ダム	住宅造成	区画整理	公園造成																					
	学校	住宅	工場	その他建物 ()	ガス	電気	水道																							
	農業関連	土砂採取	観光開発	その他開発 ()																										
備考：																														
5. 調査主体者	氏名：																													
	住所：																													
6. 発掘担当者	氏名：																													
	住所：																													
	経歴：																													
7. 着手時期	年 月 日	8. 終了時期	年 月 日																											
9. 出土品処置																														
10. 参考事項																														

指 示 事 項				
起 案	決 裁	発 送	引 継	
提出書	保管証	認定通知	帰属	報告書

〔注意事項〕 太線内は通知者が記入。 遺跡の種類・現状・時代及び調査目的欄は、該当項目を○で囲み、該当項目のない場合は () に記入。

各都道府県教育委員会教育長 殿

文化庁次長
小野元之

埋蔵文化財の保護と発掘調査の円滑化等について（通知）

標記のことについては、昭和56年7月24日付け庁保記第17号、昭和60年12月20日付け庁保記第102号及び平成5年11月19日付け庁保記第75号で通知したところであり、貴教育委員会、貴管下各市町村（特別区を含む。以下同じ。）教育委員会及び関係機関の御努力により、逐次必要な措置が講じられ、改善が図られているところであります。

しかし、埋蔵文化財の保護と発掘調査に関しては、平成6年7月6日付けの規制緩和に関する閣議決定において今後講ずべき措置が示され、平成7年11月の総務庁行政監察局による行政監察結果の報告において勧告が行われ、埋蔵文化財保護と開発事業との適切な調整、発掘調査の迅速化、発掘調査に係る費用負担の明確化等が指摘されるなど、その一層の適切な実施が求められています。

また、文化庁では、平成6年度から「埋蔵文化財発掘調査体制等の整備充実に関する調査研究委員会」を設け、埋蔵文化財保護体制の整備充実について調査研究を行い、平成7年12月に同委員会から調査研究結果の報告が行われたところであります。

ついては、貴教育委員会におかれても、上記の通知の趣旨の徹底を図るとともに、特に下記の事項について適切な措置を講じられるようお願いいたします。

なお、貴管下の各市町村教育委員会に対し、この趣旨を徹底するとともに適切に御指導くださるようお願いいたします。

記

1 基本的事項

- (1) 埋蔵文化財は国民共有の財産であると同時に、それぞれの地域の歴史と文化に根ざした歴史的遺産であり、地域の歴史・文化環境を形作る重要な要素であることから、基本的には地域で保護し活用するという理念に基づいて進められる必要があること。
- (2) 埋蔵文化財の保護については、重要な遺跡の保存、行政の体制整備、調査方法の改善等必要な施策の積極的推進に努めること。
- (3) 開発事業の事業者その他の関係者に対しては、埋蔵文化財の保護の趣旨を十分説明し、その理解と協力を基本として開発事業との調整、発掘調査その他の措置を講ずること。
- (4) 埋蔵文化財の保護の施策については、広く国民の理解を求め、その協力によって進めることが肝要であることにかんがみ、発掘調査の成果の公開や広報活動等に積極的に取り組むこと。
- (5) 各地方公共団体における開発担当部局等教育委員会以外の組織・機関に対し埋蔵文化財の保護及びその関係行政に対する理解を求め、具体的な埋蔵文化財保護に関する施策の実施に際しては、それらとの連絡・協調のもとに進めることができるようにすること。

2 埋蔵文化財保護・発掘調査体制について

(1) 地方公共団体における体制の整備・充実

各地方公共団体においては、埋蔵文化財の保護、開発事業等との調整、発掘調査の実施等の各行政を進めるについて、十分な数の適切な対応能力を備えた職員を確保するとともにその能力の向上を図る必要がある。

また、地方公共団体とその設置する発掘調査組織等との間の人事交流を促進するとともに、埋蔵文化財の保護に関する調整に当たる部署及び発掘調査に当たる部署にそれぞれ適切な人材が配置されるよう配慮することが望ましい。

なお、発掘調査を実施する組織・機関は、発掘調査を円滑に進めるために十分な職員体制を備えるとともに、財政的な基盤を確保する必要がある。

(2) 都道府県の役割と体制整備

都道府県は、自ら大規模な、あるいは複数の市町村にまたがる埋蔵文化財の保護及び開発事業との調整、発掘調査を行い、重要な遺跡の保存活用等を国、市町村と連携して推進するとともに管下市町村における埋蔵文化財保護及び発掘調査に関する指導、援助及び連絡調整を行うものである。

このため都道府県は、自らが行う埋蔵文化財保護行政及び発掘調査のための体制の整備や職員の研修に努めるだけでなく、管下市町村における埋蔵文化財保護及び発掘調査並びに職員の研修に係る指導、援助及び連絡調整を行うために必要な体制を一層整備、充実する必要がある。

(3) 市町村の役割と体制充実

地域で保護し活用するという埋蔵文化財の基本的考え方からも、市町村は埋蔵文化財の発掘調査、重要な遺跡の保存・活用等について、重要な役割を担うものであり、地域の埋蔵文化財保護及び発掘調査のために必要な組織、体制を整備する必要がある。

このため、埋蔵文化財担当専門職員を配置していない市町村においては、少なくとも埋蔵文化財保護の基本的行政に支障がないよう専門職員の配置を促進するとともに、既に専門職員を配置している市町村においても適切な埋蔵文化財保護行政の推進と経常的な発掘調査の円滑な実施のため、適正な体制の整備、充実を推進するとともに、職員の研修機会の充実を図る必要がある。

なお、小規模の市町村の場合、一定の地域内に所在する複数の市町村が共同して広域の発掘調査組織を設けることも有益であると考えられる。このような場合には、広域調査組織の設立、運営に当たっての関係市町村間の理解と合意の確保、各関係市町村教育委員会と広域調査組織との連携、職員の採用形態等について十分配慮し、その運営が円滑に行われるよう留意すること。

(4) 地方公共団体間の専門職員の相互派遣

各地方公共団体の対応能力を越えるような発掘調査事業の急激な増加等に対応して円滑な発掘調査等の推進を図るためには、都道府県と市町村の間あるいは市町村相互間で専門職員を相互に出向、派遣する等相互支援のための方策を積極的に講ずる必要がある。

このため、特に都道府県教育委員会においては、管下の市町村における発掘調査事業の動向とこれに対する対応能力等の状況を定期的に把握するとともに、体制が不十分な市町村への専門職員の出向、派遣、市町村間の専門職員の出向、派遣の調整等を積極的に推進し、各都道府県内における発掘調査が円滑に実施されるよう努めること。

なお、文化庁としても、大規模な災害に対応する場合等、当該都道府県内の発掘調査の体制では発掘調査事業量の急激な増加への適切な対応が困難な場合には、関係地方公共団体とも協議しつつ、他の都道府県からの専門職員の派遣等の協力、支援をお願いしてきているところであり、都道府県間の相互協力、支援についても引き続き配慮願いたい。

(5) 都道府県と市町村との発掘調査等の分担区分の見直し等

発掘調査等に関する都道府県と市町村の役割分担については、市町村関係以外の公共事業に係るものについては都道府県が、市町村関係の公共事業及び民間事業に係るものについては市町村がそれぞれ担当する等、各都道府県ごとに開発事業者の種別、発掘調査の規模、複数市町村にまたがるか否か等によりある程度確立してきている。

しかしながら、市町村の分担する発掘調査事業が過大になる等、従来の役割分担では都道府県内における発掘調査への円滑・迅速な対応が困難な場合も生じている。

このため、従来の発掘調査に関する役割分担では都道府県又は市町村における発掘調査への適切な対応が困難な場合には、都道府県教育委員会は市町村教育委員会とも協議し、都道府県と市町村との役割分担の区分を見直すなど、開発事業の事業者、内容等の変化を考慮した柔軟な対応を行うことにより発掘調査の円滑な実施を図ること。

(6) 民間調査機関の適切かつ効果的な導入

発掘調査への民間調査機関の導入については、地方公共団体における埋蔵文化財保護体制の整備を前提に、導入の形態、民間調査機関を導入する範囲等についての明確な方針の下に行うこと。この場合、次のような原則により行うものとする。

ア) 発掘調査に関連する各種の仕事について

排土、測量、写真撮影等、発掘調査に関連しこれを支援する仕事については、発掘調査の効率的な実施のために有効な場合は、民間調査支援機関の効果的な導入を図ること。

イ) 発掘調査について

発掘調査についての民間調査機関の導入については、本来当該発掘調査を実施すべき地方公共団体等が一定程度の発掘調査体制を有している場合であって、その発掘調査体制では発掘調査が著しく遅延している場合又は短期的な発掘調査事業の急増により現在の体制では調査の遅延等の事態が生ずることが予想され、他の地方公共団体からの専門職員の派遣その他の支援等によっても対応することができない場合に限り、次の要件のもとに行うこと。なお、発掘調査への民間調査機関の導入を進めることにより、地方公共団体の発掘調査体制の整備が遅滞することのないよう十分留意すること。

①導入しようとする発掘調査機関は、発掘調査について十分な資質を有する担当職員を備えており、埋蔵文化財の発掘調査を適正に実施する能力を有するものであること。

②民間の発掘調査機関の導入は、発掘調査を実施する地方公共団体等の発掘調査体制に組み込む形態で行うものとし、発掘調査機関の選択、発掘調査の実施の管理等は、当該地方公共団体が責任をもって行うこと。

3 発掘調査経費について

(1) 発掘調査経費負担に関する理念・根拠

開発事業等の工事に伴い行われる埋蔵文化財の発掘調査の経費は、従来から、当該開発事業等の事業者に対して負担を求めるとしている。

これは、埋蔵文化財は、我が国の歴史を解明する上で重要な価値を有する貴重な国民共有の財産であり、文化財保護の基本的理念としては、可能な限り現状で保存することが望ましいものであるが、周知の埋蔵文化財包蔵地において開発事業等が計画され、埋蔵文化財を現状のまま保存することができない場合には、少なくとも、発掘調査によって当該埋蔵文化財の記録を保存することとし、当該埋蔵文化財の現状による保存を不可能とする原因となった開発事業等の事業者が当該発掘調査の実施とその経費の負担を求めるとしているものである。

また、開発事業等の事業者による経費の負担を含めた発掘調査の実施については、文化財保護法第57条の2第2項による指示等及び「埋蔵文化財関係の事務処理の迅速適正化について」（昭和56年2月7日付け庁保記第11号）による各都道府県教育委員会の指導に基づき行われているものである。

(2) 事業者に負担を求める発掘調査経費の範囲

開発事業等に伴う埋蔵文化財の発掘調査に関して開発事業等の事業者を経費の負担を求めるのは、発掘調査作業に要する経費（機械器具の借損料、立入補償費等を含む。）、出土文化財の整理等に要する経費（応急的な保存処理のための費用を含む。）、報告書作成費等である。

なお、開発事業等の事業者に負担を求める経費の積算に当たっては、当該開発事業に伴う埋蔵文化財の記録保存のために必要な範囲にとどめる等その節減に努めること。

(3) 発掘調査経費、期間の積算根拠策定とその活用

開発事業等に伴う発掘調査の経費及び期間については、各地方ブロックごとの標準的な積算基礎の策定がほぼ完了したところであり、今後は、標準的な積算基礎の具体的な事案への適用を進めるものとする。また、発掘調査経費負担を求めることとなる事業者に対しては、具体的な積算根拠等について十分説明すること。

4 発掘調査の円滑・効率的な実施等について

開発事業等に伴う発掘調査の円滑・効率的な実施等のため、次の点について適切な措置を執ることとされたい。

(1) 開発部局との連携の強化

各地方公共団体における開発事業等を実施し、又は開発事業等に対して指導等の行政を行う部局との間の連携を強化し、開発事業等と埋蔵文化財の保護、発掘調査の実施等との円滑な調整の実現を図ること。

(2) 開発事業等との調整・発掘調査等の円滑な推進

開発事業等と埋蔵文化財の保護との調整は、当該開発事業に関する他の行政上の指導や手続きと並行して迅速に行うとともに、事業者に対し必要な事項を明確に説明し、調整や発掘調査等の各段階において必要となる措置については十分な理解を得た上で、その円滑な推進に努めること。

なお、事業者との調整の経過については逐次記録し、調整の結果は協定書等にまとめること。

(3) 工事の種類・形態ごとの発掘調査等の対応に関する標準の策定

開発事業に伴い埋蔵文化財の記録保存のために行う発掘調査は、原則として次のような場合に、必要な範囲について行うものであるため、具体的な各事案に即して適切に対処すること。

①工事による掘削が埋蔵文化財に及ぶ場合

②恒久的な建築物、道路その他の工作物を設置する場合

③盛土、一時的な工作物の設置等で、それが埋蔵文化財に影響を及ぼす虞のある場合

上記の原則に則して、具体的な開発事業につき発掘調査を必要とするか否かの判断の標準については、現在、各地方ブロックごとに検討が進められているところであるが、今後とも検討を推進するとともに、策定した標準の活用を図ること。

5 発掘調査成果の活用等

(1) 埋蔵文化財の保護については、広く国民の理解を求め、その協力によって進めることが肝要であることにかんがみ、発掘調査現場の適切な方法による公開、出土文化財の展示等、各地方公共団体における埋蔵文化財保護に関する事業に関する広報活動の積極的な実施に努めること。

(2) 発掘調査終了後は、可能な限り速やかに調査結果の客観的資料化を行い、発掘調査報告書の早期作成に努めること。

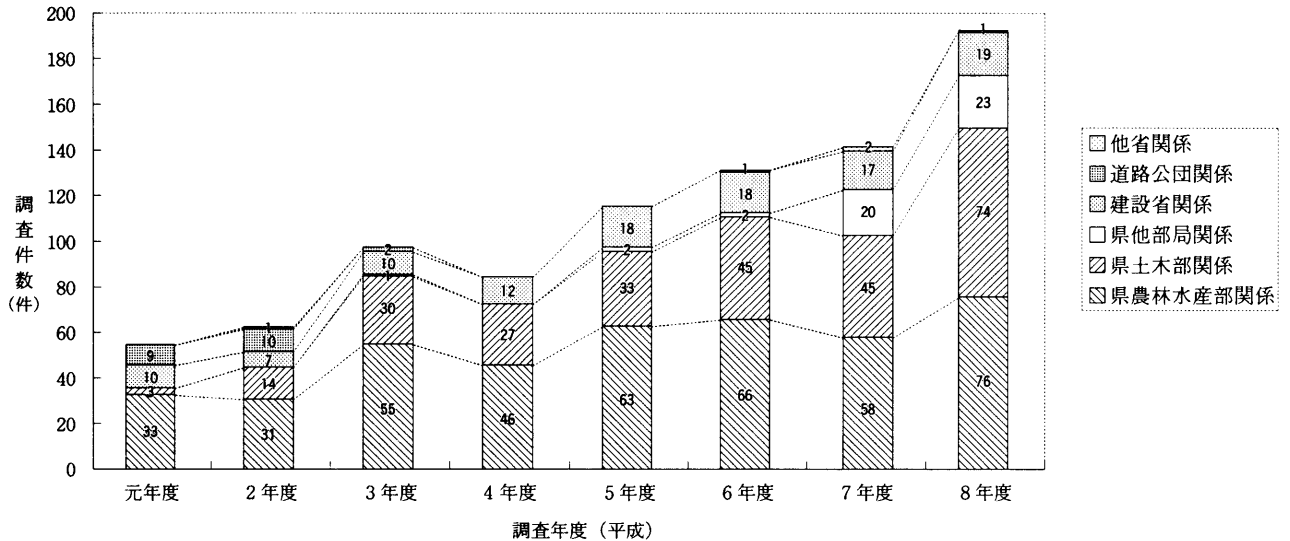
3. 県、市町村別の発掘調査件数および面積の実績

(昭和45～63年分は『三重県埋蔵文化財センター年報4』参照)

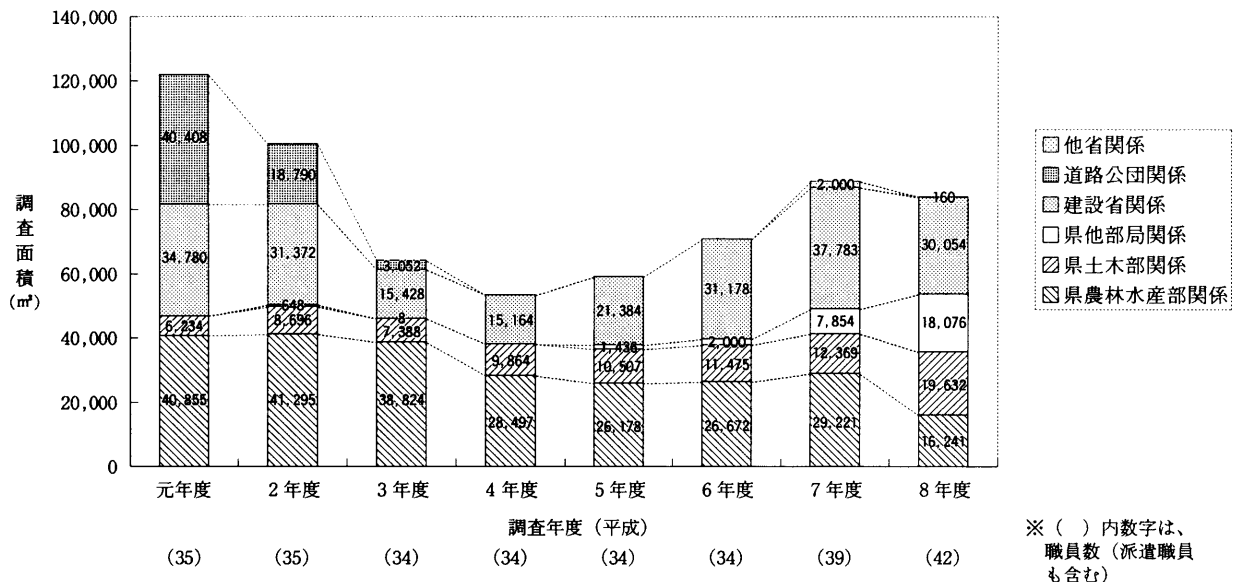
元年度	県							市 町 村							小計	合計
	県農林水産部関係	県土木部関係	県他部局関係	建設省関係	道路公団関係	他省関係	小計	土地改良等	道路・河川等	ゴルフ場	団地・個人住宅	工場造成地	土取り等	その他		
元年度	33	3	0	10	9	0	55	3	12	1	13	4	3	15	51	106
2年度	31	14	0	7	10	1	63	9	9	2	20	10	5	13	68	131
3年度	55	30	1	10	2	0	98	9	14	2	40	13	0	14	92	190
4年度	46	27	0	12	0	0	85	6	13	4	38	17	3	28	109	194
5年度	63	33	2	18	0	0	116	15	12	0	29	7	3	35	101	217
6年度	66	45	2	18	0	1	132	10	14	0	31	3	8	37	103	235
7年度	58	45	20	17	0	2	142	9	15	0	29	6	4	43	106	248
8年度	76	74	23	19	1	0	193	10	23	0	157	3	6	40	239	432
元年度	40,855	6,234	0	34,780	40,408	0	122,277	1,800	15,900	300	30,500	6,800	3,400	16,200	74,900	197,177
2年度	41,295	8,696	648	31,372	18,790	0	100,801	16,900	19,700	3,500	27,900	15,400	8,000	17,300	108,700	209,501
3年度	38,824	7,388	8	15,428	3,052	0	64,700	13,700	10,100	10,200	51,800	12,400	0	9,800	108,000	172,700
4年度	28,497	9,864	0	12	0	0	53,525	13,700	14,000	15,600	15,400	45,200	500	8,000	112,400	165,925
5年度	26,178	10,507	1,436	21,384	0	0	59,505	15,200	13,300	0	20,000	22,000	200	20,000	90,700	150,205
6年度	26,672	11,475	2,000	31,178	0	0	71,325	24,347	8,651	0	13,788	830	440	20,511	68,567	139,892
7年度	29,221	12,369	7,854	37,783	0	2,000	89,227	18,191	10,717	0	5,252	2,947	1,001	18,457	56,565	145,792
8年度	16,241	19,632	18,076	30,054	160	0	84,163	21,293	6,769	0	43,038	842	1,325	19,324	92,591	176,718

※同一遺跡を調査した場合でも、調査期間・原因が異なる場合は別件とした。(試掘調査・立会調査を含む)

県関係発掘調査件数の推移



県発掘調査面積の推移



※ () 内数字は、職員数 (派遣職員も含む)

〔付1〕平成8年度 三重県文化財調査員名簿

地区	氏名	勤務地	住所
北勢	山崎恒哉 松本田覚 鎌田雅生 吉田利弘 岩脇彰 川添護 桐生己彦 嶋村明一 赤川	桑名北高校 藤原中学校 三重平中学校 飯野小学校 関小学校 桑名高校看護分校 楠中学校	
中勢	服部久士 江尻健儀 三浦直 紀平みどり 下村純也 加藤藤純 園田	津東高校 成美小学校 天白小学校 敬和小学校 嬉野中学校	
松阪	榎本義讓 斎藤久 増田安生 奥三義博 今瀧井岡武和 川	伊勢寺小学校 飯高西中学校 明和中学校 度会高校	
南勢・志摩	奥野実生 北島充仁 高中崎一芳 中村世古 村上喜雄 角谷藤弘 伊藤千鶴 岡月久一 松瀧川和也	度会中学校 玉城中学校 度会養護学校 宿田曾小学校 畦名小学校 北浜中学校 皇学館高校 伊勢工業高校	
上野	市田進一 山岡裕三 寺岡光三 森前稔正 久保勝実 谷戸茂明 松月学 杉澤康 中内雄 赤川博	東小学校 名張中学校 上野商業高校 赤目小学校 すずらん台小学校	
尾鷲	東山成志 田本和彦 崎通雅	赤羽中学校 長島高校	
熊野	福村直人 花尻薫 岩本直樹	神志山小学校	

平成8年度

三重県埋蔵文化財年報 8

1997・3

編集 三重県埋蔵文化財センター
発行

印刷 光出版印刷株式会社
